

7 ヨコハマ市民まち普請事業の状況

7-1 ヨコハマ市民まち普請事業の実施状況

【表 7-1-1】 制度の特徴

1	施設（ハード）整備を実現するための助成のほか、活動助成も行っていること。
2	助成金の助成率を設定しない代わりに、整備における労力、整備した施設の維持管理、整備に要する費用の一部などの負担を求めていること。
3	多様化する市民ニーズに対応し、整備分野を限定していないこと。
4	一次コンテストを通過した提案グループに対し、行政との話し合いの場づくりや活動費用などを支援し、その上で二次コンテストを行うという2段階の選考システムとしていること。
5	コンテストでは、選考のプロセスすべてを公開し、透明性、公開性、公平性を確保していること。

【表 7-1-2】 制度の改善点

年度	主な改善点
H17年度	—
H18年度	・一次コンテストから二次コンテストまでの期間を5か月から6か月に延長。
H19年度	<ul style="list-style-type: none"> ・一次コンテストから2次コンテストまでの期間を6か月から7か月に延長。 ・二次コンテストで求められる整備計画の水準に比べコーディネーター費用など資金が不足しているというアンケートの結果を受け、一次コンテスト通過グループへの活動助成金を平成19年度に20万円から30万円に引き上げた。 ・平成20年の1月から3月にかけて事前登録制度として、提案を検討しているグループに対してコーディネーターの派遣を行うことができるようにした。
H20年度	<ul style="list-style-type: none"> ・10月から、年間を通じてコーディネーターの派遣をできるようにした。 ・10月にまち普請のメーリングリストを立ち上げ、提案グループ間の情報交換をしやすくした。 ・整備助成金の対象に新たに活動費を加えることで、コーディネーターの指導を受けつつ、地域を巻き込みながら、まちづくりとしての施設整備を行いやすくした。
H21年度	—
H22年度	—
H23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・提案意欲が増進するようまちづくりに関心のある市民向けに、整備箇所を見学できるバスツアーを実施した。 ・コンテストに取り組んでいるグループが参加する活動懇談会と、前年度に整備が完了したグループが参加する整備成果報告会に加え、過年度に整備を完了したグループ全てが参加できる交流会を新たに行之、グループ同士の相互支援のきっかけづくりに着手した。
H24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に点在する整備箇所にもち普請事業により整備を行ったことを表示するためのプレートを作成し、配布した。 ・中間支援組織の相談窓口の担当者向けに、まち普請事業の活用促進を図るためのパンフレットを作成した。 ・二次コンテスト対象グループが前年度整備箇所のグループから直接話を聞く機会を通して、活動の発展と二次コンテストの提案内容の精度向上を図ることを目的として、整備箇所の見学会に参加できることとした。
H25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・整備助成金への外部資金導入を検討した。 ・事業効果の定量評価に係る指標策定の検討に着手した。
H26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・共創フロント事業を活用し、整備済施設の活動発展に資することを目的として、新たに企業との連携による事業展開の推進に着手した。 ・SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した情報発信を開始した。 ・定量評価に係る指標策定に着手した。（継続）

全 体 概 況

I 報告書
II 評価書及び見解書

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他区局の取組

資料

【表 7-1-3】応募状況集計

年 度	応募件数	一次通過	二次コンテスト		整備	活動助成 単位:円	整備助成 単位:円
			一次免除	通過 ()は一次免除で内数			
H17年度	31件	13件	2件	7 (0) 件	—	2,339,561	—
H18年度	20件	8件	1件	5 (1) 件	7件	1,649,653	25,370,867
H19年度	10件	8件	2件	5 (0) 件	5件	2,369,768	24,269,896
H20年度	10件	7件	1件	4 (0) 件	3件	1,996,291	13,215,230
H21年度	8件	8件	2件	5 (1) 件	5件	2,598,028	24,162,045
H22年度	8件	5件	1件	4 (1) 件	5件	1,786,862	25,000,000
H23年度	6件	3件	0件	3 (1) 件	4件	900,000	15,377,203
H24年度	10件	6件	1件	3 (0) 件	3件	1,163,191	15,401,397
H25年度	6件	5件	0件	3 (0) 件	3件	1,680,296	10,120,367
H26年度	7件	5件	0件	3 (0) 件	3件	1,371,902	10,900,000
合 計	116件	68件	10件	42 (4) 件	38件	17,855,552	163,817,005

注) 19年度は、二次コンテスト通過提案のうち整備辞退1件。かつ、1件は21年度整備。

注) 二次コンテスト通過の () は、通過した提案のうち、一次免除だった提案の数を示している。

【表 7-1-4】ヨコハマ市民まち普請事業応募団体一覧

☆一次通過 ★次回一次免除 数字は整備年度

区名	整備提案名	提案主体名	整備場所		整備内容 メインが◎					整備テーマ メインが◎				結果	
			公有地	民有地	植樹・花壇・伐採	水環境の整備	広場・遊び場	みち空間整備	休憩・交流施設	設備	歴史・文化	自然	防災・防犯		美化・環境改善
H17年度															
鶴見	市場西中町いこいの散歩道整備	鶴見区市場西中町まちづくり協議会普請事業部会	○		○			◎					◎		☆
	岸谷公園を中心とした、まちの防災・防犯拠点の再整備	岸谷第二自治会	○						◎			◎			☆ H18
神奈川	地域のコミュニケーション基地「うさきちハウス」づくり	うさきちハウスづくり実行委員会	○				○	◎					◎		★ H19
西	みなとみらい地区の手作りベンチの設置	NPO法人 アニミ	○					○	◎				◎		
中	仮称)日ノ出町大明神プロジェクト	日ノ出町駅周辺市民と文化メリットを創る会(略称:HCCA)	○	○				○	◎				◎		
中	横浜寿町ホステルビレッジ街化事業	横浜寿町ホステルビレッジ街化事業実行委員会	○						◎	○			◎	○	☆ H18
	伊勢佐木モールの活性化につながる子育て支援と誰もが安心して利用できる生き甲斐サロン(たまり場)づくり計画	特定非営利活動法人D&D 夢と多様性		○					◎					◎	
南	こどもの遊び場、ピオトップ作り	永田町上第三町内会		○	○	○	◎		○			◎	○		☆ H18
港南	日野南連合自治会地域自主防犯・防災活動拠点整備事業	日野南連合自治会	○						◎	○			◎		

7 ヨコハマ市民まち普請事業の状況

全 体 概 況	区名	整備提案名	提案主体名	整備場所		整備内容 メインが◎						整備テーマ メインが◎				結果	
				公有地	民有地	植樹・花壇・伐採	水環境の整備	広場・遊び場	みち空間整備	休憩・交流施設	設備	歴史・文化	自然	防災・防犯	美化・環境改善		地域交流
I 報告書 II 評価書及び 見解書	保土ケ谷	まちなわ（街庭）のある みち ー国道16号歩行者空間 の魅力づくりー	和田町タウンマネジ メント協議会まち庭推進 チーム	○		○				◎	○				◎		
		東海道保土ケ谷宿 松並 木・一里塚等再創造プロ ジェクト	保土ケ谷宿四百倶楽部 +東海道保土ケ谷宿松 並木プロムナード実行 委員会	○		◎							◎				☆ H18
データ ブック	磯子	洋光台地区活動備品収納 倉庫の協同管理と活動拠 点整備	洋光台青少年育成協議 会	○							◎				◎		
		滝頭1丁目に提案型ゴミ 箱の設置	滝1研究会	○								◎				◎	
		まちなわの買物駐輪場	洋光台まちづくり協議 会	○								○				◎	
		メルヘン時計塔	洋光台まちづくり協議 会 青少年夢環境部会	○									◎				◎
1 概 要	金沢	センターシーサイド活性 化プラン	金沢シーサイドタウン 連合自治会+NPO 法人 らしく並木	○								◎			◎	☆	
		「能見堂跡地眺望復活・ 整備計画」（金沢再生 プロジェクト第一弾）	金沢街づくりの会 能 見堂復活プロジェクト	○		○							◎	◎	○		
2 グループ	港北	高田東小学校における雨 水貯留・浸透施設の設置 とビオトープ整備による 流域学習推進事業（総合 治水・水循環回復・環境 保全・回復の総合的学習）	高田東小学校の雨水利 用をすすめる会	○			◎							◎		☆ H18	
		熊ヶ谷 自然観察の道普 請	熊ヶ谷の自然を愛する 会	○								◎			◎		☆
3 組 織	青葉	住民主体で整備を行う、 美しが丘西よもぎ地区に おける「複数の借上げ公 共空地と遊歩道を結ぶ空 間」を安心して楽しく過 ごせる空間にする事業	美しが丘西よもぎ地区 まちづくり協議会準備 会	○				◎	○						◎	☆	
		寺家ふるさと村<やすみ 処>づくり事業	特定非営利活動法人 のむぎ地域教育文化セ ンター		○								◎			◎	
4 プラン	都筑	嶮山自治会域内安全安心 の道路整備計画	嶮山自治会域内道路を 考える会	○							◎				◎	★	
		花*花に 楽々水やり	花*花 倶楽部	○	○	○	◎		○							◎	☆ H18
5 ルール	青葉	「能見堂跡地眺望復活・ 整備計画」（金沢再生 プロジェクト第一弾）	金沢街づくりの会 能 見堂復活プロジェクト	○		○						◎	◎	○			
		高田東小学校における雨 水貯留・浸透施設の設置 とビオトープ整備による 流域学習推進事業（総合 治水・水循環回復・環境 保全・回復の総合的学習）	高田東小学校の雨水利 用をすすめる会	○			◎								◎		☆ H18
6 支 援 制 度	青葉	熊ヶ谷 自然観察の道普 請	熊ヶ谷の自然を愛する 会	○										◎		☆	
		住民主体で整備を行う、 美しが丘西よもぎ地区に おける「複数の借上げ公 共空地と遊歩道を結ぶ空 間」を安心して楽しく過 ごせる空間にする事業	美しが丘西よもぎ地区 まちづくり協議会準備 会	○				◎	○							◎	☆
7 まち普請	青葉	寺家ふるさと村<やすみ 処>づくり事業	特定非営利活動法人 のむぎ地域教育文化セ ンター		○										◎		
		嶮山自治会域内安全安心 の道路整備計画	嶮山自治会域内道路を 考える会	○								◎				◎	★
8 顕 彰	都筑	花*花に 楽々水やり	花*花 倶楽部	○	○	○	◎		○							◎	☆ H18
		嶮山自治会域内安全安心 の道路整備計画	嶮山自治会域内道路を 考える会	○												◎	★
9 広 報	都筑	花*花に 楽々水やり	花*花 倶楽部	○	○	○	◎		○							◎	☆ H18
		嶮山自治会域内安全安心 の道路整備計画	嶮山自治会域内道路を 考える会	○												◎	★
10 委 員 会	都筑	花*花に 楽々水やり	花*花 倶楽部	○	○	○	◎		○							◎	☆ H18
		嶮山自治会域内安全安心 の道路整備計画	嶮山自治会域内道路を 考える会	○												◎	★
11 各 区 推 進 状 況	都筑	花*花に 楽々水やり	花*花 倶楽部	○	○	○	◎		○							◎	☆ H18
		嶮山自治会域内安全安心 の道路整備計画	嶮山自治会域内道路を 考える会	○												◎	★
12 他 区 局 の 取 組	都筑	花*花に 楽々水やり	花*花 倶楽部	○	○	○	◎		○							◎	☆ H18
		嶮山自治会域内安全安心 の道路整備計画	嶮山自治会域内道路を 考える会	○												◎	★
資 料																	

区名	整備提案名	提案主体名	整備場所		整備内容 メインが◎						整備テーマ メインが◎				結果
			公有地	民有地	植樹・花壇・伐採	水環境の整備	広場・遊び場	みち空間整備	休憩・交流施設	設備	歴史・文化	自然	防災・防犯	美化・環境改善	
都築	早瀬川桜堤プロジェクト (親水公園での桜の植樹)	つづきセンター地区 景観形成推進会	○		◎		○					◎			
	つづきアートプロムナードの整備 (展示ショーケースの設置)		○					○		◎			◎		
	つづきセンター花広場の整備		○		○		◎				○		◎		
	中川駅北西の途切れている遊歩道をつなぐ	ぐるっと緑道・遊歩道研究会	○					◎					◎		
	中川のひろばリニューアル	特定非営利活動法人 I Love つづき	○					○	◎				◎		
戸塚	誰でも気楽にコンサート	とつかファン倶楽部	○					○	◎	◎					
	バス停前傾斜地の緑化事業	舞岡第二ゆめプロジェクト推進会	○		◎			○	○				◎		☆ H18
	遊休地の活用で町おこし	舞岡まちづくりクラブ (My 舞ドッグラン計画実行委員会)		○				◎	○				◎		
H18年度															
鶴見	二ツ池から学び、自然、環境を考えるブース	二ツ池プロジェクト	○						◎			◎			
	貯水池前 出合いの道標	メガネット	○						◎				○	◎	
神奈川	井戸のある災害時の一時避難広場整備	浦島町まちづくり協議会		○				◎					◎		
西	みんなで楽しく作る空き地の整備と防災街づくり	羽沢西部自治会	○	○				◎		○			◎		
	不便な盆地も雨水・湧き水で大変身!	西戸部二丁目第一自治会 わくわく倶楽部	○	○			○	◎					◎		☆ H19
中	仮称) 日ノ出町・初黄地区 ライトアップ地域浄化構想	美しい環境・市民文化づくりの会 (略:B-UPの会)	○	○				◎		○			◎		☆ H19
	関内にシドモア桜並木を! 万国橋通り街路樹整備事業	関内を愛する会・馬車道商店街協同組合	○		◎					○			◎		
南	登り窯付属施設及び周辺環境の整備	登り窯と永田の自然を守る会		○	○	◎	○				○	◎			☆ H19
南	まるちゃん〜防災マルチ機能付き舞台・掲示板の整備〜	三春の丘いえ・みち・まち応援隊	○					◎		○			◎		☆
港南	車椅子使用者の為のリフト設置と相談ルームの増設	在宅支援サービス さわやか港南		○					◎	○			◎		☆ H19
	太陽光風力発電と障害者用トイレ設置	西洗自治会	○							◎			◎		
磯子	ゴミ置場の改善及び防犯対策	滝一研究会	○							◎			◎		
	洋光台地区活動拠点整備	洋光台青少年育成協議会	○							◎			◎		
青葉	寺家ふるさと村 足湯どころ	特定非営利活動法人のむぎ地域教育文化センター		○						◎	○		◎		

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

7 ヨコハマ市民まち普請事業の状況

全 体 概 況	区名	整備提案名	提案主体名	整備場所		整備内容 メインが◎						整備テーマ メインが◎				結果
				公有地	民有地	植樹・花壇・伐採	水環境の整備	広場・遊び場	みち空間整備	休憩・交流施設	設備	歴史・文化	自然	防災・防犯	美化・環境改善	
I 報告書 II 評価書及び見解書	青葉	自分たちの手でまちづくり～遊歩道と憩いの場～	青葉 奈良エコチーム	○				○		◎			◎			☆
		駅前プレイバック・プレイパーク	NPO 法人 W.Co パレット	○				◎						◎		☆
まちの縁側 コミバルCaféづくり		コミバル (コミュニティバルコニー)	○				○		◎					◎		
データブック 1 概要 2 グループ	都筑	中川に水と緑とにぎわいを -中川ふれあいのまちづくり	中川ふれあいのまちづくりグループ	○		○								◎		
	戸塚	川でつながる地域と子供のふれあい広場	舞岡川とふれあう会	○			○	◎		○			◎			★ (辞退)
3 組織	泉	遊歩道四季の径を中心としたより魅力的なまちづくり	緑園都市コミュニティ協会	○						○		◎			◎	
	H19 年度															
4 プラン	港南	安全・安心のひろば整備事業	西洗自治会	○				◎						◎		
5 ルール	旭	「自然力 (太陽光、風、水)」活用によるまちづくり	今宿コミュニティガーデン友の会		○							◎		◎	○	☆ (辞退)
		シニアパークと (ふるさと) 2づくり	左近山団地二街区住民有志		○			○		◎					◎	☆H20 (辞退)
6 支援制度	磯子	地域に愛される浜マーケットを次世代に残していこう!	商店街活性化×若者の働く場創出プロジェクトチーム	○	○									◎	○	☆ H21
7 まち普請	金沢	県営住宅跡地を利用し地元が多目的広場として利用	ふるさと侍従川に親しむ会	○			○	◎					◎			★ (辞退)
	港北	地元企業・地主と市民による安全・安心のみちづくり	新羽駅周辺街づくり協議会	○				○	◎				◎	○		☆ H20
8 顕彰	都筑	荒磯川源流の日本庭園・清流復活	茅ヶ崎公園・緑道愛護会	○			◎						◎			☆ H20
	戸塚	俣野公園の水路を、ホテルが生息できるように整備	ホテルの里づくりの会	○		○	◎						◎			★ (辞退)
10 委員会	栄	栄湘南地区ドッグラン計画	栄湘南地区ドッグランの会	○				◎		○					◎	
11 各区推進状況	瀬谷	境川上流河川沿い道路に桜並木の名所づくり	境川沿いと鎌倉古道沿いに桜の名所づくり実行委員会	○	○	◎							◎			☆ H20
		H20 年度														
12 他区局	鶴見	生麦ふるさと国道駅復活	生麦活性化プロジェクト (「生プロ」)		○							◎			◎	☆ (辞退)
		鶴見川大曲、花と緑と水の広場づくり	駒岡連合町会大曲広場整備実行委員会	○		○	○	◎							◎	
資料	西	高島中央公園におけるファミリーガーデン計画	高島中央公園ガーデニングクラブ	○		○						◎			◎	☆ H21

区名	整備提案名	提案主体名	整備場所		整備内容 メインが◎						整備テーマ メインが◎				結果
			公有地	民有地	植樹・花壇・伐採	水環境の整備	広場・遊び場	みち空間整備	休憩・交流施設	設備	歴史・文化	自然	防災・防犯	美化・環境改善	
中	関内にシドモア桜並木を！北仲北界隈街路整備事業	関内を愛する会・馬車道商店街協同組合	○		○			◎				○	◎		
	千代崎川の碑作製と震災復興橋の一部保存	千代崎川の歴史を残す会	○						◎	◎				☆	
旭	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化	よこはま里山研究所川井緑地森づくりプロジェクト	○	○	○			◎	○			○	◎	☆ H21	
緑	霧が丘三世代交流カフェ&マーケット開設プロジェクト	マザール・カフェプロジェクト事務局		○					◎				◎		
都筑	カーシェアリング付シニアマンション	N.P.O. 自分達でシニアマンションをつくる会		○						◎			◎		
	都筑民家園に市民に親しまれる本格的な「茶室」を整備	茶室を贈る有志の会+茶室まち普請・活用推進委員会	○			○			◎	◎	○		○	☆ H21	
瀬谷	農業体験を通して高齢者と地域住民が交流する場づくり	高齢者 こども等が農体験で交流する場づくり実行委員会		○		○			◎	○	◎		○	☆ H21	
H21年度															
鶴見	地域ぐるみで地域開放型コミュニティ・サロンをつくる	地域開放型サロンを豊岡につくる会		○						◎			◎	☆ H22	
神奈川	うらしまたろうのまちづくり ～路傍博物館～	神奈河うらしま組	○							◎	◎			☆	
中	関内の公開空地进行をビジネス街のポケットオアシスに！	関内を愛する会 馬車道商店街協同組合 関内中央振興会	○	○	○		◎						◎	☆ (辞退)	
金沢	西柴団地商店街の空き店舗を利用した地域活性化プラン	私たちのふるさと「西柴団地を愛する会」		○						◎			◎	☆ H22	
	地域に根ざす技術を生かすふるさと大道の風景をつくる	ふるさと大道の風景をつくる会	○			◎		○		◎			○	☆ H22	
港北	高田・花の丘プロジェクト	安心通学路実現の会	○	○	◎			○				◎	○	★ (辞退)	
緑	長津田の樹木を利活用したアートワークプロジェクト	長津田駅北側まちづくり協議会	○		○					◎	◎		○	★ H23	
瀬谷	樹林と湧水を活かしたホテルの里山づくり	緑地保全地区を核にしたホテルの里山づくり実行委員会		○	○	◎						◎		☆ H22	
H22年度															
中	本牧山頂公園里山あそびプロジェクト	本牧山頂公園和田山地区地域連絡会	○				◎		○			◎	○	☆ H23	
	横浜寿町まちづくり拠点の整備及び持続的活動	ことぶきタウンマネージメント	○						◎				○	◎	

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

7 ヨコハマ市民まち普請事業の状況

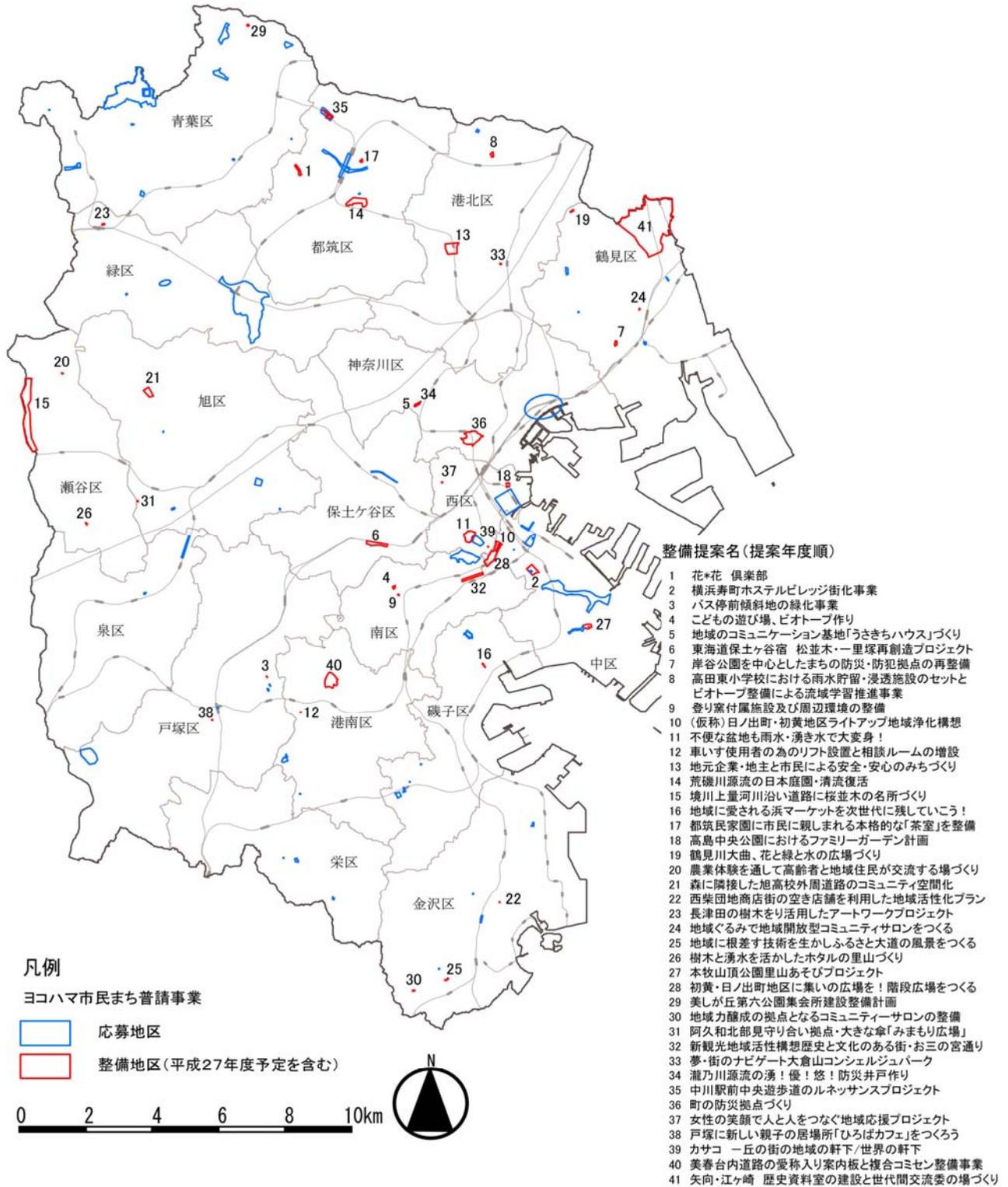
全 体 概 況	区名	整備提案名	提案主体名	整備場所		整備内容 メインが◎						整備テーマ メインが◎				結果	
				公有地	民有地	植樹・花壇・伐採	水環境の整備	広場・遊び場	みち空間整備	休憩・交流施設	設備	歴史・文化	自然	防災・防犯	美化・環境改善		地域交流
I 報告書	中	初黄・日の出町地区に集いの広場を！階段広場をつくる	初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会チームひろば		○			◎		○				◎	○	☆ H23	
II 評価書及び見解書	南	新観光地域活性構想歴史と文化のある街・お三の宮通り	お三の宮通りまちづくり委員会	○							◎			○		★ H24	
データブック	旭	荒廃緑地を地域のコミュニティ空間に！	南希望が丘緑の仲間(愛称ロビンフッド)		○	◎							◎				
1 概要	緑	中山町「緊急放送システム」導入によるまちづくり	中山町自治会	○	○						◎			◎		☆	
2 グループ		新治市民の森に至る取付道路の整備	グループホーム世間座	○							◎			◎			
3 組織	青葉	美しが丘第六公園集会所整備計画	美しが丘西部自治会建設委員会役員会	○				○		◎					◎	☆ H23	
4 プラン	H23 年度																
5 ルール	中	桜道橋・小港橋親柱街灯復元と千代崎川流域碑等の整備	千代崎川の歴史を残す会	○										◎			
		関内の桜通りをビジネス街の花のオアシスに！	関内まちづくり振興会・関内中央振興会	○		○									◎		
6 支援制度	旭	いつまでも思い出とともに暮らせる安心なまちづくり	地域ビズ左近山	○							◎				◎		
7 まち普請	金沢	地域力醸成の拠点となるコミュニティサロンの整備	湘南八景自治会役員と湘南八景「お助けマン」		○						◎				◎	☆ H24	
	栄	公田今昔物語～「公田町の歴史を辿る坂道」整備事業	お互いさまねっといこい応援団	○							◎				◎	☆ (辞退)	
8 顕彰	瀬谷	阿久和北部見守り合い拠点・大きな傘「みまもり広場」	阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会	○							◎				◎	☆ H24	
	H24 年度																
9 広報	神奈川	瀧乃川源流の湧！優！悠！防災井戸作り	瀧乃川保存を考える会	○			◎	○			○			◎		☆ H25	
	中	関わりつつ繋がる本牧里山あそび	本牧山頂公園和田山地区地域連絡会	○							◎			◎	○		
10 委員会	磯子	つなげよう！広げよう！『木』の活動と地域の「環」	NPO 法人こどもりクラブ	○							◎	○		◎	○		
	港北	夢・街のナビゲート大倉山コンシェルジュパーク	大倉山に地域交流拠点をつくる会	○							◎				◎	☆ H25	
11 各区推進状況	青葉	竹林 eco 体験で学びながら地域問題を解決します！	NPO 法人 eco 体験工房		○	○					◎	○		◎			
		どんな時もつながり合える街の家族	「どんな時もつながり合える街の家族」の実行委員会		○							◎				◎	★
		鴨志田カモカモマーケット自然エネルギー化整備事業	鴨志田カモカモマーケット実行委員会		○							○			◎		
12 他区局																	
資料																	

区名	整備提案名	提案主体名	整備場所		整備内容 メインが◎					整備テーマ メインが◎				結果	
			公有地	民有地	植樹・花壇・伐採	水環境の整備	広場・遊び場	みち空間整備	休憩・交流施設	設備	歴史・文化	自然	防災・防犯		美化・環境改善
都筑	中川駅前中央遊歩道のルネッサンスプロジェクト	NPO 法人ぐるっと緑道	○		◎	○		○					◎		☆ H25
栄	市民の果樹園・農園整備と富士山展望の丘整備	一般財団法人オアシス・畑ミニストリー		○	◎		○						◎	○	☆
泉	地域の情報ひろば「うめ花カフェ」	新橋ふれあい会		○					◎					◎	☆ (辞退)
H25 年度															
青葉	たまプラーザ美しが丘公園を世代間交流の場とする	美しが丘公園交流創造実行委員会	○				◎	○					◎	○	☆
金沢	『子育て応援からはじまる地域活性』事業	「みんな笑顔のまちにしたいね!」の会 PeeP		○					◎					◎	☆ (辞退)
神奈川	町の防災拠点づくり	松ヶ丘自治会		○					○	◎			◎	○	☆ H26
西	女性の笑顔で人と人をつなぐ地域応援プロジェクト	ディアナ横濱		○					◎					◎	☆ H26
青葉	寺家・ソダチの森	子どものワークショップ		○			◎	○				◎			
戸塚	戸塚に新しい親子の居場所「ひろばカフェ」をつくらう	特定非営利活動法人こまちプラス		○					◎					◎	☆ H26
H26 年度															
磯子	Café 発～子どもとつくる笑顔いっぱい楽しいまち～	洋光台にコミュニティカフェをつくる会		○					◎					◎	☆ (辞退)
金沢	女性たちの笑顔が活きる「出会いをつなぐ商店会」計画	すずカフェ準備委員会		○					◎					◎	☆ (辞退)
西	カサコ 一丘の街の地域の軒下/世界の軒下	カサコプロジェクト実行委員		○					◎		○			◎	☆ H27
青葉	青葉区にリユース・コミュニティを整備する	特定非営利活動法人 Wave よこはま		○					◎				◎	○	
緑	地域の芸術文化を振興するアーティスト拠点整備	アートカフェ&工房を創る会		○					◎		◎				
港南	美春台内道路の愛称入り案内板と複合コミセン整備事業	美春台自治会助け合いグループ	○					◎	○				○	◎	☆ H27
鶴見	矢向・江ヶ崎 歴史資料室の建設と世代間交流の場作り	矢向・江ヶ崎 歴史資料室を作る会	○						◎		◎				☆ H27

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 の他 区 局 取 組
資 料

7-2 ヨコハマ市民まち普請事業の応募地区・整備地区の分布

【図 7-2】 ヨコハマ市民まち普請事業の応募地区・整備地区の分布（平成 27 年 3 月 31 日現在）



8 顕彰事業の状況

8-1 横浜・人・まち・デザイン賞

地域の個性を生かした魅力あるまちづくりを推進する目的で、平成 11 年度から隔年で「横浜・人・まち・デザイン賞（地域まちづくり部門、まちなみ景観部門）」を 3 回実施した。その後、両部門の根拠となる条例の策定に伴い募集を休止していたが、条例の制定・関連要綱の施行を受け、20 年度に再開し、第 7 回を迎えた。

「横浜・人・まち・デザイン賞」は、魅力あるまちづくりへの貢献が認められる活動を対象とした「地域まちづくり部門」と、魅力ある都市空間の形成に寄与している、まちなみ、建築物などを対象とする「まちなみ景観部門」の 2 部門で構成されている。市民公募によるものの中から、「地域まちづくり部門」は横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会、「まちなみ景観部門」は横浜市都市美対策審議会表彰広報部会の選考に基づいて表彰対象を決定している。なお、地域まちづくり部門では、第 4 回から顕彰対象の活動を支援した個人または団体も表彰することとした。

「地域まちづくり部門」の応募の内訳では、安心・安全に資するまちづくり活動、環境保全活動、市民参加型イベント活動が案件数で上位となっている。これらの分野は前 2 回も案件数の上位を占めており、傾向に特段の変化は見られない。また、歴史や景観の保全、子育てなどの活動内容もあり、多様な分野から応募があった。

「まちなみ景観部門」では、横浜市都市美対策審議会条例に基づいて設置された表彰広報部会が選考している。地域まちづくり部門との重複応募が 8 件あり、両部門のダブル受賞には至らなかったものの、ハードとソフトの両面が合わさって横浜の魅力を高めている。

【表 8-1-1】横浜・人・まち・デザイン賞応募概要（地域まちづくり部門）

	第 6 回	第 7 回
応募期間	H24 年 5 月～6 月（2 か月間）	H26 年 5 月～6 月（2 か月間）
新規広報活動 （第 6 回との比較）	-	区役所にて区民向けモニター画面での PR 画像放映
応募要件	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市内における地域まちづくりの主体である団体であること。 ・おおむね 3 年以上の取組実績があること。（過去に「横浜まちづくり功労者賞」及び「横浜・人・まち・デザイン賞まちづくり活動部門又は地域まちづくり部門」で表彰されたものは対象外） 	
応募方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・応募はがき、又はウェブページからの電子申請による応募（複数の応募も可） ・記載事項：活動団体名、団体の連絡先、応募・推薦理由、地域まちづくりの取組概要 ・自薦、他薦は不問 	
選考基準	①公共性（地域社会への貢献）②積極性 ③地域住民等の幅広い参加や他団体との連携 ④今後の活動の継続性・発展性 ⑤創意工夫	

【表 8-1-2】横浜・人・まち・デザイン賞応募等状況

	募集年度	地域まちづくり部門		まちなみ景観部門	
		選考対象数	顕彰活動数	選考対象数	顕彰景観数
第 1 回	H11 年度	34	6	83	6
第 2 回	H13 年度	24	5	70	5
第 3 回	H15 年度	20	6	66	7
第 4 回	H20 年度	36	6	55	6
第 5 回	H22 年度	37	6	68	6
第 6 回	H24 年度	32	7	84	7
第 7 回	H26 年度	36	6	110	7
合計		219	42	536	44

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち管轄
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 の他 区局 取組
資 料

8 顕彰事業の状況

【表 8-1-3】 第7回横浜・人・まち・デザイン賞 地域まちづくり部門（活動概要等）

	・活動名称 ・活動テーマ等（顕彰対象）	活動団体（表彰対象）	区	活動概要
1	・京浜臨海部等での「トンボはドコまで飛ぶかプロジェクト」 ・トンボを指標とした生態調査を通じた企業・市民・学校等の連携	トンボはドコまで飛ぶかフォーラム	鶴見 神奈川	明治以降、横浜市内でいち早く工業化の進んだ京浜臨海部は、緑の少ない工業地帯だと思われていますが、各事業所の敷地内にはまとまった緑地や貯水池等の水辺が確保されるとともに、トンボ池などのビオトープが造られ、多くの生物が生息しています。 こうした環境をより豊かにしようと、12年間に渡って活動しており、トンボを指標とした生態調査に企業が市民、行政、専門家と協働で取り組むことで、生物多様性や企業緑地の質の向上の推進に結び付いています。
2	・旭中央地区のコミュニティバス「四季めぐり号」の運行 ・コミュニティバスの運行と高齢化対策	コミュニティバス「四季めぐり号」運行委員会	旭	旭中央地区の四季美台の丘陵地は坂道の多い地域で、買い物や通院が不便との声があり、駅前等への交通手段を求めるニーズも多くありました。 そこで、横浜市の「地域交通サポート事業」を活用し、運行委員会が中心になって、コミュニティバスの運行を実現しました。 この取組により、高齢者が安心して外出できるまちにしようという目的が達成されています。
3	・金沢区でつくられる風景 ふるさと大道村 ・環境資源の整備・保全によるコミュニティ活性化	ふるさと大道の風景をつくる会	金沢	金沢区大道小学校の敷地内に地域住民と協力して、「子どもたちが自然の中で豊かに生き物と接して遊ぶことができるように」と願いを込めて、トンボ池、水車、あずまや、井戸などをつくりました。 古民具等に触れられる「むかし資料館」も整備され、くつろぎの空間となっています。 大道の原風景が再現され、ふるさとの自然を楽しめる環境が守られています。
4	・環境意識を高め、歴史も知る大豆戸菊名打ち水大作戦 ・環境学習の啓発によるまちづくり、地域交流	大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会	港北	大豆戸菊名用水路(菊名川)は、現在では暗渠になっています。その川を「打ち水で再現しよう」と始められた取組は、地球温暖化への対策に加え、参加する子どもたちや町内会など地域での環境意識向上も図られるイベントに発展しています。 そのほか、小学校や公園での「大豆」の育苗、観察、自然エネルギー施設の見学会など通じ、まちづくりと環境学習の啓発が進められています。
5	・深谷台地域でのエアーマネジメント 地域課題の解決を实践 ・市民主体の地域運営による地域の課題解決	深谷台地域運営協議会	戸塚	戸塚区のドリームハイツでは、地域の諸課題を自ら解決していくことを目指して地域運営協議会を設立し、子育てやひとり暮らしの不安解消に取り組んできました。 その取組は複数の主体が協働する「市民主体の地域運営」の核へと発展しました。 ここには、地域の課題解決に向けて、「参加できる場」があります。
6	・泉区いちょう団地での生活相談や学習支援 多文化共生の实践 ・多言語・多文化のまちづくり	多文化まちづくり工房	泉	いちょう団地には、外国につながる人が多く住んでいます。当初は関わることの必要性を感じた数名の学生が日本語教室の運営により支援し、現在では多言語での諸課題に対応できるようになりました。 多様な文化背景を持った人たちが個性を出し合い、ともに楽しく暮らせる「まち」をつくるという目的に向かって、活動に取り組んでいます。



1. 生態調査に参加する子ども達



2. 本格運行記念セレモニーの様子



3. トンボ池の手入れの様子



4. 打ち水の様子



5. 参加者からの活発な意見



6. 学習支援活動の様子

全 概	体 況
I 報 告 書	
II 見 解 書	評 価 書 及 び

データ
ブック

1	概 要
2	グ ル ー プ
3	組 織
4	プ ラ ン
5	ル ー ル
6	支 援 制 度
7	ま ち 普 請
8	顕 彰
9	広 報
10	委 員 会
11	各 区 推 進 状 況
12	他 区 局 の 取 組
	資 料

8 顕彰事業の状況

【表 8-1-4】第7回横浜・人・まち・デザイン賞 まちなみ景観部門（景観概要等）

景観名称	区	概要
1 霞橋	中	新山下運河に架かる橋長 32.8m の単純ブラットトラス橋です。 歴史的価値が高かった旧江ヶ崎跨線橋の解体部材を再利用し、支間長を半分にして短い橋に組み直しました。格点や対傾構、支承などといった、オリジナルの特徴的な意匠や構造をできるだけ生かしたデザインとしています。
2 横浜地方気象台とブラフ 99 ガーデン	中	【横浜地方気象台】 創建時は神奈川県測候所の震災復興事業として、1927(昭和2)年に建設されました。山手地区の歴史的景観と調和し、気象台機能を刷新するため、有識者による保存検討会と建築家・安藤忠雄氏の設計により既存庁舎の保存・復元、耐震改修と増築を行い、2009(平成 21)年に完成しました。 【ブラフ 99 ガーデン】 2014(平成 26)年4月に開園した広場で、山手の洋館の前庭をイメージし、1年を通して花や緑を楽しむことができます。 石積みの擁壁「ブラフ積み」を歴史的な景観要素として一部公園内に再現しています。
3 神奈川大学横浜キャンパス3号館	神奈川	住宅地内にあるキャンパスの導入部にあたる場所に立地した、地上4階・地下2階の建物です。建物内には吹き抜けのアトリウム空間があり、ミュージアム機能を備えた展示ホールが併設されています。また、学内の建築学科教員を中心としたワーキンググループを構成し、基本構想やデザイン監修を行いました。
4 横浜ベイクォーター	神奈川	「ヨコハマポートサイド A-3 街区プロジェクト」として進められた大型商業施設であり 2006(平成 18)年に竣工しました。運河沿いの立地を活かした魅力的な空間の中には、インテリア関連やレストラン&カフェ等のテナントが入り、2009(平成 21)年には横浜ベイクォーターと一体利用可能な「横浜ダイヤビル」が竣工しました。
5 旧伊藤博文金沢別邸	金沢	金沢区の野島公園の中にあり、1898(明治 31)年に初代内閣総理大臣伊藤博文の別邸として建築されましたが、老朽化が激しかったため、2009(平成 21)年に現存しない部分を含め創建時の姿に復元しました。 庭園からは海が一望でき、四季折々の花を楽しむことができるなど、市民の憩いの場になっています。
6 横浜公園	中	1876(明治9)年に開園した歴史ある都市公園です。2008(平成 20)年から4年をかけて行われた第5次再整備工事では、バリアフリー化、利便性・安全性の向上、緑被率のアップが図られました。 公園を彩るチューリップは約 16 万球にのぼり、開花の時期には多くの人々で賑わいます。
7 東横フラワー緑道 (東急東横線 東白楽駅から横浜駅周辺)	神奈川・西	みなとみらい線と東急東横線の相互直通運転に伴い、地下化された東白楽駅から横浜駅間の跡地を「東横フラワー緑道」として整備を進め、2011(平成 23)年に完成しました。 現在は、沿線市民により複数の緑道・公園愛護会が結成され、緑道の清掃、広場や緑道を利用したイベントなどの活動を行っています。

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ッ ク
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局
資 料



1. 霞橋



2-1. 横浜地方気象台



2-2. プラフ99ガーデン



3. 神奈川大学横浜キャンパス3号館



4. 横浜ベイクォーター



5. 旧伊藤博文金沢別邸



6. 横浜公園



7. 東横フラワー緑道

全 概	体 況
I	報 告 書
II	評 価 書 及 び 見 解 書

データ
ブック

1	概 要
2	グ ル ー プ
3	組 織
4	プ ラ ン
5	ル ー ル
6	支 援 制 度
7	ま ち 普 請
8	顕 彰
9	広 報
10	委 員 会
11	各 区 推 進 状 況
12	他 区 局 の 取 組
	資 料

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

8-2 第5回横浜・人・まち・デザイン賞アンケート調査結果

平成 23 年度に実施した第5回横浜・人・まち・デザイン賞において表彰された団体に対して、その後の活動等について実態調査を行った。

(調査時期：平成 25 年 8 月 7 日～30 日、調査対象：第5回表彰団体（5 団体のうち 3 団体から回答）

【表 8-2】第5回横浜・人・まち・デザイン賞アンケート調査結果

	鴨居原市民の森を憩いの森にする活動	つづきのみんなで元気なまちづくり	山下公園のコンビニエンスストアで子育て支援活動
問1 デザイン賞受賞に関するPR	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌 ・地域ミニコミ誌 ・鴨居福祉祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等での紹介 ・facebook ・パネル展で掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗内へのプレート掲示 ・HPへの受賞告知
問2 デザイン賞を受賞して、団体メンバーの意識等に変化	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの意識の向上 ・常時活動者の増加 	誇りをもった活動できるようになった	活動に意欲的になった
問3 デザイン賞を受賞して、団体や活動がさらに認知されたと感じる	雑誌への掲載	助成金の応募のときに、インパクトが強くなり、大変効果がある	特になし
問4 デザイン賞受賞後の活動の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者（実戦部隊）の増加 ・活動回数の増加 ・多団体との連携強化 ・役割の向上 	多くの人たちからの受賞についての賛辞	受賞前と同じく、地域とも連携して運営

8-3 まちづくり月間 国土交通大臣表彰

国土交通省では、昭和58年から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、様々な行事を実施しており、魅力あるまちづくりに功績のあった個人または団体に対し、国土交通大臣が表彰状を贈呈している。

本市では、横浜・人・まち・デザイン賞の受賞者を、「まちづくり功労者表彰」の候補者として推薦することができる(横浜まちづくり顕彰事業実施要綱第7条)としている。

平成25、26年度はそれぞれ2件ずつ表彰を受け、これまでに計62団体が受賞している。

国土交通大臣表彰では区画整理事業や再開発事業といったハード面の整備に伴って活動した団体が表彰される傾向がみられる。しかし、本市では横浜・人・まち・デザイン賞の受賞者を「まちづくり功労者表彰」の候補者として推薦していることから、ハード面のみだけではなく、ルールづくり、福祉、ソーシャルビジネスなどのソフト面でのまちづくり活動も表彰対象に選考される結果となっている。

【表 8-3】まちづくり月間 国土交通大臣表彰

(カッコ内は、横浜・人・まち・デザイン賞等受賞年度)
(H11年度より掲載)

年度	表彰対象団体
H11年度	T・R・Y90 事業者組合、三菱地所株式会社、日揮株式会社 (H9)
H12年度	横浜駅西口駅前再開発協議会 (H12)、元町仲通り会 (H12)
H13年度	横浜シティガイド協会 (H12)、仲町台駅前センター街づくり協定運営委員会、仲町台商業振興会、地域作業所「ワークアシスト仲町台」 (H12)、横浜駅西口振興協議会 (H12)
H14年度	横浜弘明寺商店街協同組合 (H14)、第一共同開発株式会社、株式会社モザイク開発 (H14)
H15年度	新横浜町内会 (H14)、鶴見西口オープンカフェ (H14)
H16年度	旭ジャズまつり実行委員会 (H16)、東神奈川駅東口地区市街地再開発組合 (H16)、片倉うさぎ山公園遊び場管理運営委員会 (H16)
H17年度	西谷商栄会井戸ばた倶楽部@nishiya (H16) 新杉田駅前地区市街地再開発組合
H18年度	株式会社日平トヤマ 荏田北二丁目自治会住環境委員会 <条例に基づく「地域まちづくり組織・ルールの認定」>
H19年度	市内受賞なし
H20年度	高島二丁目地区市街地再開発組合 鶴ヶ峰駅南口地区市街地再開発組合 本郷台自治会
H21年度	上大岡マスタープランの会
H22年度	港南台タウンカフェ (H21)
H23年度	NPO 法人横濱ジェントルタウン倶楽部 (H21) 上大岡C南地区市街地再開発組合
H24年度	NPO 法人 I Love つづき (H23) 大口通商店街協同組合大口街づくり委員会 (H21)
H25年度	鴨居原市民の森愛護会 戸塚西口共同ビル管理組合
H26年度	寺尾地区福祉のまちづくり推進協議会 長津田駅北側まちづくり協議会

全
概
況I
報
告
書II
見
解
書
評
価
書
及
びデ
ー
タ
ブ
ック1
概
要2
グ
ル
ー
プ3
組
織4
プ
ラ
ン5
ル
ー
ル6
支
援
制
度7
ま
ち
普
請8
顕
彰9
広
報10
委
員
会11
各
区
推
進
状
況12
の
他
区
局資
料

9 広報、普及啓発活動

9-1 メールマガジン、発行物、ホームページ等

【表 9-1-1】平成 25・26 年度ヨコハマ 人・まちメールマガジン一覧

配信月	タイトル
平成 25 年 5 月	日本応用地質学会・環境地質研究部会 市民フォーラム in 横浜 暮らしと環境保全～災害に学ぶ～
6 月	「ヨコハマ市民まち普請事業」平成 25 年度一次コンテスト開催
9 月	「第 3 回まちづくりびと全員集合！！」～「まち普請」を活用したこれからのまちづくり～開催
11 月	京浜の森づくり事業ツアー 参加者募集のお知らせ
11 月	鶴見川の防災・環境をまるごと体感バスツアー
11 月	平成 25 年「横浜 10 大ニュース」の投票受付開始！
12 月	横浜の地域まちづくりをみんなで考える会
平成 26 年 1 月	ヨコハマ市民まち普請事業平成 25 年度二次コンテスト開催
1 月	まちづくりのツボ発見バスツアー開催
1 月	「ヨコハマ e アンケート」メンバー募集中
1 月	市民普請対象・市民普請支援事業募集
1 月	『連続講座まち仕事をつくる』
2 月	第 1 回横浜サイン・フォーラム参加者募集
3 月	子ども・森・アートが好きで、イベントパフォーマンスをしたい人、参加したい人を募集いたします
3 月	「地域まちづくり白書 2013」を発行しましたいたします
4 月	平成 26 年度 ヨコハマ市民まち普請事業 整備提案を募集します
6 月	ヨコハマ市民まち普請事業 Youtube への動画の掲載について
6 月	第 7 回「横浜・人・まち・デザイン賞」の募集
6 月	ヨコハマ市民まち普請事業平成 26 年度一次コンテスト
6 月	横浜市広報テレビ番組「ハマナビ」にてヨコハマ市民まち普請事業が特集されます
6 月	コミュニティ政策学会が横浜で開催されます！
7 月	「ヨコハマ e アンケート」メンバー募集中
7 月	『地域緑のまちづくり』平成 26 年度提案募集
9 月	第 4 回まちづくり人全員集合
9 月	【第 4 回まちづくり人全員集合】を明日開催します
9 月	高齢者のための防災学習 「いざ災害！ に備えて」の参加者を募集します！！
10 月	「地域デビュー応援セミナー」参加者募集のご案内
10 月	ヨコハマ市民まち普請事業のページ「ヨコハマ市民まち普請ひろば」が始まりました！
10 月	鶴見・旧東海道食べ歩きウォークを開催します！
10 月	おいでよ！寺家のソダチの森に！プロジェクト
11 月	横浜バンコク青年交流セミナー
11 月	鶴見川の防災・環境まるごと体感バスツアー
11 月	まちづくり市民委員を募集しています
11 月	平成 26 年「横浜 10 大ニュース」の投票受付開始！
12 月	市民が公共空間・遊休地を活用する地域まちづくり-その意義と展望
平成 27 年 1 月	真の「自助」「共助」「公助」とは、「安全安心まちづくり講座」（3 回シリーズ）
1 月	「シニア・ハマ・カレッジ」新春セミナー 期待されるシニアの活躍 参加者募集のご案内
1 月	「ヨコハマ e アンケート」メンバー募集中
1 月	つながりのまちづくりフォーラム 2015～次の一手が見えてくる！～
1 月	ヨコハマ市民まち普請事業平成 26 年度二次コンテスト開催
1 月	まちづくりのツボ発見バスツアー開催
2 月	「第 2 回横浜サイン・フォーラム」の開催！！

【表 9-1-2】これまでの発行物一覧（平成 27 年 3 月 31 日現在）

発行物名	発行年月日	配布対象者	内容	全 体 概 況
地域まちづくり推進条例関係				I 報告書
横浜市地域まちづくり推進条例	H19. 4 改訂	市民	推進条例について説明しているパンフレット	
地域まちづくり白書 みんなで進めるまちづくり事例集	H20. 4	市民	まちづくりの事例集	II 評価書及び 見解書
地域まちづくり白書 2009	H21. 12	市民	横浜市のデータと事例の紹介	
地域まちづくり白書 2011	H24. 3	市民	まちづくりの事例集	
地域まちづくり白書 2013	H26. 3	市民	支援制度の紹介と事例集	データブック
地域まちづくりプラン ガイドブック まちへの思いをプランに	H21. 3	市民	地域まちづくりプラン策定の紹介	
地域まちづくりプラン ガイドブック まちへの思いをプランに 概要版	H21. 6	市民	地域まちづくりプラン策定の紹介	
地域まちづくりグループ登録の手順について	—	市民	地域まちづくりグループ登録をするための必要書類等	1 概要
地域まちづくり支援制度関係				2 グループ
「横浜市地域まちづくり支援制度」 って知っていますか？	H25. 3 改訂	市民	支援制度の流れを説明しているパンフレット	3 組織
「横浜市地域まちづくり活動助成事業」助 成金の取扱いについて	H27. 5 改訂	市民	活動助成金についての説明資料	
地域まちづくりグループ・組織のためのハ ンドブック	H27. 5 改訂	市民	推進条例に関する仕組みや制度を解説したもの	
まちづくり活動の段階に応じた支援	H24. 4	市民	各段階における支援制度の使い方を図解	4 プラン
ルール・プランづくり関係				5 ルール
住民合意形成ガイドライン	H26. 4 改訂	市民	事例を基にポイントを示した合意形成を図るためのガイ ドライン（有償配布）	
みんなでつくろうまちのルール	H20. 3	市民	ルール制度の初心者向け説明リーフレット	6 支援制度
	H21. 3	市民	ルール制度（建築協定・景観協定、地区計画、地域ま ちづくりルール、景観計画）の個別シート及び比較表	
みんなでつくろうまちのルール ～定められるルールの種類～	H21. 3	市民	定められるルール内容の種類を説明	7 まち普請
建築協定・景観協定シート	H21. 3	市民	建築協定・景観協定の制度紹介や事例、手続き等につ いて説明	
いちからつくる建築協定 ～新規締結へのガイドブック～	H26. 5 改訂	運営 委員会	建築協定締結に向けたマニュアル	8 顕彰
建築協定運営委員会の手引き	H26. 5 様式等変更 に伴う改訂	運営 委員会	運営委員会向けの円滑な運営のための手引き書	
建築協定更新マニュアル	H25. 4 改訂	建築協 定区域 の方	運営委員会の更新活動作業を説明	9 広報
建築協定だより	年に 2 回 発行	建築協 定区域 の方	建築協定連絡協議会の機関紙	
地区計画シート	H21. 3	市民	地区計画の制度紹介や事例、手続き等について説明	10 委員会
景観計画シート	H21. 3	市民	景観計画の制度紹介や事例、手続き等について説明	
まちの不燃化推進事業（旧いえ・みち まち改善事業）関係				11 各区推進状況
いえ・みち まち改善事業 パンフレット	H24. 7 改訂 H26. 4. 1 事業移行	市民	旧いえ・みち まち改善事業の案内	
いえ・みち まち改善事業 事例記録集	H24. 7 改訂 H26. 4. 1 事業移行	市民	旧いえ・みち まち改善事業の事例紹介	12 の他区局
建築物不燃化推進事業補助パンフレット	H26. 10	市民	建築物不燃化推進事業補助の紹介	
横浜市の地震火災対策パンフレット	H27. 3	市民	横浜市の地震火災対策の紹介	資料
身近なまちの防災施設整備事業補助パン フレット	H27. 4	市民	身近なまちの防災施設整備事業補助の紹介	

9 広報、普及活動

全 体 概 況	発行物名	発行年月日	配布対象者	内容
I 報告書	木造建築物安全相談事業パンフレット	H27. 7	市民	木造建築物安全相談事業の紹介
	ヨコハマ市民まち普請事業関係			
II 評価書及び見解書	ヨコハマ市民まち普請事業整備事例集	年に1回発行	市民	年度ごとの整備事例を紹介
	ヨコハマ市民まち普請事業活動事例集 vol. 1～vol. 8	H25. 3	市民	ヨコハマ市民まち普請事業による整備を終えた施設で展開されている活動の事例集
データブック	まちぶしんぶん 第1号～第16号(最終号)	発行終了(H17. 10～H23. 3)	市民	まち普請事業のイベント等についてのニュース
	ヨコハマ市民まち普請事業応募の手引き	年に1回発行	市民	募集要項
1 概要	ヨコハマ市民まち普請事業提案募集リーフレット	年に1回発行	市民	事業提案の募集案内
	広報用映像DVD	H18～21年度	市民	年度ごとのコンテストの様子を紹介(貸出専用)
2 グループ	facebook ページ	H26. 9開設	市民	リアルタイムでの情報発信
	顕彰事業			
3 組織	横浜・人・まちデザイン賞受賞活動・受賞景観集	隔年で発行	市民	受賞作品集
	横浜・人・まちデザイン賞募集リーフレット	隔年で発行	市民	募集要項
4 プラン	都市計画関係			
	まちづくりは皆さんの“発意”から～都市計画提案制度のご案内～	—	市民	都市計画提案制度の説明
5 ルール	その他			
	ヨコハマ 人・まち	年に3回程度発行	市民	協働によるまちづくり事例の紹介
6 支援制度	「ヨコハマ 人・まち」のご案内メールマガジン	—	市民	メールマガジンの登録案内 (http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/chiikimachi/hitomati/mailmn/mailmn.html)
7 まち普請				
8 顕彰				
9 広報				
10 委員会				
11 各区推進状況				
12 の他区局				
資料				

9-2 区による広報活動

各区では、広報よこはま区版への掲載やパネル展示等により、地域まちづくりの広報を行っている。平成 25、26 年度の区による広報の状況は以下のとおり。

【表 9-2】区による広報・区独自の事業一覧

区	取組状況
鶴見	<p>【多文化共生のまち・つるみ推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま鶴見区版に連載コラムを掲載 (H25) 1月号(第1回)「多文化共生のまちづくり」、2月号(第2回)「鶴見国際交流ラウンジ」、3月号(第3回)「区役所職員向け研修」 (H26) 4月号(第4回)「外国人居住の歴史」、7月号(第5回)「つるみ de 多文化フェスティバル 2014」、9月号(第6回)「外国語窓口専門スタッフの紹介」、11月号(第7回)「鶴見図書館 外国語本コーナー」、1月号(第8回)「外国語による情報発信」、2月号(第9回)「鶴見で楽しむ沖縄料理、南米料理」
神奈川	<ul style="list-style-type: none"> ・区ホームページによる広報
西	<ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま西区版平成 25 年 5 月号(「西区地域のつながりを育み強める補助金」を使った事例として、西戸部町地区で作成した防災マップの紹介) ・広報よこはま西区版平成 26 年 1 月号(東久保町地区の自主防災組織の取組の一つ「災害時プロフェッショナル登録制度」の紹介) ・広報よこはま西区版平成 27 年 1 月号(西戸部町地区の取組として「防災カステップアップキャンプ」のイベントを紹介)
中	<ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま なか区版 平成 27 年 3 月号 「バイバイ作戦から 10 年 大きく変わったまち初音町・黄金町・日ノ出町」
南	-
港南	<ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま港南区版 連載 3 R 夢と合わせてエコ活の啓発記事を連載
保土ヶ谷	<p>【各種イベントにおけるパネル展示】</p> <p>区民まつり、保土ヶ谷宿場まつりなどで、保土ヶ谷宿にまつわる浮世絵タペストリー等の展示などを実施</p> <p>【広報よこはま区版特集ページ掲載】</p> <p>旧東海道保土ヶ谷宿の紹介やイベントを掲載</p>
磯子	<p>(H25) ・広報よこはま磯子区版 7 月号 洋光台まちづくり協議会の活動を紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま磯子区版 8 月号 堀割川魅力づくり実行委員会のイベント開催を掲載 ・区民ホールでパネル展を開催(1月18日～1月24日) 堀割川魅力づくり ・広報よこはま磯子区版 2 月号 堀割川魅力づくり実行委員会の活動を紹介 <p>(H26) ・広報よこはま磯子区版 8 月号 堀割川魅力づくり実行委員会のイベント開催を掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民ホールでパネル展を開催(1月17日～1月23日) 堀割川魅力づくり
旭	<p>広報よこはま旭区版</p> <p>(H25) 12 月号「特集 地域活動 思いやり×つながりで旭区はもっと“ふるさと”になる」 旭区の地域活動団体を掲載</p> <p>(H26) 2 月号「特集 あさひみらい塾で、旭区の“未来”を描こう！」 あさひみらい塾の講座内容を掲載</p>
金沢	<p>(H25) ・広報よこはま金沢区版 1 月号「金沢八景駅周辺のまちづくり」に関する事業内容について掲載</p> <p>(H26) ・広報よこはま金沢区版 1 月号「金沢八景駅周辺のまちづくり」に関する事業内容とスケジュール変更等について掲載</p>
港北	-
緑	<ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはまみどり区版(3月号 まちづくり特集) 地域の悩みや課題を解決するまちづくりの事例やまちづくり団体の活動を紹介
青葉	<ul style="list-style-type: none"> ・広報区版 2 月号 「特集 青葉区のまちづくり」 掲載 ・コミュニティ FM ラジオ (FM サルース) にて地域まちづくりの支援業務の紹介
都筑	<ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま都筑区版 9 月号 横浜環状北西線・北線 PR コーナー 9 月 19 日(木)～9 月 26 日(木) ※まちづくりパネル展と同時開催
戸塚	<ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま戸塚区版 (H25) 10 月 「とつか旧東海道いま・むかし」 旧東海道の魅力を紹介 1 月 「新年にとつかの魅力を再発見」 とつかの魅力を紹介 (H26) 8 月 「川で戸塚の魅力を再発見」 区内の川を特集 3 月 東戸塚の歴史と魅力を紹介

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち管轄

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 の他 区 局 取 組

資 料

9 広報、普及活動

全 体 概 況	区	取組状況
I 報告書	戸塚	<ul style="list-style-type: none"> 区民広場で「旧東海道から見る戸塚の歴史パネル展」を開催 (H25年10月28日～11月7日、H26年7月22日～8月8日) 区民広場で「アンダーパス開通記念、戸塚駅周辺変遷パネル展」を開催 (H26年3月17日～3月30日)
	栄	<ul style="list-style-type: none"> 広報よこはま栄区版2月号「みんなで始めよう！本郷台のまちづくり」
II 評価書及び見解書	泉	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消広報紙「いずみ自慢」の発行、配布 (H25) ・ 広報よこはま泉区版10月号「Eバス、試験運行中！ ～下和泉地区」 (H26) ・ 広報よこはま泉区版4月号「下和泉地区 Eバスが路線バスに」
	瀬谷	-

データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

10 地域まちづくり推進委員会の開催状況

10-1 委員会構成（第5期、平成25年4月～平成27年3月）

【表10-1-1】地域まちづくり推進委員会の構成

委員長	卯月 盛夫（うづき もりお）	早稲田大学教授
副委員長	早田 幸（そうだ おさむ）	早稲田大学教授
	岩松 二郎（いわまつ じろう）	市民委員（公募）
	植木 美子（うえき よしこ）	市民委員（公募）
	小渡 佳代子（こわたり かよこ）	株式会社小渡建築設計室代表取締役
	齊藤 広子（さいとう ひろこ）	明海大学教授
	山家 京子（やまが きょうこ）	神奈川大学教授
	山路 清貴（やまじ きよたか）	山路商事株式会社都市・建築設計室長

【表10-1-2】ヨコハマ市民まち普請事業部会の構成

部会長	名和田 是彦（なわた よしひこ）	法政大学教授
	岡本 溢子（おかもと いつこ）	市民委員（公募）
	河上 牧子（かわかみ まきこ）	明治大学都市ガバナンス研究所客員研究員
	嶋田 昌子（しまだ まさこ）	NPO法人横浜シティガイド協会理事
	菅 博嗣（すが ひろつぐ）	株式会社あいランドスケープ研究所代表
	西田 由紀子（にしだ ゆきこ）	よこはま市民メセナ協会会長
	松本 道雄（まつもと みちお）	市民委員（公募）

【表10-1-3】表彰部会の構成

部会長	山家 京子（やまが きょうこ）	神奈川大学教授
	岩松 二郎（いわまつ じろう）	市民委員（公募）
	川原 晋（かわはら すすむ）	首都大学東京准教授
	小渡 佳代子（こわたり かよこ）	株式会社小渡建築設計室代表取締役
	吉武 美保子（よしたけ みほこ）	特定非営利活動法人よこはま里山研究所主任研究員

【表10-1-4】第6期※ 横浜市地域まちづくり推進委員会の構成

委員長	卯月 盛夫（うづき もりお）	早稲田大学教授
副委員長	山家 京子（やまが きょうこ）	神奈川大学教授
	植木 美子（うえき よしこ）	市民委員（公募）
	奥村 玄（おくむら げん）	株式会社 GEN プランニング代表取締役
	小渡 佳代子（こわたり かよこ）	株式会社小渡建築設計室代表取締役
	杉崎 和久（すぎさき かずひさ）	法政大学教授
	中山 岳志（なかやま たけし）	市民委員（公募）
	室田 昌子（むろた まさこ）	東京都市大学教授

※第6期の期間は、平成27年4月から平成29年3月まで。

注）委員は五十音順、所属等は当時のもの。

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び
見解書

データ
ブック

1 概 要

2 グループ

3 組 織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕 彰

9 広 報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他 区 局
の 取 組

資 料

10 地域まちづくり推進委員会の開催状況

全 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書

【表 10-1-5】 第 6 期* 横浜市地域まちづくり評価書等検討部会構成

部会長	卯月 盛夫 (うづき もりお)	早稲田大学教授
	奥村 玄 (おくむら げん)	株式会社 GEN プランニング代表取締役
	河上 牧子 (かわかみ まきこ)	明治大学 都市ガバナンス研究所客員研究員
	名和田 是彦 (なわた よしひこ)	法政大学教授
	室田 昌子 (むろた まさこ)	東京都市大学教授

※第 6 期の期間は、平成 27 年 4 月から平成 29 年 3 月まで。

注) 委員は五十音順、所属等は当時のもの。

デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 の 取 組
資 料

10-2 開催状況と審議内容

推進委員会及び各部会の開催状況と審議内容は次のとおりである。

10-2-1 地域まちづくり推進委員会（設置以降すべて）

《平成17年度》

■第1回委員会（平成17年12月7日）

- (1) 委員長・副委員長の選出
- (2) 横浜市地域まちづくり推進条例・支援制度の概要について
- (3) 地域まちづくり組織等の認定について
 - ・荏田北二丁目自治会住環境委員会（組織認定）
 - ・荏田北二丁目まちづくり協定（ルール認定）
 - ・市場西中町まちづくり協議会（組織認定）
- (4) 今後の地域まちづくりの推進のあり方について

《平成18年度》

■第2回委員会（平成18年5月10日）

- (1) 地域まちづくりの推進状況について
- (2) 地域まちづくり組織の認定について
 - ・滝頭・磯子まちづくり協議会（組織認定）
- (3) 地域まちづくりの活動表彰制度のあり方について
- (4) 今後の地域まちづくりの推進のあり方について

■第3回委員会（平成18年7月20日）

- (1) 地域まちづくりの推進状況について
- (2) 今後の地域まちづくりの推進のあり方について
- (3) 地域まちづくりの活動表彰制度のあり方について

■第4回委員会（平成18年10月11日）

- (1) 地域まちづくりの推進状況について
- (2) 地域まちづくり組織の認定について
 - ・東久保町夢まちづくり協議会（組織認定）
- (3) 今後の地域まちづくりの推進のあり方について

■第5回委員会（平成19年3月29日）

- (1) 地域まちづくりの推進状況について
- (2) 地域まちづくりルールの変更認定について
- (3) 地域まちづくり推進状況報告書について
- (4) 市民委員の選考結果について
- (5) 今後の地域まちづくりの推進のあり方について

《平成19年度》

■第6回委員会（平成19年7月26日）

- (1) 委員長・副委員長の選出
- (2) 地域まちづくりの推進状況（グループ登録状況等）

全 体 概 況
I 報 告 書
II 見 解 書 評 価 書 及 び

デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 頭 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 取 組
資 料

10 地域まちづくり推進委員会の開催状況

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

- (3) 地域まちづくり推進状況報告書について
- ・報告書等の作成スケジュール、とりまとめ方について
 - ・報告書案について・評価メンバーの選出

■第7回委員会(平成19年10月10日)

- (1) 地域まちづくりプランの認定
 - ・滝頭・磯子地区 防災まちづくり計画(プラン認定)
- (2) 地域まちづくりグループの登録状況
- (3) 地域まちづくり推進状況報告書案・評価案・見解案
- (4) 地域まちづくりの表彰制度について

■第8回委員会(平成19年12月21日)

- (1) 地域まちづくりプランの認定
 - ・鶴見区市場西中町 防災まちづくり計画(プラン認定)
- (2) 地域まちづくり組織・ルールの認定
 - ・大口通商店街協同組合(組織認定)
 - ・大口通地区 まちづくり協定(ルール認定)
- (3) 地域まちづくりグループの登録状況
- (4) 地域まちづくりの表彰制度について

■第9回委員会(平成20年3月19日)

- (1) 地域まちづくりプランの認定
 - ・西区東久保町 防災まちづくり計画(プラン認定)
- (2) 地域まちづくり組織・プランの認定
 - ・山手まちづくり推進会議(組織認定)
 - ・横浜・山手地区まちづくりプラン2007(プラン認定)
- (3) 地域まちづくりグループの登録状況

《平成20年度》

■第10回委員会(平成20年7月23日)

- (1) 地域まちづくり組織・ルールの認定
 - ・馬車道商店街協同組合(組織認定)
 - ・馬車道まちづくり協定(ルール認定)
- (2) 地域まちづくり組織・プランの認定
 - ・一本松まちづくり協議会(組織認定)
 - ・一本松まちづくり協議会 防災まちづくり計画(プラン認定)
- (3) 地域まちづくりグループの登録状況
- (4) 地域まちづくり戦略地区について
- (5) 地域まちづくりプランガイドブックについて
- (6) ヨコハマ・人・まち・デザイン賞及びヨコハマ市民まち普請事業の進ちょく状況について

■第11回委員会(平成20年9月3日)

- (1) 地域まちづくり組織・ルール認定
 - ・馬車道商店街協同組合(組織認定)
 - ・馬車道まちづくり協定(ルール認定)
- (2) 地域まちづくりグループの登録状況
- (3) 地域まちづくり戦略地区について
- (4) 地域まちづくりプランガイドブックについて
- (5) 地域まちづくり事業助成金交付審査委員について

■第12回委員会(平成20年11月20日)

- (1) 地域まちづくり組織・プランの認定
 - ・住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会(組織認定)
 - ・住みよいまち・本郷3丁目地区協議会 防災まちづくり計画(プラン認定)
- (2) 地域まちづくりグループの登録状況
- (3) 地域まちづくり戦略地区について
- (4) 市民公募委員の選考について

■第13回委員会(平成21年3月3日)

- (1) 地域まちづくり組織の認定
 - ・三春の丘まちづくり協議会(組織認定)
- (2) 地域まちづくりグループの登録状況等
- (3) 地域まちづくり戦略地区について

《平成21年度》

■第14回委員会(平成21年7月29日)

- (1) 地域まちづくり組織・ルール認定
 - ・元町自治運営会(組織認定)
 - ・元町町づくり協定(ルール認定)
 - ・協同組合元町エスエス会(組織認定)
 - ・元町通り街づくり協定(ルール認定)
 - ・商店街振興組合元町クラフトマンシップ・ストリート(組織認定)
 - ・元町仲通り地区街づくり協定(ルール認定)
- (2) 地域まちづくりルールの認定
 - ・滝頭・磯子まちづくり協議会 浜マーケット地区地域まちづくりルール(ルール認定)
- (3) 地域まちづくりの推進の報告書、評価書、見解書及び地域まちづくり白書について
- (4) 地域まちづくり展開方策について

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書

データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

全 概 体 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 の 取 組
資 料

■第15回委員会(平成21年10月22日)

- (1) 地域まちづくり組織・プランの認定
 - ・浦島町まちづくり協議会(組織認定)
 - ・浦島町まちづくり協議会 防災まちづくり計画(プラン認定)
- (2) 地域まちづくり組織・ルール of 認定
 - ・湘南桂台自治会(組織認定)
 - ・湘南桂台まちづくり指針(ルール認定)
- (3) 地域まちづくりの推進の報告書、評価書、見解書及び地域まちづくり白書について
- (4) 地域まちづくり展開方策について

■第16回委員会(平成22年3月11日)

- (1) 地域まちづくり組織・ルール of 認定
 - ・横浜金沢産業連絡協議会(組織認定)
 - ・金沢産業団地土地使用協定(ルール認定)
- (2) 地域まちづくり組織・ルール of 認定
 - ・協同組合横浜マーチャンダイジングセンター地区計画推進特別委員会(組織認定)
 - ・幸浦MDC地区まちづくり協定(ルール認定)
- (3) 地域まちづくりプラン of 認定
 - ・三春の丘まちづくり協議会 防災まちづくり計画(プラン認定)

《平成22年度》

■第17回委員会(平成22年7月22日)

- (1) 地域まちづくり組織・ルール of 認定
 - ・丸山台自治会(組織認定)
 - ・丸山台まちづくりガイドライン(ルール認定)

■第18回委員会(平成22年10月25日)

- (1) 地域まちづくり組織・プラン of 認定
 - ・お三の宮通りまちづくり委員会(組織認定)
 - ・お三の宮通りまちづくりプラン(プラン認定)
- (2) 地域まちづくり組織・プラン of 認定
 - ・寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会(組織認定)
 - ・寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会 防災まちづくり計画(プラン認定)
- (3) 次期市民公募委員の選考方法について

《平成23年度》

■第19回委員会(平成23年7月25日)

- (1) 地域まちづくりルールの認定
 - ・山手まちづくり協定(ルール認定)
- (2) 地域まちづくり推進状況報告書・評価書及び見解書について

■第20回委員会(平成23年10月27日)

- (1) 地域まちづくり組織・プランの認定
 - ・新子安まちづくり推進委員会（組織認定）
 - ・地域力・魅力あっぷ 新子安地域まちづくりプラン（プラン認定）
- (2) 地域まちづくり推進状況報告書・評価書及び見解書について
- (3) 表彰部会について
- (4) 地域まちづくり事業助成金交付審査委員会について

■第21回委員会(平成24年3月2日)

- (1) 地域まちづくりルールの認定
 - ・滝頭・磯子地区地域まちづくりルール
- (2) 地域まちづくりルールの変更認定
 - ・大口通地区まちづくり協定
- (3) 地域まちづくり組織・ルールの認定
 - ・大倉山エルム通り街づくり委員会（組織認定）
 - ・大倉山エルム通り街づくり協定（ルール認定）
- (4) 地域まちづくり推進状況報告書・評価書及び見解書について

《平成24年度》

■第22回委員会(平成24年6月15日)

- (1) 地域まちづくり組織の認定
 - ・米軍根岸住宅地区返還・まちづくり協議会
- (2) 地域まちづくりルールの変更認定
 - ・湘南桂台まちづくり指針

■第23回委員会(平成24年10月18日)

審議案件の申出がないため、中止。

■第24回委員会(平成25年3月6日)

- (1) 地域まちづくりルールの変更認定
 - ・幸浦MDC地区まちづくり協定
- (2) 地域まちづくり組織・ルールの認定
 - ・メール・ド磯子まちづくりルール運営委員会（組織認定）
 - ・メール・ド磯子まちづくりルール（ルール認定）
- (3) 地域まちづくり組織・プランの認定
 - ・新桜ヶ丘二丁目まちづくり協議会（組織認定）
 - ・新桜ヶ丘二丁目地区 安全、安心なみちづくりプラン（プラン認定）
- (4) 地域まちづくり組織・ルールの認定
 - ・六角橋商店街連合会（組織認定）
 - ・六角橋商店街地区まちづくりルール（1-11区域）（ルール認定）

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書

データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

全体概況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

《平成25年度》

■第25回委員会(平成25年5月30日)

- (1) 地域まちづくり推進状況報告書及び評価書について
- (2) 部会等の委員について
 - ・ヨコハマ市民まち普請事業部会
 - ・表彰部会
 - ・評価書担当者会

■第26回委員会(平成25年10月17日)

- (1) 地域まちづくり推進状況報告書及び評価書について

■第27回委員会(平成26年3月6日)

- (1) 地域まちづくり組織・ルールの変更認定
 - ・六角橋商店街連合会(組織認定)
 - ・六角橋商店街地区まちづくりルール(ルール認定)
- (2) 地域まちづくりプランの変更認定
 - ・滝頭・磯子地区 防災まちづくり計画(プラン変更)
- (3) 地域まちづくり組織・プランの認定
 - ・わがまち北方防災まちづくり協議会(組織認定)
 - ・わがまち北方防災まちづくり計画(プラン認定)
- (4) 地域まちづくり組織・プランの認定
 - ・山下地区安全・安心まちづくり協議会(組織認定)
 - ・緑区山下地区安全・安心まちづくりプラン(プラン認定)
- (5) 地域まちづくり推進状況報告書・評価書及び見解書について

《平成26年度》

■第28回委員会(平成26年6月13日)

- (1) 今後の地域まちづくり推進のあり方について

■第29回委員会(平成26年10月20日)

- (1) 地域まちづくり組織の認定
 - ・下野谷1・2丁目防災まちづくり協議会(組織認定)
- (2) 地域まちづくり組織・ルールの認定
 - ・洋光台六丁目南地区地域まちづくりルール運営委員会(組織認定)
 - ・洋光台六丁目南地区地域まちづくりルール(ルール認定)
- (3) 地域まちづくり組織・ルールの認定
 - ・東山田準工地域をまもる会(組織認定)
 - ・東山田準工地域まちづくり協定(ルール認定)

■第30回委員会(平成26年12月18日)

- (1) 今後の地域まちづくり推進のあり方について
- ・まちづくり課題へのアプローチ
 - ・これからのプラン・ルールのあり方
 - ・地域ニーズにあった柔軟な支援のあり方
 - ・中間支援者・組織の機能強化
 - ・地域まちづくり推進体系の整理

■第31回委員会(平成27年2月24日)

- (1) 今後の地域まちづくり推進のあり方について ※主な資料はP.186～188を参照
- (2) 地域まちづくり組織・プランの認定
- ・金沢地区防災まちづくり協議会(組織認定)
 - ・金沢地区防災まちづくり計画(プラン認定)

■第32回委員会(平成27年3月26日)

- (1) 地域まちづくりルールの変更認定
- ・元町仲通り地区街づくり協定(ルール変更)
 - ・元町通り街づくり協定(ルール変更)
 - ・元町町づくり協定(ルール変更)
- (2) 地域まちづくりプランの認定
- ・下野谷1・2丁目防災まちづくりプロジェクト(プラン認定)
- (3) 地域まちづくりプランの認定
- ・六角橋商店街地区 安心・安全なまちの環境整備計画(プラン認定)
- (4) 地域まちづくり組織・ルールの認定
- ・東海道戸塚宿まちづくり倶楽部(組織認定)
 - ・東海道戸塚宿まちづくりルール(ルール認定)
- (5) 地域まちづくり組織・ルールの認定
- ・明るい街コミュニティ戸塚(組織認定)
 - ・明るい街コミュニティ戸塚ルール(ルール認定)

全
体
概
況I
報
告
書II
見
解
書
評
価
書
及
びデ
ー
タ
ブ
ック1
概
要2
グ
ル
ー
プ3
組
織4
プ
ラ
ン5
ル
ー
ル6
支
援
制
度7
ま
ち
普
請8
頭
彰9
広
報10
委
員
会11
各
区
推
進
状
況12
の
他
区
局
の
取
組資
料

10-2-2 ヨコハマ市民まち普請事業部会（平成 25、26 年度分）

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 の 取 組
資 料

《平成25年度》

■第38回部会（平成25年6月13日）

- (1) 平成25年度一次コンテストの進め方について

■第39回部会（平成25年6月22日）

- (1) 平成25年度一次コンテスト

■第40回部会（平成25年8月28日）

- (1) 「まちづくりびと 全員集合！」について

■第41回部会（平成25年11月12日）

- (1) 現地見学会の進め方について
 (2) 平成25年度二次コンテストの進め方について
 (3) 平成26年度スケジュールについて

■第42回部会（平成26年1月17日）

- (1) 現地見学会の振り返りについて
 (2) 平成25年度二次コンテストの進め方について

■第43回部会（平成26年2月2日）

- (1) 平成25年度二次コンテスト

《平成26年度》

■第44回部会（平成26年6月9日）

- (1) 平成26年度一次コンテストの進め方について

■第45回部会（平成26年6月21日）

- (1) 平成26年度一次コンテスト

■第46回部会（平成26年8月27日）

- (1) 「まちづくりびと 全員集合！」について

■第47回部会（平成26年11月12日）

- (1) 現地見学会の進め方について
 (2) 平成26年度二次コンテストの進め方について
 (3) 平成27年度スケジュールについて

■第48回部会（平成27年1月16日）

- (1) 現地見学会の振り返り
 (2) 平成26年度二次コンテストの進め方について

■第49回部会（平成27年2月1日）

- (1) 平成26年度二次コンテスト

10-2-3 表彰部会（平成 25、26 年度分）

《平成25年度》

■第9回表彰部会（平成25年10月3日）

- (1) 部会長の選出について
- (2) 第7回横浜・人・まち・デザイン賞の進め方について
- (3) その他

■平成25年度横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会

及び横浜市都市美対策審議会表彰広報部会合同部会（平成26年1月28日）

- (1) 座長の決定について
- (2) 第7回横浜・人・まち・デザイン賞について
- (3) その他

《平成26年度》

■第10回表彰部会（平成26年12月4日）

- (1) 状況報告
- (2) 「地域まちづくり部門」の選考
- (3) 「活動を支援した個人または団体」の選考
- (4) 今後の予定

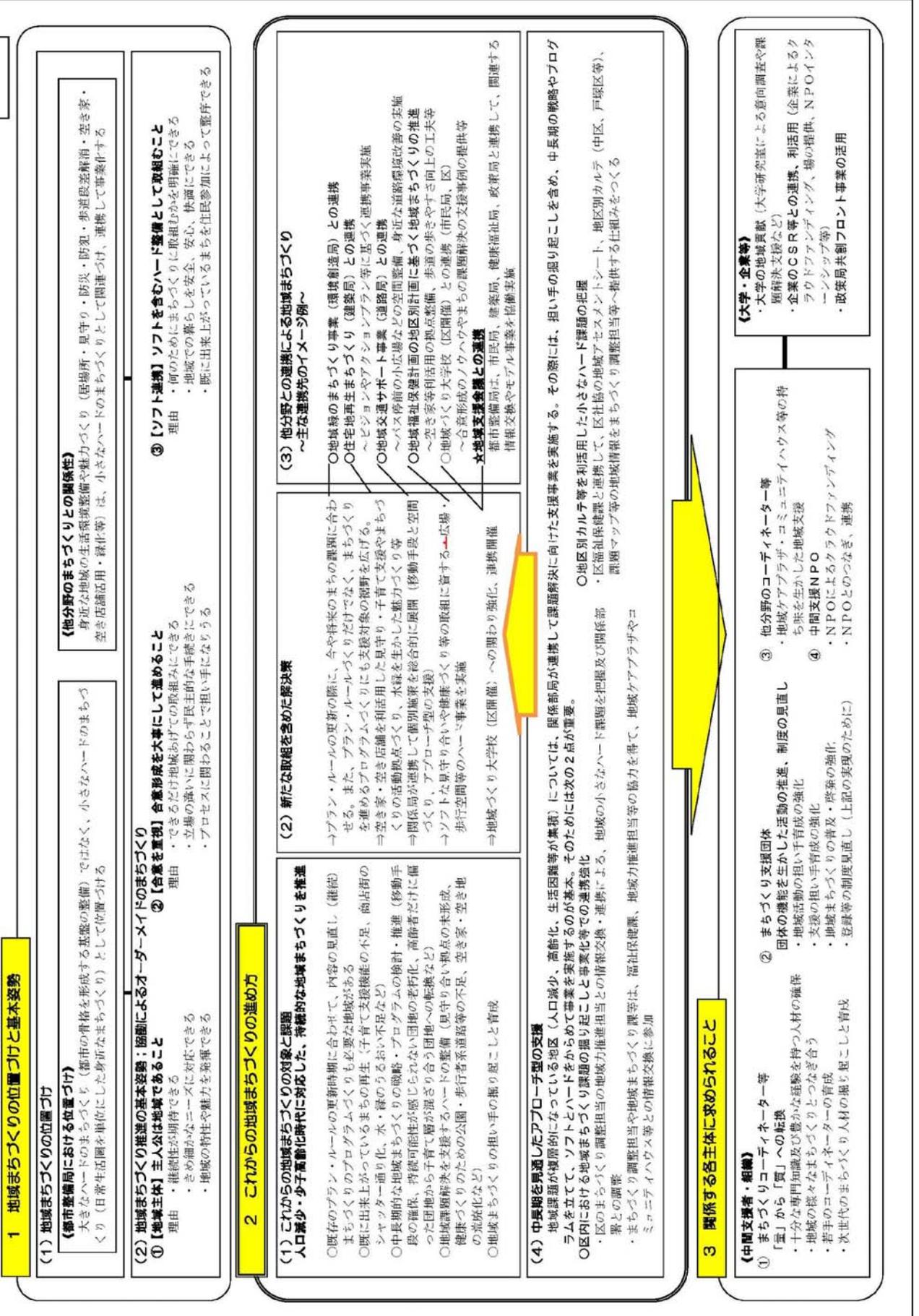
全 概 況
I 報 告 書
II 見 解 書 評 価 書 及 び

デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 の 取 組
資 料

【参考】地域まちづくり推進のあり方検討資料（第31回委員会資料より抜粋）

全 体 概 況	I 報告書	II 評価書及び見解書	データブック	1 概要	2 グループ	3 組織	4 プラン	5 ルール	6 支援制度	7 まちづくり	8 顕彰	9 広 告	10 委員会	11 各区推進状況	12 他 区 司 取 組	資 料
---------	-------	-------------	--------	------	--------	------	-------	-------	--------	---------	------	-------	--------	-----------	--------------	-----

地域まちづくり推進条例に基づく今後の地域まちづくり推進のあり方～小さなハードの大きな力を発揮させよう！



(資料つづき)

1 小さなハードの(まちづくりの)大きな力

1 大きなハードのまちづくりと小さなハードのまちづくり

(1) 大きなハードのまちづくり
 ~都市の骨格を形成する基盤の整備
 行政による公共事業で実施

- 都市マス(全市プラン、区プラン)
- 景観計画(期内等の重点地区)等
- 駅前再開発事業、区画整理事業
- 幹線道路・鉄道の整備
- 骨格的な水・緑の保全
- 副都心・新都心等の都市内拠点の整備

(2) 小さなハードのまちづくり
 ~生活圏を単位にした身近なまちづくり
 地域によるまちづくりを行政が支援

- まちの将来ビジョン(地区プラン、憲章、日標等)
- 建築協定・地域まちづくりルール等
- 生活道路の改善(ぶつ切り道路の接続整備、狭路道路の整備、バス交通のための横切り、歩行者向けの遊歩道設置等)
- はざれ斜面林の保全、緑豊かな住宅地での緑化、空き地活用的小広場・花壇等の整備等
- 空き家・空き店舗を使った居場所やサロン等の拠点整備

3 「小さなハードのまちづくり」の実践事例(例示)

例1: 寺尾福祉のまちづくり
 ~福祉のまちづくり重点整備地区等
 福祉のまちづくり重点整備地区指定を受けて、
 からお福まち協議会による積み上げ型のソフト・
 ハード事業の展開

【目標や計画】「寺尾らしさを大切にしたいまちや人のスムーズなつながり」づくりを目標に、ハード(丘陵のまちを抜くこと)とソフト(さまざまな人々の関係を築く)を積み上げるまちづくり



【ソフト展開】
 ・リレーイベント&カンパニー作成
 ・ガリバーマップ、まちの絵地図づくり、まち環境マップ
 ・ナイトウォーク
 ・まち自衛大会、福まちフェスタ等

【ハード整備】
 ・バス停留所の改善
 ・身近な公園の改修
 ・小さないざ設置大作戦
 ・バス通り歩道のバリアフリー改善
 ・街角のゆとりづくり(出会いの道しるべ)

例2: 中川駅前まちづくり
 ~歩道づくり、カフェ運営、地域緑化等
 ぐらっと緑道歩道研究会(現 NPO 法人ぐるっ
 と緑道)は、市営地下鉄中川駅前を中心に、歩道
 設置、カフェ運営、既存遊歩道の再整備を実施

【目標や計画】初期期
 戦略を検討し、第一段階は歩道設置、第二段階は商店街活性化、第三段階は中川小学校区
 のまちづくりとして設定



【ソフト展開】
 ・福祉のまちづくり重点整備地区でのふれあいフェスタ実施
 ・まちづくりの報告会やシンポの開催
 ・カフェの運営
 ・ルネッサンスPPや散水袋、ナーサリーの育苗

【ハード整備】
 ・企業と土木事務所と協働で、途切れた遊歩道をつなぐ歩道を設置
 ・スポーツジムのコピーへのほつととカフェ中川の設置、運営
 ・80箇所以上の花壇作り等をまち普請事業で実施

例3: 庄戸の元気づくり
 ~交流サロン庄戸、地域ふれあい交流等
 庄戸元気づくり実行委員会(全員公募21名でスタート、来区福祉協議会の3カ年の活動達成、それ以降は自立化)を中心に活動継続

【目標や計画】中長期を見通した行動計画(生きがい、コミュニティ、福祉、健康、環境、安全、安心の5つの部会で検討)からスタート



【ソフト展開】
 ・多世代交流、子育て支援、地域づくり
 ・あいさつ運動、庄戸小での「街の先生」イベント
 ・暮らしの応援グループ、集団資源回収など

【ハード整備】
 ・空き家を活用した交流サロンの設置(第一号は無償、第二号は有償。家具等は住民からの寄付)

例4: 阿久和北部みまもり広場
 ~おとなり増カード、広場による見守り等
 阿久和北部連合自治会における「阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会」で、見守り合い拠点を公園内に設置、運営

【目標や計画】阿久和北部地区では、見守り合い地域づくりを進めてきており、「見守り合いフェスティバル」を開催実施、常設の拠点を設置、運営



【ソフト展開】
 ・連合町内会・地区社協、おじの広場等による見守り合いネットワーク実行委員会が輪番で分担
 ・谷戸自治会等のおとなり増カードを被った見守りポイントとして機能

【ハード整備】
 ・まち普請事業を使って、道路から遊ぶ姿が見えにくい阿久和向陽第二公園内のみまもり広場を地域あけての見守り拠点として機能

2 「小さなハードのまちづくり」の強み・特徴

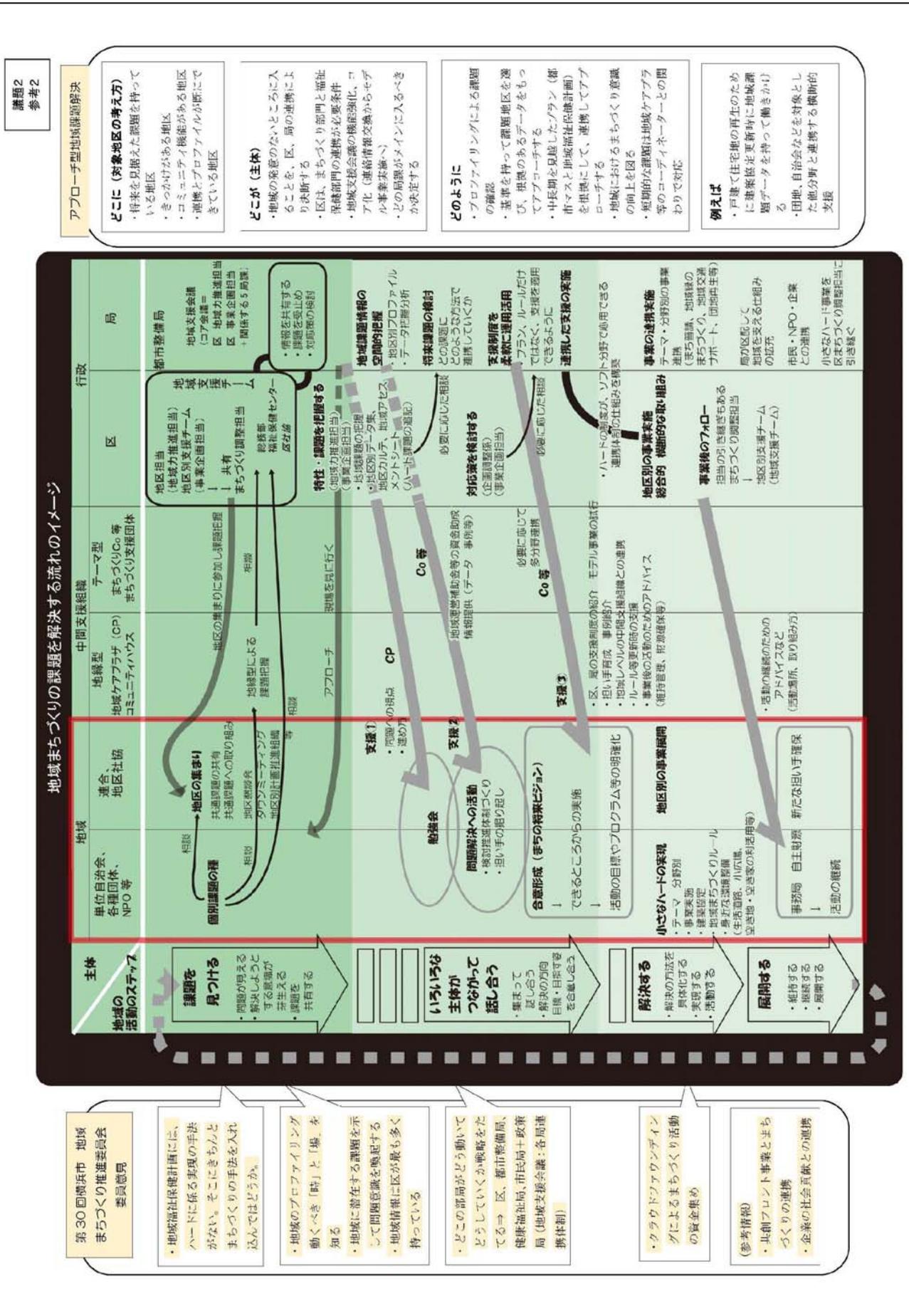
- ハードにならざるうちに、ソフト分野にアピール
 地域課題を把握し、分析する方法やツールが蓄積されている
 まち歩き、ガリバーマップ作成、現状状況が分かる立体地形図、地域の資源・課題マップなど
- ① 様々な立場の住民を相手にした合意形成の仕組みが工夫されている
 ヒアリングやインタビュー等を使った担い手の発掘や組織づくり、ワークショップやワークショップ等の話し合いの方法論、アンケート、意向調査等の手続きなど
 - ② 地区の将来像や目標を分かりやすく提示するノウハウがある
 まちづくりの考え方や、基本的な方向性、まちづくりの指針、将来ビジョンなど
 - ③ 多様な分野を横つなぎして総合的に組み立てる力に長けている
 福祉のまちづくり、アートまちづくり、農あるまちづくりなど
 - ④ 市民生活に密着したきめ細かなものを魅力づくりにまともな提示できる
 地域の魅力資源、歴史遺産、シンボル、自慢できることやもの、空き家、空き地、商店街、地域施設、特色ある公園、身近な自然、遊休農地など
 - ⑤ 様々な団体や世代の関わりや連携を地域活動につなげられる
 自治会・町内会、各種団体、任意のサークルやグループ、子ども・青少年、子育て層、働き盛りの男性、元気高齢者など

課題2
 参考1

全 体 概 況	I 報告書	II 評価書及び見解書											
データブック	1 概要	2 グループ	3 組織	4 プラン	5 ルール	6 支援制度	7 まち普請	8 顕彰	9 広報	10 委員会	11 各区推進状況	他 区 局 の 取 組	資 料

(資料つづき)

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まちづくり
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局
資料



課題2 参考2

アプローチャー型地域課題解決

どこに (対象地区の考え方)

- ・将来を見据えた課題を持っている地区
- ・きっかけがある地区
- ・コミュニティ機能がある地区
- ・連携とプロファイルが断念にできている地区

どこが (主体)

- ・地域の発意のないところに入り込むこと、区、局の連携により決断する
- ・区は、まちづくり部門と福祉保健部門の連携が必要条件
- ・地域支援会議の機能強化、コア化 (連絡情報交換からセザル事業本派へ)
- ・どの局課がメインに入るべきかを決定する

どのように

- ・プロファイリングによる課題の確認
- ・基盤を持って課題地区を渡り、根拠のあるデータをもってアプローチャーする
- ・中長期を見越したプラン (都市マスと地域福祉保健計画) を根拠にして、連携してアプローチャーする
- ・地域におけるまちづくり意識の向上を図る
- ・短期的な課題は地域ケアアラザ等のコアデザイナーとの関わりで対応

例えば

- ・戸建て住宅地の再生のために建築協定更新時に地域課題データを保持して働きかける
- ・団地、自治会などを対象とした他分野と連携する横断的支援

特徴・課題を把握する

- ・情報共有する
- ・課題を整理する
- ・対応の検討

地域課題情報の空間的把握

- ・地区別プロファイル
- ・データ把握分析

将来課題の検討

- ・どの課題にどのようか方法で取り組んでいくか

支援制度を本邦に活用

- ・プラン、ルールだけではない、支援を活用できるように

連携した支援の発掘

- ・ハードの動向が、ソフト分野で活用できる
- ・連携体部の仕組みを構築

事業の連携実施

- ・テーマ、分野別の事業連携
- ・まちづくり、地域交通プラットフォーム、団地再生等

地区別の事業実施 総合的・機動的な取り組み

- ・局が連携して地域課題を把握する仕組みの構築
- ・市民・NPO・企業との連携
- ・小さなハード事業をまちづくり関係担当に引き継ぐ

事業後のフォロー

- ・まちづくり関係担当
- ・地区別支援チーム (地域支援チーム)

対称性を検討する

- ・必要に迫られた相談
- ・必要に応じて相談

Co等

- ・地域運営補助会等の資金助成情報提供 (データ 事務局)
- ・必要に応じて多分連携

Co等

- ・区、局の支援制度の紹介
- ・モデル事業の試行
- ・担い手育成 事例紹介
- ・地域レベルの中核支援組織との連携
- ・ルール等更新時の支援
- ・事業後の活動のためのアドバイス (維持管理、更新確保等)

小せもハードの実現

- ・テーマ 分野別
- ・事業実施
- ・建築協定
- ・地域まちづくりルール (生活道路、小公園、空き地・空き家の活用等)

活動の目標やプログラム等の明確化

- ・活動の継続のためのアドバイスなど (活動場所、取り組み方)

事務局 自主財源 新たな担い手確保

- ・活動の継続

第30回横浜市 地域まちづくり推進委員会 委員意見

- ・地域福祉確保計画には、ハードに係る実現の手法がない。そこできちんとまちづくりの手法を入れ込んでほしい。
- ・地域のプロファイリング、動くべき「時」と「場」を知る
- ・地域に存在する課題を示して問題意識を喚起する
- ・地域情報に区が最も多く持っている
- ・どの部局がどう動いてどうしていかか戦略をたてる → 区、都市整備局、健康福祉局、市民局+政策局 (地域支援会議: 各局連携体制)
- ・クラウドファンディングによるまちづくり活動の資金集め
- (参考情報)
 - ・其創フロント事業とまちづくりの連携
 - ・企業の社会貢献との連携

11 各区の地域まちづくりの推進状況

11 各区の地域まちづくりの推進状況

各区における地域まちづくりの現状把握や、今後の地域まちづくりの推進に向けた検討などの活用を期待して、横浜市地域まちづくり推進条例に基づく地域まちづくりの推進状況を区別にまとめました。具体的な掲載内容及びその時点は次のとおりです。

ア 地域まちづくりグループ

平成 27 年 3 月 31 日時点で登録されている団体。

イ 地域まちづくり組織

平成 27 年 3 月 31 日時点で認定された団体。認定が終了している組織は除く。

ウ 地域まちづくりプラン

平成 27 年 3 月 31 日時点で認定されたプラン。認定が終了しているプランは除く。

エ 地域まちづくりルール

平成 27 年 3 月 31 日時点で認定されたルール。認定が終了しているルールは除く。

オ 地域まちづくり支援制度

平成 25、26 年度中に地域まちづくり支援制度要綱に基づく支援を受けた団体。

- (ア) まちづくりコーディネーター等派遣
- (イ) まちづくりコーディネーター等年間委託
- (ウ) 地域まちづくり活動助成
- (エ) 地域まちづくり事業助成

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備団体）

平成 27 年 3 月 31 日時点で整備を完了している団体。

全
概
体
況

I
報
告
書

II
見
解
書
評
価
書
及
び

デ
ー
タ
ブ
ック

1

概
要

2

グ
ル
ー
プ

3

組
織

4

プ
ラ
ン

5

ル
ー
ル

6

支
援
制
度

7

ま
ち
普
請

8

顕
彰

9

広
報

10
委
員
会

11
各
区
推
進
状
況

12
の
他
区
局
の
取
組

資
料

鶴見区

全
体
概
況

防災まちづくりに向けた地域まちづくりプランの策定活動が多く、プラン策定後も支援制度を活用する団体が見られる。また、ヨコハマ市民まち普請事業による整備は3団体と比較的多い。

I
報
告
書

II
評
価
書
及
び
見
解
書

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H25	下野谷町一・二丁目地区 防災まちづくり勉強会	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

デ
ー
タ
ブ
ック

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H17	鶴見区市場西中町まちづくり協議会	鶴見区市場西中町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	下野谷1・2丁目防災まちづくり協議会	鶴見区下野谷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

1
概
要

2
グ
ル
ー
プ

3
組
織

ウ 地域まちづくりプラン

認定年度	プラン名称（組織名称）	活動所在地	内容
H19	鶴見区市場西中町 防災まちづくり計画（鶴見区市場西中町まちづくり協議会）	鶴見区市場西中町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

4
プ
ラ
ン

5
ル
ー
ル

エ 地域まちづくりルール

該当なし

6
支
援
制
度

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25, 26 年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等単発派遣

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	鶴見区市場西中町まちづくり協議会	鶴見区市場西中町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	下野谷町一・二丁目地区 防災まちづくり勉強会	鶴見区下野谷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	鶴見区市場西中町まちづくり協議会	鶴見区市場西中町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

7
ま
ち
普
請

8
顕
彰

9
広
報

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	下野谷町一・二丁目地区 防災まちづくり勉強会	鶴見区下野谷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	鶴見区市場西中町まちづくり協議会	鶴見区市場西中町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	下野谷1・2丁目防災まちづくり協議会	鶴見区下野谷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

10
委
員
会

11
各
区
推
進
状
況

12
他
区
局
の
取
組

資
料

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	鶴見区市場西中町まちづくり協議会	鶴見区市場西中町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	鶴見区市場西中町まちづくり協議会	鶴見区市場西中町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	下野谷1・2丁目防災まちづくり協議会	鶴見区下野谷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H18	岸谷公園を中心とした、まちの防災・防犯拠点の再整備（岸谷第二自治会）	公有地	設備	防災・防犯
H22	鶴見川大曲、花と緑と水の広場づくり（駒岡連合町会大曲広場整備実行委員会）	公有地	広場・遊び場 植樹・花壇・伐採 水環境の整備	自然
H22	地域ぐるみで地域開放型コミュニティ・サロンをつくる（地域開放型サロンを豊岡につくる会）	民有地	休憩・交流施設	地域交流

全 体 概 況

I 報告書

II 見解書
評価書及び

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 の取組

資料

神奈川区

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び
見解書

データ
ブック

1 概 要

2 グループ

3 組 織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕 彰

9 広 報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他 区 局
の 取 組

資 料

防災まちづくりや商店街のまちづくり、駅前拠点のまちづくりなど幅広い様々な活動が進められている。地域まちづくりルール2件は両方とも商店街におけるルールである。また、支援制度もまんべんなく利用されており、ヨコハマまち普請事業による整備も3件と比較的多い。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H20	東高島駅北地区まちづくり協議会	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
H22	横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発準備組合	再開発
H25	松ヶ丘自治会	地域まちづくりプラン

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H19	大口通商店街協同組合	神奈川区大口通	地域まちづくりルール
H21	浦島町まちづくり協議会	神奈川区浦島町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H23	新子安まちづくり推進委員会	神奈川区新子安	地域まちづくりプラン
H25	六角橋商店街連合会	神奈川区六角橋	地域まちづくりルール

ウ 地域まちづくりプラン

認定年度	プラン名称（組織名称）	活動所在地	内容
H21	浦島町まちづくり協議会防災まちづくり計画（浦島町まちづくり協議会）	神奈川区浦島町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H23	地域力・魅力あふぶ新子安地域まちづくりプラン（新子安まちづくり推進委員会）	神奈川区新子安	総合

エ 地域まちづくりルール

認定年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H20	大口通地区まちづくり協定（大口通商店街協同組合）	神奈川区大口通	商店街の自主ルール
H25	六角橋商店街地区まちづくりルール（六角橋商店街連合会）	神奈川区六角橋	商店街の自主ルール

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25、26 年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	浦島町まちづくり協議会	神奈川区浦島町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	松ヶ丘自治会	神奈川区松ヶ丘	地域まちづくりプラン
	浦島町まちづくり協議会	神奈川区浦島町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	六角橋商店街連合会	神奈川区六角橋	地域まちづくりプラン

(イ) まちづくりコーディネーター等年間委託

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	六角橋商店街連合会	神奈川区六角橋	地域まちづくりプラン

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発準備組合	神奈川区鶴屋町	再開発
	浦島町まちづくり協議会	神奈川区浦島町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	六角橋商店街連合会	神奈川区六角橋	地域まちづくりプラン
H26	横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発準備組合	神奈川区鶴屋町	再開発
	松ヶ丘自治会	神奈川区松ヶ丘	地域まちづくりプラン
	浦島町まちづくり協議会	神奈川区浦島町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	六角橋商店街連合会	神奈川区六角橋	地域まちづくりプラン

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H19	地域のコミュニケーション基地「うさきちハウス」づくり（うさきちハウスづくり実行委員会）	公有地	休憩・交流施設 広場・遊び場	地域交流
H25	瀧乃川源流の湧！優！悠！防災井戸作り（瀧乃川保存を考える会）	公有地	水環境の整備 広場・遊び場 設備	防災・防犯
H26	町の防災拠点づくり（松ヶ丘自治会）	民有地	設備 休憩・交流施設	防災・防犯 地域交流

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1 概要
2 グループ
3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他区局の取組

資料

西区

全
体
概
況

防災まちづくりや再開発の全体的に活動が中心であり、特に東久保町では地域まちづくりプラン認定後の活動における支援制度の活用も多く、事業助成によるまちの整備も進められている。また、ヨコハマ市民まち普請事業による整備は3件と比較的多い。

I
報
告
書

II
評
価
書
及
び
見
解
書

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H18	横浜駅西口五番街地区市街地再開発準備組合	再開発
	横浜駅西口地区市街地再開発準備組合	再開発
H21	みなとみらい市民街づくり協議会	その他環境改善・魅力づくり等

デ
ー
タ
ブ
ック

1
概
要

2
グ
ル
ー
プ

3
組
織

4
プ
ラ
ン

5
ル
ー
ル

6
支
援
制
度

7
ま
ち
普
請

8
顕
彰

9
広
報

10
委
員
会

11
各
区
推
進
状
況

12
他
区
局
の
取
組

資
料

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H18	東久保町夢まちづくり協議会	西区東久保町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H20	一本松まちづくり協議会	西区西戸部町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

ウ 地域まちづくりプラン

認定年度	プラン名称（組織名称）	活動所在地	内容
H20	東久保町 防災まちづくり計画（東久保町夢まちづくり協議会）	西区東久保町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	一本松まちづくり協議会 防災まちづくり計画（一本松まちづくり協議会）	西区西戸部町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

エ 地域まちづくりルール

該当なし

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25, 26 年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	東久保町夢まちづくり協議会	西区東久保町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	一本松まちづくり協議会	西区西戸部町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	横浜駅西口五番街地区市街地再開発準備組合	西区南幸	再開発
	横浜駅西口地区市街地再開発準備組合	西区南幸	再開発
H26	東久保町夢まちづくり協議会	西区東久保町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	一本松まちづくり協議会	西区西戸部町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	横浜駅西口五番街地区市街地再開発準備組合	西区南幸	再開発
	横浜駅西口地区市街地再開発準備組合	西区南幸	再開発

(イ) まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	東久保町夢まちづくり協議会	西区東久保町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	一本松まちづくり協議会	西区西戸部町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	横浜駅西口五番地区街市街地再開発準備組合	西区南幸	再開発
	横浜駅西口地区市街地再開発準備組合	西区南幸	再開発
H26	東久保町夢まちづくり協議会	西区東久保町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	一本松まちづくり協議会	西区西戸部町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	横浜駅西口五番地区街市街地再開発準備組合	西区南幸	再開発
	横浜駅西口地区市街地再開発準備組合	西区南幸	再開発

(エ) 地域まちづくり事業助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	東久保町夢まちづくり協議会	西区東久保町	井戸ポンプ整備、案内板設置
H26	東久保町夢まちづくり協議会	西区東久保町	井戸ポンプ整備、雨水タンク設置

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H19	不便な盆地も雨水・湧き水で大変身！（西戸部二丁目第一自治会わくわく倶楽部）	公有地 民有地	広場・遊び場 水環境の整備	防災・防犯
H21	高島中央公園におけるファミリーガーデン計画（高島中央公園ガーデニングクラブ）	公有地	休憩・交流施設 植樹・花壇・伐採	美化・環境改善
H26	女性の笑顔で人と人をつなぐ地域応援プロジェクト（ディアナ横濱）	民有地	休憩・交流施設	地域交流

全体概況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

中区

全
体
概
況

商店街のまちづくりや防災まちづくりを中心に活動が非常に活発であり、認定を受けた団体も多い。ヨコハマ市民まち普請事業に取り組む団体も非常に多く、これまで4件が整備されている。

I
報
告
書

II
評
価
書
及
び
見
解
書

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H17	Lプラザ周辺地区のまちづくりを考える会	建築協定
H18	初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会	地域まちづくりルール
H19	石川町まちづくり委員会	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	関内駅周辺再生推進協議会	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
H21	野毛地区街づくり会	その他環境改善・魅力づくり等
H22	横浜中華街北門通り海河道 きたもん会	地域まちづくりプラン
H24	伊勢佐木町1・2丁目地区地区計画等検討委員会	地区計画
H25	関内・関外・港町地区都市計画協議会	地域まちづくりプラン
	元町まちづくり協議会	地域まちづくりルール
	港町地区周辺まちづくり協議会	地域まちづくりプラン
H26	横浜山手やってみよう会	地域まちづくりプラン

デ
ー
タ
ブ
ック

1
概
要

2
グ
ル
ー
プ

3
組
織

4
プ
ラ
ン

5
ル
ー
ル

6
支
援
制
度

7
ま
ち
普
請

8
顕
彰

9
広
報

10
委
員
会

11
各
区
推
進
状
況

12
他
区
局
の
取
組

資
料

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H20	馬車道商店街協同組合	中区常磐町	地域まちづくりルール
	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会	中区本郷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H21	元町自治運営会	中区元町	地域まちづくりルール
	協同組合 元町エスエス会	中区元町	地域まちづくりルール
	商店街振興組合 元町クラフトマンシップ・ストリート	中区元町	地域まちづくりルール
H26	わがまち北方防災まちづくり協議会	中区北方町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

ウ 地域まちづくりプラン

認定年度	プラン名称（組織名称）	活動所在地	内容
H20	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会 防災まちづくり計画（住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会）	中区本郷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	わがまち北方防災まちづくり計画（わがまち北方防災まちづくり協議会）	中区北方町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

全 体 概 況
I 報 告 書
II 見 解 書 評 価 書 及 び
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 取 組
資 料

エ 地域まちづくりルール

認定年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H20	馬車道まちづくり協定（馬車道商店街協同組合）	中区常磐町	商店街の自主ルール
H21	元町づくり協定（元町自治運営会）	中区元町	住宅地の自主ルール
	元町通り街づくり協定（協同組合 元町エスエス会）	中区元町	商店街の自主ルール
	元町仲通り地区街づくり協定（商店街振興組合元町クラフトマンシップ・ストリート）	中区元町	商店街の自主ルール

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25、26 年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	横浜中華街北門通り海河道 きたもん会	中区山下町	地域まちづくりプラン
	元町河岸通り会	中区元町	地域まちづくりルール
	関内・関外・港町地区都市計画協議会	中区若葉町	地域まちづくりプラン
	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会	中区本郷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	横浜中華街北門通り海河道 きたもん会	中区山下町	地域まちづくりプラン
	元町まちづくり協議会	中区元町	地域まちづくりルール
	わがまち北方防災まちづくり協議会	中区北方町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会	中区本郷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25	わがまち北方防災まちづくり協議会	中区北方町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会	中区本郷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	元町まちづくり協議会	中区元町	地域まちづくりルール

（ウ）地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	元町河岸通り会	中区元町	地域まちづくりルール
	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会	中区本郷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	わがまち北方防災まちづくり協議会	中区北方町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	元町まちづくり協議会	中区元町	地域まちづくりルール
	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会	中区本郷町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	わがまち北方防災まちづくり協議会	中区北方町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

全体概況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H18	横浜寿町ホステルビレッジ街化事業 （横浜寿町ホステルビレッジ街化事業 実行委員会）	公有地	休憩・交流施設 設備	美化・環境改善 地域交流
H19	仮称）日ノ出町・初黄地区ライトアップ 地域浄化構想（美しい環境・市民文化づ くりの会（略：B-UPの会））	公有地 民有地	みち空間整備 設備	美化・環境改善
H23	本牧山頂公園里山あそびプロジェクト （本牧山頂公園和田山地区地域連絡 会）	公有地	広場・遊び場 休憩・交流施設	自然 地域交流
	初黄・日の出町地区に集いの広場を！ 階段広場をつくる（初黄・日ノ出町環 境浄化推進協議会チームひろば）	民有地	広場・遊び場 休憩・交流施設	美化・環境改善 地域交流

活動の件数は比較的少ないが、防災まちづくりや歴史を生かしたまちづくり、地域交通サポート事業と活動内容が幅広く、ヨコハマ市民まち普請事業の整備も3件と比較的多い。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H18	“トラム社会”を目指す会	その他環境改善・魅力づくり等
H19	弘明寺「ひかりが丘」地区建築協定運営委員会	建築協定
	良好な生活環境構築を目指すまちづくり組織	地域まちづくりルール
H25	井土ヶ谷上町第一町内会地区防災まちづくり勉強会	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	地域バスを走らせる市民の会	地域交通サポート

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H20	三春の丘まちづくり協議会	南区三春台	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H22	お三の宮通りまちづくり委員会	南区南吉田町	地域まちづくりプラン

ウ 地域まちづくりプラン

認定年度	プラン名称（組織名称）	活動所在地	内容
H21	三春の丘まちづくり協議会防災まちづくり計画（三春の丘まちづくり協議会）	南区三春台	まちの不燃化推進事業
H22	お三の宮通りまちづくりプラン（お三の宮通りまちづくり委員会）	南区南吉田町	歴史を生かしたまちづくり

エ 地域まちづくりルール

該当なし

オ 地域まちづくり支援制度（平成25、26年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	三春の丘まちづくり協議会	南区三春台	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	お三の宮通りまちづくり委員会	南区南吉田町	地域まちづくりルール
H26	三春の丘まちづくり協議会	南区三春台	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	お三の宮通りまちづくり委員会	南区南吉田町	地域まちづくりルール
	井土ヶ谷上町第一町内会地区防災まちづくり勉強会	南区井土ヶ谷上町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

(イ) まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	三春の丘まちづくり協議会	南区三春台	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	お三の宮通りまちづくり委員会	南区南吉田町	地域まちづくりルール
H26	藤和フレッシュタウン上大岡建築協 定運営委員会	南区上大岡	建築協定
	三春の丘まちづくり協議会	南区三春台	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

(エ) 地域まちづくり事業助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H26	三春の丘まちづくり協議会	南区三春台	かまどベンチ設置

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H18	こどもの遊び場、ピオトープ作り（永田町上第三町内会）	民有地	広場・遊び場 植樹・花壇・伐採 水環境の整備 休憩・交流施設	自然 美化・環境改善
H19	登り窯付属施設及び周辺環境の整備（登り窯と永田の自然を守る会）	民有地	水環境の整備 植樹・花壇・伐採 広場・遊び場	自然 歴史・文化
H24	新観光地域活性構想歴史と文化のある街・お三の宮通り（お三の宮通りまちづくり委員会）	公有地	みち空間整備	歴史・文化 美化・環境改善

組織・プラン・ルールの認定を受けている団体は比較的少ない状況であるが、建築協定や地区計画など、ルール系の活動に取り組む団体がある。建築協定が多いことから、活動内容も戸建住宅のルールづくりが中心となっている。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H19	日限山自治会住宅地区建築協定運営委員会	建築協定
H20	上大岡C北地区市街地再開発準備組合	再開発
H24	港南つつじヶ丘自治会まちづくり推進委員会	地区計画
H25	芹が谷団地まちづくり協議会	地域まちづくりルール

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H22	丸山台自治会	港南区丸山台	地域まちづくりルール

ウ 地域まちづくりプラン

該当なし

エ 地域まちづくりルール

認定年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H22	丸山台まちづくりガイドライン（丸山台自治会）	港南区丸山台	住宅街の自主ルール

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25, 26 年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	上大岡C北地区市街地再開発準備組合	港南区上大岡西	再開発
	港南富士見台建築協定運営委員会	港南区下永谷	建築協定
H26	港南つつじヶ丘自治会まちづくり推進委員会	港南区日野南	地区計画

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 の取組

資料

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	日限山自治会住宅地区建築協定運営委員会	港南区日限山	建築協定
	港南富士見台建築協定運営委員会	港南区富士見台	建築協定
	港南つつじヶ丘自治会まちづくり検討グループ	港南区日野南	地区計画
H26	港南つつじヶ丘自治会まちづくり推進委員会	港南区日野南	地区計画
	パークヒル上大岡建築協定運営委員会	港南区上大岡	建築協定

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H19	車椅子使用者の為のリフト設置と相談ルームの増設（在宅支援サービス さわやか港南）	民有地	休憩・交流施設設備	美化・環境改善

活動件数が比較的少ないが、プランづくりの活動が出てきている。平成 25 年度に地域まちづくりプラン認定を受けた新桜ヶ丘二丁目地区は「安全、安心なまちづくり」をテーマにしたプランである。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H20	西谷駅周辺住みよいまちづくり連絡協議会	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
H22	常盤台166番地まちづくりの会	建築協定
H25	上菅田地区まちづくり協議会	地域まちづくりプラン

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H25	新桜ヶ丘二丁目地区まちづくり協議会	保土ヶ谷区新桜ヶ丘	地域まちづくりプラン

ウ 地域まちづくりプラン

認定年度	プラン名称（組織名称）	活動所在地	内容
H25	新桜ヶ丘二丁目地区 安全、安心なまちづくりプラン（新桜ヶ丘二丁目地区まちづくり協議会）	保土ヶ谷区新桜ヶ丘	安全、安心なまちづくり

エ 地域まちづくりルール

該当なし

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25, 26 年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	西谷駅周辺住みよいまちづくり連絡協議会	保土ヶ谷区西谷町	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
H26	西谷駅周辺住みよいまちづくり連絡協議会	保土ヶ谷区西谷町	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	上菅田地区まちづくり協議会	保土ヶ谷区上菅田	地域まちづくりプラン

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

（ウ）地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	西谷駅周辺住みよいまちづくり連絡協議会	保土ヶ谷区西谷町	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	東戸塚グリーンタウン建築協定運営委員会	保土ヶ谷区境木本町	建築協定
H26	上菅田地区まちづくり協議会	保土ヶ谷区上菅田町	地域まちづくりプラン

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

(エ) 地域まちづくり事業助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	新桜ヶ丘二丁目地区まちづくり協議会	保土ヶ谷区新桜ヶ丘	看板設置

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H18	東海道保土ヶ谷宿 松並木・一里塚等再創造プロジェクト（保土ヶ谷宿四百倶楽部＋東海道保土ヶ谷宿松並木プロムナード実行委員会）	公有地	植樹・花壇・伐採	歴史・文化

活動件数は比較的少ないが、再開発、建築協定、地域交通サポート事業と活動内容が幅広い。四季めぐり号については地域と地元企業の連携によって地域の課題を解決した事例で第7回人・まち・デザイン賞を受賞した。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H18	二俣川駅周辺再開発協議会	再開発
	二俣川駅南口地区市街地再開発準備組合	再開発
H22	鶴ヶ峰駅北口地区再開発協議会	再開発
H25	コミュニティバス「四季めぐり号」運行委員会	地域交通サポート

イ 地域まちづくり組織

該当なし

ウ 地域まちづくりプラン

該当なし

エ 地域まちづくりルール

該当なし

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25, 26 年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	旭中央地区コミュニティバス検討委員会	旭区今川町、四季美台	地域交通サポート
H26	鶴ヶ峰駅北口地区再開発協議会	旭区鶴ヶ峰	再開発
	旭中央地区コミュニティバス検討委員会	旭区今川町、四季美台	地域交通サポート

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25	鶴ヶ峰駅北口地区再開発協議会	旭区鶴ヶ峰	再開発

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 旭区推進状況

12 他区局の取組

資料

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	鶴ヶ峰駅北口地区再開発協議会	旭区鶴ヶ峰	再開発
	二俣川駅周辺再開発協議会	旭区二俣川	再開発
	旭中央地区コミュニティバス検討委員会	旭区今川町、四季美台	地域交通サポート
H26	横浜興和台建築協定運営委員会	旭区郷和台	建築協定
	鶴ヶ峰駅北口地区再開発協議会	旭区鶴ヶ峰	再開発
	二俣川駅周辺再開発協議会	旭区二俣川	再開発
	旭中央地区コミュニティバス検討委員会	旭区今川町、四季美台	地域交通サポート

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H21	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化（よこはま里山研究所川井緑地森づくりプロジェクト）	公有地 民有地	みち空間整備 植樹・花壇・伐採 休憩・交流施設	美化・環境改善 自然

活動が全般的に盛んであり、特にルール認定件数が多い。4件のうち2件は防災まちづくりに関するもの、残り2件は住宅街の環境を守るルールである。また、活動助成等の支援制度の利用が多い。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H17	滝一研究会	その他環境改善・魅力づくり等
H18	洋光台まちづくり協議会	地域まちづくりルール
H24	磯子台団地地域交通協議会	地域交通サポート
H25	洋光台六丁目南地区地域まちづくりルール検討委員会	地域まちづくりルール
H26	洋光台バスルート検討会	地域交通サポート

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H18	滝頭・磯子まちづくり協議会	磯子区久木町他	地域まちづくりルール 地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H24	米軍根岸住宅地区返還・まちづくり協議会	磯子区	地域まちづくりプラン
H25	メール・ド磯子まちづくりルール運営委員会	磯子区杉田	地域まちづくりルール
H26	洋光台六丁目南地区地域まちづくりルール運営委員会	磯子区洋光台	地域まちづくりルール

ウ 地域まちづくりプラン

認定年度	プラン名称（組織名称）	活動所在地	内容
H19	滝頭・磯子地区 防災まちづくり計画（滝頭・磯子まちづくり協議会）	磯子区久木町他	まちの不燃化推進事業

エ 地域まちづくりルール

認定年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H21	浜マーケット地区地域まちづくりルール（滝頭・磯子まちづくり協議会）	磯子区広地町	商店街の自主ルール
H23	滝頭・磯子地区地域まちづくりルール（滝頭・磯子まちづくり協議会）	磯子区久木町他	住宅街及び一部商店街の防災に向けた自主ルール
H25	メール・ド磯子まちづくりルール（メール・ド磯子まちづくりルール運営委員会）	磯子区杉田	住宅街の自主ルール
H26	洋光台六丁目南地区地域まちづくりルール（洋光台六丁目南地区地域まちづくりルール運営委員会）	磯子区洋光台	住宅街の自主ルール

全体概況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 の他区局の取組

資料

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25, 26 年度）

(ア) まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	洋光台まちづくり協議会	磯子区洋光台	地域まちづくりルール
	re net 結	磯子区洋光台	その他
	滝頭・磯子まちづくり協議会	磯子区久木町他	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26	米軍根岸住宅地区返還・まちづくり協議会	磯子区	地域まちづくりプラン
	re net 結	磯子区洋光台	その他
	滝頭・磯子まちづくり協議会	磯子区久木町他	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	米軍根岸住宅地区返還・まちづくり協議会	磯子区	地域まちづくりプラン

(イ) まちづくりコーディネーター等年間委託

年度	派遣先団体名称	活動所在地	内容
H25	洋光台六丁目南地区地域まちづくりルール運営委員会	磯子区洋光台	地域まちづくりルール
H26	洋光台六丁目南地区地域まちづくりルール運営委員会	磯子区洋光台	地域まちづくりルール

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	洋光台まちづくり協議会	磯子区洋光台	地域まちづくりルール
	滝頭・磯子まちづくり協議会	磯子区久木町他	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	米軍根岸住宅地区返還・まちづくり協議会	磯子区	地域まちづくりプラン
	メール・ド磯子まちづくりルール運営委員会	磯子区杉田	地域まちづくりルール
	磯子台団地地域交通協議会	磯子区氷取沢町	地域交通サポート
H26	洋光台まちづくり協議会	磯子区洋光台	地域まちづくりルール
	磯子台住宅建築協定運営委員会	磯子区磯子台	建築協定
	フレッシュタウン杉田建築協定運営委員会	磯子区杉田	建築協定
	滝頭・磯子まちづくり協議会	磯子区久木町他	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	米軍根岸住宅地区返還・まちづくり協議会	磯子区	地域まちづくりプラン
	磯子台団地地域交通協議会	磯子区氷取沢町	地域交通サポート

(エ) 地域まちづくり事業助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25	滝頭・磯子まちづくり協議会	磯子区久木町他	掲示板設置、ブロック塀除去
H26	滝頭・磯子まちづくり協議会	磯子区久木町他	掲示板設置

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H21	地域に愛される浜マーケットを次世代に残していこう！（商店街活性化×若者の働く場創出プロジェクトチーム）	公有地 民有地	休憩・交流施設	美化・環境改善 地域交流

全 体 概 況

I 報告書

II 見解書
評価書及び

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 の取組
他区局

資料

金沢区

全
体
概
況

I
報
告
書

II
評
価
書
及
び
見
解
書

デ
ー
タ
ブ
ック

1
概
要

2
グ
ル
ー
プ

3
組
織

4
プ
ラ
ン

5
ル
ー
ル

6
支
援
制
度

7
ま
ち
普
請

8
顕
彰

9
広
報

10
委
員
会

11
各
区
推
進
状
況

12
の
取
組

他
区
局

資
料

活動が全般的に盛んであり、その内容は多様であるが、地域交通サポート事業の登録が続いている。認定件数も多いが、地域まちづくりルールへの認定は2件とも工業団地の操業環境を守るルールである。支援制度もまんべんなく多く利用されており、特に活動助成が多い。ヨコハマ市民まち普請事業の整備3件中2件が拠点系のコミュニティカフェであり、今では区民活動センターのランチ機能として指定されている。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H18年度	金沢八景まちづくり協議会	区画整理
	特定非営利活動法人らしく並木	その他環境改善・魅力づくり等
H21年度	富岡西ひかりが丘町内会第2区B地区建築協定運営委員会	建築協定
	金沢八景の自然と史跡を守る会	その他環境改善・魅力づくり等
H22年度	金沢文庫駅東口地区（5・6街区）市街地再開発準備組合	再開発
H23年度	西柴団地自治会	地域まちづくりルール
H24年度	金沢地区防災まちづくり勉強会	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	片吹地区交通対策委員会	地域交通サポート
H25年度	釜利谷地域交通協議会	地域交通サポート
H26年度	湘南八景自治会交通問題対策委員会	地域交通サポート
	高舟台・ウッドパーク交通協議会	地域交通サポート

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H21年度	横浜金沢産業連絡協議会	金沢区福浦	地域まちづくりルール
	協同組合 横浜マーチャングデザインセンター	金沢区幸浦	地域まちづくりルール
H22年度	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会	金沢区金沢町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業

ウ 地域まちづくりプラン

認定年度	プラン名称（組織名称）	活動所在地	内容
H22年度	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会防災まちづくり計画（寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会）	金沢区金沢町	まちの不燃化推進事業

エ 地域まちづくりルール

認定年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H21年度	金沢産業団地土地使用協定（横浜金沢産業連絡協議会）	金沢区福浦	工業団地の自主ルール
	幸浦MDC地区まちづくり協定（協同組合マーチャングデザインセンター地区計画推進特別委員会）	金沢区幸浦	工業団地の自主ルール

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25, 26 年度）

(ア) まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会	金沢区金沢町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	金沢文庫駅東口地区（5・6街区）市街地再開発準備組合	金沢区谷津町	再開発
	金沢八景まちづくり協議会	金沢区泥亀	区画整理
H26 年度	西柴団地自治会	金沢区西柴	地域まちづくりルール
	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会	金沢区金沢町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	金沢文庫駅東口地区（5・6街区）市街地再開発準備組合	金沢区谷津町	再開発
	金沢八景まちづくり協議会	金沢区泥亀	区画整理

(イ) まちづくりコーディネーター等年間委託

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり勉強会	金沢区金沢町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
H26 年度	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会	金沢区金沢町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	西柴団地自治会	金沢区西柴	地域まちづくりルール

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	西柴団地自治会	金沢区西柴	地域まちづくりルール
	柳町建築協定運営委員会	金沢区柳町	建築協定
	金沢文庫パークタウン建築協定運営委員会	金沢区釜利谷南	建築協定
	ウッドパーク金沢文庫建築協定運営委員会	金沢区釜利谷南	建築協定
	いずみタウン金沢文庫建築協定運営委員会	金沢区釜利谷南	建築協定
	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり勉強会	金沢区金沢町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	金沢地区防災まちづくり勉強会	金沢区洲崎町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	金沢八景まちづくり協議会	金沢区泥亀	区画整理
	釜利谷地域交通協議会	金沢区釜利谷東	地域交通サポート
	片吹地区交通対策委員会	金沢区片吹	地域交通サポート
H26 年度	西柴団地自治会	金沢区西柴	地域まちづくりルール
	ウッドパーク金沢文庫建築協定運営委員会	金沢区釜利谷南	建築協定
	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会	金沢区金沢町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	金沢地区防災まちづくり勉強会	金沢区洲崎町	地域まちづくりプラン まちの不燃化推進事業
	金沢八景まちづくり協議会	金沢区泥亀	区画整理
	釜利谷地域交通協議会	金沢区釜利谷東	地域交通サポート
	片吹地区交通対策委員会	金沢区片吹	地域交通サポート
	湘南八景自治会交通問題対策委員会	金沢区東朝比奈	地域交通サポート

全体概況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書

(エ) 地域まちづくり事業助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会	金沢区金沢町	防災備蓄庫整備
H26 年度	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会	金沢区金沢町	緊急避難路整備

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H22 年度	西柴団地商店街の空き店舗を利用した地域活性化プラン（私たちのふるさと「西柴団地を愛する会」）	民有地	休憩・交流施設	地域交流
	地域に根ざす技術を生かしふるさと大道の風景をつくる（ふるさと大道の風景をつくる会）	公有地	水環境の整備 みち空間整備	歴史・文化 地域交流
H24 年度	地域力醸成の拠点となるコミュニティーサロンの整備（湘南八景自治会役員と湘南八景「お助けマン」）	民有地	休憩・交流施設	地域交流

デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 の 取 組
資 料

グループ登録は駅周辺の再開発等のまちづくりが7団体中5団体となっている。ヨコハマ市民まち普請事業による整備も3件と比較的多い。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H17年度	大曽根南台まちのルールづくり委員会	地区計画
H18年度	綱島駅東口周辺再整備連絡協議会	地域まちづくりルール
	新羽駅周辺街づくり協議会	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	新横浜駅前(南口)まちづくり会	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
H23年度	森戸原住宅地区建築協定運営委員会	建築協定
H26年度	新綱島駅前地区市街地再開発準備組合	再開発
	綱島駅東口駅前地区再開発準備会	再開発

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H23年度	大倉山エルム通り街づくり委員会	港北区大倉山	地域まちづくりルール

ウ 地域まちづくりプラン

該当なし

エ 地域まちづくりルール

認定年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H23年度	大倉山エルム通り街づくり協定（大倉山エルム通り街づくり委員会）	港北区大倉山	商店街の自主ルール

オ 地域まちづくり支援制度（平成25、26年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H25年度	新羽駅周辺街づくり協議会	港北区新羽町	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	新横浜駅前(南口)まちづくり会	港北区篠原町	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
H26年度	新羽駅周辺街づくり協議会	港北区新羽町	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	新横浜駅前(南口)まちづくり会	港北区篠原町	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

全
体
概
況

I
報
告
書

II
見
解
書
及
び
評
価
書

デ
ー
タ
ブ
ック

1
概
要

2
グ
ル
ー
プ

3
組
織

4
プ
ラ
ン

5
ル
ー
ル

6
支
援
制
度

7
ま
ち
普
請

8
顕
彰

9
広
報

10
委
員
会

11
港
北
区
推
進
状
況

12
他
区
局
の
取
組

資
料

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H26 年度	大倉山エルム通り街づくり委員会	港北区大倉山	地域まちづくりルール
	新綱島駅前地区市街地再開発準備組合	港北区綱島東	再開発
	綱島駅東口周辺再整備連絡協議会	港北区綱島	再開発

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H18 年度	高田東小学校における雨水貯留・浸透施設の設置とビオトープ整備による流域学習推進事業（総合治水・水循環回復・環境保全・回復の総合的学習）（高田東小学校の雨水利用をすすめる会）	公有地	水環境の整備	自然
H20 年度	地元企業・地主と市民による安全・安心のみちづくり（新羽駅周辺街づくり協議会）	公有地	みち空間整備 広場・遊び場	防災・防犯 美化・環境改善
H25 年度	夢・街のナビゲート大倉山コンシェルジュパーク（大倉山に地域交流拠点をつくる会）	民有地	休憩・交流施設	地域交流

グループ登録している6団体のうち半分の3団体が再開発の活動団体である。コーディネーターの単発派遣または活動助成の支援制度を活用している。平成26年度に組織・プラン認定となった山下地区はこれまでのプラン認定で最も広い、連合町内会の範囲を活動の対象としている。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H17年度	東本郷まちづくり協議会	その他環境改善・魅力づくり等
H18年度	中山駅南口A地区市街地再開発準備組合	再開発
	中山駅南口B地区市街地再開発準備組合	再開発
	長津田駅北側まちづくり協議会	再開発
H25年度	みんなで街づくりクラブ	地域まちづくりルール
	武蔵中山台交通対策委員会	地域交通サポート

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H26年度	山下地区安全・安心まちづくり協議会	緑区山下地区	地域まちづくりプラン

ウ 地域まちづくりプラン

認定年度	プラン名称（組織名称）	活動所在地	内容
H26年度	山下地区安全・安心まちづくりプラン（山下地区安全・安心まちづくり協議会）	緑区山下地区	地区内や地区外とのつながりを大切にしたいまちづくり

エ 地域まちづくりルール

該当なし

オ 地域まちづくり支援制度（平成25、26年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25年度	東本郷まちづくり協議会	緑区東本郷	その他環境改善・魅力づくり等
	みんなで街づくりクラブ	緑区霧が丘	地域まちづくりルール
H26年度	東本郷まちづくり協議会	緑区東本郷	その他環境改善・魅力づくり等
	みんなで街づくりクラブ	緑区霧が丘	地域まちづくりルール

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

全
体
概
況

I
報
告
書

II
見
解
書
評
価
書
及
び

デ
ー
タ
ブ
ック

1
概
要

2
グ
ル
ー
プ

3
組
織

4
プ
ラ
ン

5
ル
ー
ル

6
支
援
制
度

7
ま
ち
普
請

8
顕
彰

9
広
報

10
委
員
会

11
各
区
推
進
状
況

12
の
取
組

資
料

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	山下地区安全・安心まちづくり協議会	緑区山下地区	地域まちづくりプラン
	長津田駅北側まちづくり協議会	緑区长津田	再開発
	武蔵中山台交通対策委員会	緑区三保町	地域交通サポート
H26 年度	みんなで街づくりクラブ	緑区霧が丘	地域まちづくりルール
	長津田駅北側まちづくり協議会	緑区长津田	再開発

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H23 年度	長津田の樹木を利活用したアートワークプロジェクト（長津田駅北側まちづくり協議会）	公有地	設備 植樹・花壇・伐採	歴史・文化 地域交流

グループ登録数は12団体と18区中最も多いが、建築協定を活動内容とした登録は9団体で全体の3/4を占めており、建築協定更新の地区が多い。支援制度の活用も7団体中6団体となっている。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H17年度	つつじが丘第1公園周辺地区住環境委員会	建築協定
	あかね台1丁目まちづくり会	建築協定
H18年度	東急若草台分譲地建築協定運営委員会	建築協定
	市ヶ尾B地区建築協定運営委員会	建築協定
	青葉区松風台住宅地区建築協定まちづくりグループ	建築協定
	青葉美しが丘中部地区計画街づくりアセス委員会	地域まちづくりルール
	若草台B地区建築協定運営委員会	建築協定
H19年度	みずが丘自治会	その他環境改善・魅力づくり等
H20年度	玉川学園台交通改善委員会	地域交通サポート
	みたけ台19番地地区建築協定委員会	建築協定
	あかね台まちづくり推進の会	建築協定
H24年度	あかね台1丁目C地区まちづくり会	建築協定

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H17年度	荇田北二丁目自治会住環境委員会	青葉区荇田北	地域まちづくりルール

ウ 地域まちづくりプラン

該当なし

エ 地域まちづくりルール

認定年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H17年度	荇田北二丁目まちづくり協定（荇田北二丁目自治会住環境委員会）	青葉区荇田北	住宅街の自主ルール

オ 地域まちづくり支援制度（平成25、26年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25年度	あかね台一丁目C地区まちづくり会	青葉区あかね台	建築協定

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	あかね台一丁目C地区まちづくり会	青葉区あかね台	建築協定
	旧もえぎ野自治会地区建築協定運営委員会	青葉区もえぎ野	建築協定
	たちばな台地区建築協定運営委員会	青葉区たちばな台	建築協定
	新石川二丁目C地区建築協定運営委員会	青葉区新石川	建築協定
	子どものワークショップ	青葉区寺家町	その他
H26 年度	みすずが丘地区建築協定運営委員会	青葉区みすずが丘	建築協定
	あかね台一丁目B地区建築協定運営委員会	青葉区あかね台	建築協定

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H23 年度	美しが丘第六公園集会所整備計画（美しが丘西部自治会建設委員会役員会）	公有地	休憩・交流施設 広場・遊び場	地域交流

グループ登録数は7団体で18区平均を超えている。このうちルール系（地域まちづくりルール、地区計画）が4団体で半数を占めている。平成26年度に区内初の認定として東山田準工地区が組織・ルール認定を受けた。準工地域における工場と住宅の共存を目指すルールで継続した運用やまちづくり活動が期待される。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H17年度	特定非営利活動法人 ぐるっと緑道	その他環境改善・魅力づくり等
H18年度	タウンセンター魅力アップ推進グループ	地域まちづくりルール
	川向町まちづくりの会	地域まちづくりルール
H19年度	都筑ふれあいの丘まちづくり協議会	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
H21年度	荏田南近隣センターまちづくりの会	地区計画
H22年度	川和町駅周辺B地区土地区画整理組合設立準備会	区画整理
H25年度	仲町台駅前センター街づくり協定運営委員会	地域まちづくりルール

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H26年度	東山田準工地域をまもる会	都筑区東山田	地域まちづくりルール

ウ 地域まちづくりプラン

該当なし

エ 地域まちづくりルール

認定年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H26年度	東山田準工地域まちづくり協定（東山田準工地域をまもる会）	都筑区東山田	工業団地と住宅地共存のための自主ルール

オ 地域まちづくり支援制度（平成25、26年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25年度	都筑ふれあいの丘まちづくり協議会	都筑区葛が谷	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	東山田準工まもる会	都筑区東山田	地域まちづくりルール
	川和町駅周辺B地区土地区画整理組合設立準備会	都筑区川和町	区画整理
H26年度	川和町駅周辺B地区土地区画整理組合設立準備会	都筑区川和町	区画整理

全体概況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

全体概況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

(イ) まちづくりコーディネーター等年間委託

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	都筑ふれあいの丘まちづくり協議会	都筑区葛が谷	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	東山田準工まもる会	都筑区東山田	地域まちづくりルール
H26 年度	都筑ふれあいの丘まちづくり協議会	都筑区葛が谷	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	東山田準工まもる会	都筑区東山田	地域まちづくりルール

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	都筑ふれあいの丘まちづくり協議会	都筑区葛が谷	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	東山田準工まもる会	都筑区東山田	地域まちづくりルール
	港北ニュータウンつづき野建築協定運営委員会	都筑区荏田東	建築協定
	川和町駅周辺B地区土地区画整理組合設立準備会	都筑区川和町	区画整理
H26 年度	都筑ふれあいの丘まちづくり協議会	都筑区葛が谷	拠点地区（駅周辺等）のまちづくり
	東山田準工まもる会	都筑区東山田	地域まちづくりルール
	川和町駅周辺B地区土地区画整理組合設立準備会	都筑区川和町	区画整理

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H18 年度	花*花に 楽々水やり（花*花 倶楽部）	公有地 民有地	水環境の整備 植樹・花壇・伐採 みち空間整備	美化・環境改善
H20 年度	荒磯川源流の日本庭園・清流復活（茅ヶ崎公園・緑道愛護会）	公有地	水環境の整備	自然
H21 年度	都筑民家園に市民に親しまれる本格的な「茶室」を整備（茶室を贈る有志の会+茶室まち普請・活用推進委員会）	公有地	休憩・交流施設 水環境の整備	歴史・文化 自然 地域交流
H25 年度	中川駅前中央遊歩道のルネッサンスプロジェクト（NPO 法人ぐるっと緑道）	公有地	植樹・花壇・伐採 水環境の整備 みち空間整備	美化・環境改善

戸塚区内のまちづくり活動は戸塚駅前の区画整理事業によるもの3団体、建築協定が2団体、地域交通サポート事業が2団体である。平成 25, 26 年度の支援制度活用団体5団体のうち3団体となっている。支援制度は、主にコーディネーター等派遣、活動助成を活用している。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H18 年度	戸塚駅東口周辺再開発協議会	区画整理
	戸塚駅矢部地区街づくり協議会	区画整理
	戸塚駅西口第2地区再開発協議会	区画整理
H19 年度	皇谷台建築協定運営委員会	建築協定
H20 年度	戸塚鳥が丘住宅地建築協定運営委員会	建築協定
H23 年度	4号線バス問題懇談会	地域交通サポート
H25 年度	柏尾富士見台バス検討委員会	地域交通サポート

イ 地域まちづくり組織

該当なし

ウ 地域まちづくりプラン

該当なし

エ 地域まちづくりルール

該当なし

オ 地域まちづくり支援制度（平成 25, 26 年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	戸塚駅東口周辺再開発協議会	戸塚区吉田町	区画整理
	戸塚駅矢部地区街づくり協議会	戸塚区矢部町	区画整理
	戸塚駅西口第2地区再開発協議会	戸塚区吉田町	区画整理
H26 年度	戸塚駅東口周辺再開発協議会	戸塚区吉田町	区画整理
	郷和台建築協定運営委員会	戸塚区戸塚町	建築協定

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1

概要

2

グループ

3

組織

4

プラン

5

ルール

6

支援制度

7

まち普請

8

顕彰

9

広報

10

委員会

11

各区推進状況

12

他区局の取組

資料

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	郷和台地区建築協定運営委員会	戸塚区郷和台	建築協定
	戸塚駅東口周辺再開発協議会	戸塚区吉田町	区画整理
	戸塚駅矢部地区街づくり協議会	戸塚区矢部町	区画整理
	戸塚駅西口第2地区再開発協議会	戸塚区吉田町	区画整理
H26 年度	戸塚駅東口周辺再開発協議会	戸塚区吉田町	区画整理
	戸塚駅矢部地区街づくり協議会	戸塚区矢部町	区画整理
	戸塚駅西口第2地区再開発協議会	戸塚区吉田町	区画整理
	柏尾富士見台バス検討委員会	戸塚区柏尾町	地域交通サポート

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H18 年度	バス停前傾斜地の緑化事業（舞岡第二ゆめプロジェクト推進会）	公有地	植樹・花壇・伐採 みち空間整備 休憩・交流施設	美化・環境改善
H26 年度	戸塚に新しい親子の居場所「ひろばカフェ」をつくろう（特定非営利活動法人こまちプラス）	民有地	休憩・交流施設	地域交流

かつては建築協定の活動が大変活発であったが、その多くが地区計画に移行したため、近年では活動団体は少なくなっている。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H17年度	小山台まちづくり推進委員会	地区計画
H18年度	大船駅北第二地区市街地再開発準備組合	再開発
	本郷台自治会 まちづくり21委員会	地域まちづくりルール
	桂台自治会まちづくり部	地域まちづくりルール

イ 地域まちづくり組織

認定年度	組織名称	活動所在地	活動内容
H21年度	湘南桂台自治会	栄区桂台南	地域まちづくりルール

ウ 地域まちづくりプラン

該当なし

エ 地域まちづくりルール

認定年度	ルール名称（組織名称）	活動所在地	内容
H21年度	湘南桂台まちづくり指針（湘南桂台自治会）	栄区桂台南	住宅街の自主ルール

オ 地域まちづくり支援制度（平成25、26年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H26年度	湘南桂台自治会	栄区桂台南	地域まちづくりルール

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

（ウ）地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H26年度	松ヶ丘住宅地建築協定運営委員会	栄区笠間	建築協定
	鍛冶ヶ谷住宅建築協定運営委員会	栄区鍛冶ヶ谷町	建築協定

11 各区の地域まちづくりの推進状況

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 の 取 組
資 料

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

該当なし

グループ登録は5件であるが、このうち3件は戸建住宅地のルールづくり、2件は地域交通サポートである。支援制度は建築協定の更新等で活用されている。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H19年度	緑園都市コミュニティ協会	地域まちづくりルール
H22年度	岡津地区建築協定運営委員会	建築協定
H24年度	緑園バス運行推進協議会	地域交通サポート
	下和泉地区交通対策委員会	地域交通サポート
	領家地区地区計画検討委員会	地区計画

イ 地域まちづくり組織

該当なし

ウ 地域まちづくりプラン

該当なし

エ 地域まちづくりルール

該当なし

オ 地域まちづくり支援制度（平成25、26年度）

（ア）まちづくりコーディネーター等派遣

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25年度	下和泉地区交通対策委員会	泉区下和泉	地域交通サポート
	緑園バス運行推進協議会	泉区緑園	地域交通サポート
H26年度	緑園バス運行推進協議会	泉区緑園	地域交通サポート

（イ）まちづくりコーディネーター等年間委託

年度	派遣団体名称	活動所在地	内容
H25年度	領家地区地区計画建築協定運営委員会	泉区領家	地区計画
H26年度	領家地区地区計画検討委員会	泉区領家	地区計画

全
体
概
況

I
報
告
書

II
見
解
書
評
価
書
及
び

デ
ー
タ
ブ
ック

1
概
要

2
グ
ル
ー
プ

3
組
織

4
プ
ラ
ン

5
ル
ー
ル

6
支
援
制
度

7
ま
ち
普
請

8
顕
彰

9
広
報

10
委
員
会

11
各
区
推
進
状
況

12
の
他
区
局
の
取
組

資
料

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

(ウ) 地域まちづくり活動助成

年度	助成団体名称	活動所在地	内容
H25 年度	領家地区地区計画建築協定運営委員会	泉区領家	地区計画
	下和泉地区交通対策委員会	泉区下和泉	地域交通サポート
	緑園バス運行推進協議会	泉区緑園	地域交通サポート
H26 年度	領家地区地区計画検討委員会	泉区領家	地区計画
	下和泉地区交通対策委員会	泉区下和泉	地域交通サポート
	緑園バス運行推進協議会	泉区緑園	地域交通サポート

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

該当なし

グループ登録等されている活動団体は少ないが、ヨコハマ市民まち普請事業の整備団体が4件と多く、このうち3件は自然がテーマである。

ア 地域まちづくりグループ

登録年度	地域まちづくりグループ名称	活動内容
H18年度	瀬谷向陽台住宅地建築協定運営委員会	建築協定
H22年度	瀬谷駅南口第1地区市街地再開発準備組合	再開発

イ 地域まちづくり組織

該当なし

ウ 地域まちづくりプラン

該当なし

エ 地域まちづくりルール

該当なし

オ 地域まちづくり支援制度

(ア) まちづくりコーディネーター等派遣

該当なし

(イ) まちづくりコーディネーター等年間委託

該当なし

(ウ) 地域まちづくり活動助成

該当なし

(エ) 地域まちづくり事業助成

該当なし

全
体
概
況

I
報
告
書

II
見
解
書
及
び
評
価
書

デ
ー
タ
ブ
ック

1
概
要

2
グ
ル
ー
プ

3
組
織

4
プ
ラ
ン

5
ル
ー
ル

6
支
援
制
度

7
ま
ち
普
請

8
顕
彰

9
広
報

10
委
員
会

11
各
区
推
進
状
況

12
の
他
区
局
の
取
組

資
料

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

カ ヨコハマ市民まち普請事業（整備済団体）

整備年度	整備提案名（提案主体名）	整備場所	整備内容	整備テーマ
H20 年度	境川上流河川沿い道路に桜並木の名所づくり（境川沿いと鎌倉古道沿いに桜の名所づくり実行委員会）	公有地 民有地	植樹・花壇・伐採	自然
H21 年度	農業体験を通して高齢者と地域住民が交流する場づくり（高齢者 こども等が農体験で交流する場づくり実行委員会）	民有地	休憩・交流施設 水環境の整備 設備	自然 地域交流
H22 年度	樹林と湧水を活かしたホタルの里山づくり（緑地保全地区を核にしたホタルの里山づくり実行委員会）	民有地	水環境の整備 植樹・花壇・伐採	自然
H24 年度	阿久和北部見守り合い拠点・大きな傘「みまもり広場」(阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会)	公有地	休憩・交流施設 広場・遊び場	地域交流

12 他区局による地域まちづくりと関連する取組(参考)

12-1 区による独自の支援事業

各区では、地域特性に合わせ、福祉や環境、文化、歴史、生活、教育などの分野の取組とも連携しながら、独自の支援事業を行っている。

平成 25、26 年度の区による独自の支援事業の状況は次のとおりである。

【表 12-1】区による区独自の事業一覧（区政推進課）（平成 25、26 年度実績）

区	取組状況
鶴見	<p>【多文化共生のまち・つるみ推進事業】</p> <p>「鶴見区多文化共生推進アクションプラン」に基づき、メールによる生活情報の配信、多文化共生啓発としてのPRするテレビ番組の制作、外国につながる子どもたちへの母語による学習支援、外国につながる子どもたちの放課後居場所づくり事業、多言語窓口サポーターの配置、多文化共生社会の実現に向けた啓発、日本語を母語としない子どもたちへの支援事業、鶴見国際交流ラウンジ運営を行った。</p> <p>【「千客万来つるみ」プロモーション事業】</p> <p>歴史、文化や観光スポットなど、鶴見の魅力を一体的に情報発信・アピールし、鶴見区への誘客・回遊を促進することにより、地域経済の活性化を図った。</p> <p>平成 25 年度は交通事業者及び区内事業者などと連携し、鶴見の魅力ある場所、施設、イベント等を結びつけた誘客企画や広報宣伝活動を中心に取り組んだ。また、旧東海道の魅力を文化観光局及び沿道区と協力して情報発信し、さらにイベントを行った。（横浜旧東海道みどころ巡り（ウォーキング））</p> <p>26 年度は地域の賑わいをさらに高めるため、鶴見区内の催事や点在する観光資源等を活かし、地域や企業と連携して、集客プロモーション活動やイベントを実施した。（鶴見・旧東海道食歩きウォーク（ウォーキング）等）</p>
神奈川	<p>【旧東海道関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレット「神奈川宿歴史の道」を配布。 文化観光局と旧東海道沿道 5 区が連携し、イベントを行った。（平成 25 年度：横浜旧東海道みどころ巡り（ウォーキング））（26 年度：船でめぐる・かながわ旧東海道（船上でのガイド）） 東海道風景街道：国土交通省所管の事業。横浜市内旧東海道沿道 5 区の地元団体と行政が連携して取り組みを進めている。
西	<p>【西区の温故知新！魅力アップ事業】</p> <p>平成 26 年に区制 70 周年を迎えたことをきっかけに、就業者も含めた区民の地域間交流を促進するため、「新しい街」と「昔ながらの町」の様々な資源をつなげることにより、地域の魅力を高める施策を検討・実施する。</p> <p>25、26 年度は、24 年度に立ち上げた、「西区制 70 周年記念『温故知新』魅力アップ事業実行委員会」において、区制 70 周年事業の具体的な内容の検討、実施を行った。</p> <p>○主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 70 周年記念冊子の作成 西区内を巡るスタンプラリーの開催 回遊ルート「温故知新のみち」の設定と地域資源を紹介する案内サインの設置 「西区のおいしいもの・老舗」の選定、それらを活用したイベントの実施 区制 70 周年記念式典の実施
中	<p>【中区まちづくり推進事業】</p> <p>地域住民との対話や、区民意識調査等を通じて地域のニーズを把握し、局区と連携したまちづくりを進めている。また、区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行っている。</p> <p>【初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業】</p> <p>初黄・日ノ出地区は違法風俗営業を行う飲食店が多くあり、警察、地元協議会、行政の活動により一掃されたが、空き店舗が多く、まちの空洞化が進んでいるため、地元への支援を積極的に行っている。</p>
南	<p>【南区さくらプロジェクト】</p> <p>南区の地域資源である大岡川プロムナードの再整備に合わせて、桜の更新を行う。再整備で伐採した桜は小割して区民に配布、新たな桜を区民の募金（南区さくら貯金）で植樹することで、区全体で桜を守り育てていく様々な取り組み。</p> <p>【緑のカーテン推進事業】</p> <p>緑のカーテン栽培 DVD や区民から募集したゴーヤーレシピを盛り込んだ栽培テキストを活用し、ヒートアイランド対策や地球温暖化対策に寄与する緑のカーテンの普及啓発を行う。</p>

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書

データブック

1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 の他区局
資料

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

<p>全 体 概 況</p> <p>I 報告書</p> <p>II 評価書及び見解書</p> <p>データブック</p> <p>1 概要</p> <p>2 グループ</p> <p>3 組織</p> <p>4 プラン</p> <p>5 ルール</p> <p>6 支援制度</p> <p>7 まち普請</p> <p>8 顕彰</p> <p>9 広報</p> <p>10 委員会</p> <p>11 各区推進状況</p> <p>12 他区局の取組</p> <p>資料</p>	区	取組状況
	港南	<p>【ひまわりを活用した区の魅力アップ事業】</p> <p>区内の公園等でひまわり栽培を通じた地域間・世代間交流（公園愛護会、保育園等）を実施</p> <p>【農地の魅力アップ事業】</p> <p>農耕作体験を通じた交流や地産地消の推進・啓発を実施</p> <p>【河川の魅力アップ事業】</p> <p>区民と協働で日野川プロムナードの計画検討を実施</p> <p>【エコ活事業】</p> <p>ゴーヤの栽培教室や、区内小中学校・保育園へのゴーヤ苗の配布等を行い、緑のカーテンの普及啓発等を実施</p>
	保土ケ谷	<p>【市民協働事業「保土ケ谷の人・まち・文化を生かした旧東海道にぎわいづくり事業」】</p> <p>旧東海道保土ケ谷宿をはじめとする歴史資源を生かした、にぎわいづくりを行うため以下のような事業を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保土ケ谷宿の歴史、保土ケ谷区内の農産物等を生かし、かつて街道沿いで催されていた歴史的な“市”を復活した「宿場朝市“ごうどいち”」 ・岩崎小学校6年生を対象にした旧東海道を含めた地域を学ぶ学習の支援を行う「ほどがやまちゼミ」 ・区内の大正・昭和の時代の古い写真の収集および現在の「これからの歴史となっていく風景」を記録し、保存・公開することで、まちの魅力を広く発信する「ほどがや今昔写真展の開催」 ・まちかど博物館を訪れ、旧東海道を歩いてまちに親しんでいただくための「まちかど博物館スタンプラリー」 ・保土ケ谷宿の魅力を、IT技術を生かして伝える「電子高札場」 ・保土ケ谷の歴史や魅力を昔遊びや紙芝居、電子高札場を活用した今昔写真展等で伝え、多様な世代や場でのPRを実施する「出張！！まちかど博物館+（プラス）」 <p>【まちかど博物館事業】〔平成26年度現在10館〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内旧東海道沿道の一般の商店や住宅の一角に、地域の歴史やなりわいの技を伝える古道具や写真等を展示し、旧東海道の魅力増進をはかっている。（19年度～） ・博物館の日常的な運営は、各館の館長（店主、家主等）に一任し、区では運営を支援している。 <p>【ほどがや語りべ事業】</p> <p>まちの魅力を語れる人を増やすため、平成24年度から始まった「ほどがや語りべ会」。公募で集まった地域活動を行っている方々が中心となり、ワークショップやまち歩きを行い、エリアごとにまちの魅力を取りまとめた冊子を作成した。</p> <p>【その他歴史関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化観光局と旧東海道沿道5区が連携し、イベントを行った。（25年度：横浜旧東海道みどころ巡り（ウォーキング））
	旭	<p>【グリーンロードの活用推進】</p> <p>各種イベントでの見所紹介、ホームページでのPRほか。</p>
	磯子	<p>【堀割川魅力づくり活動支援】</p> <p>堀割川の魅力や現状の課題を区民等に周知するため、イベントや広報活動等を行う団体を平成17年度から支援。</p>
	金沢	<p>【旧川合玉堂別邸保全活用事業】</p> <p>園庭部の草刈や清掃等の維持管理、野点や音楽イベントの企画運営を含む開園事業等を行った。</p> <p>【キャンパスタウン金沢】</p> <p>関東学院大学及び横浜市立大学との連携。</p>
	港北	<p>【港北魅力発見事業】</p> <p>区の魅力を発信するため、区内の個人庭の花壇、歴史的な建物、工場を紹介するイベントを実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 港北オープンガーデン <p>区の魅力である「花と緑」を身近に感じてもらうため、区内の個人庭やコミュニティ花壇を巡るイベント。</p> 2 港北オープンヘリテージ <p>洋館付き住宅など、区内の歴史的な建物や趣のある個人宅を特別に公開し、普段立ち入ることのできない間近な距離から見学できるイベント。</p> 3 港北オープンファクトリー <p>普段見ることのできない区内の工場を見学し、今まで知らなかった「ものづくりのまち港北」としての魅力を発見できるイベント。</p> <p>【港北エコアクション推進事業】</p> <p>区民・行政・活動団体・事業者などで構成する「港北エコアクション推進本部」が中心となり、各種広報などを通じ、省エネ・みどりアップ・ヨコハマ3R夢プランと関連する事業を推進した。</p> <p>【環境学習を通じた国際貢献事業】</p> <p>フィリピン・イロイロ市へ「港北エコアクション推進事業」等の実績をもとに作成した環境・防災学習プログラムを紹介し、国際貢献・国際交流を推進した。</p>

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

区	取組状況
緑	<p>【郊外部の団地における日常生活を健康で豊かにするためのモデル事業】 高齢化の進む山下地区の団地において、放置された宅地を家庭菜園に転換し、地域で収穫を楽しむ空地活用システムの構築などのモデル事業を地域との協働により実施。</p> <p>【小山町におけるまちづくり支援】 区域の大半が農地を占める小山町において、将来像策定のための検討や会員向けのアンケートの実施を支援。</p> <p>【緑区遺産】 区内に現存する有形の歴史的・自然的・文化的資源で、その価値が地域に認められているものを緑区遺産に登録することで、広報によるPRや占用手続き等の支援を実施。</p>
青葉	<p>【青葉みらいおこし（青葉協働によるみらいおこし支援制度）】 課題解決に取り組む地域を支援するため、職員による支援チームや外部専門家の派遣、補助金の交付等を行う制度を創設。</p>
都筑	<p>【まちづくり入門講座】 区内の中学生を対象に、まちづくりの普及啓発を目的とした講座を実施</p> <p>【まちづくりパネル展】 まちのルールや制度の紹介、区内のまちづくり団体によるまちづくりの推進状況の紹介</p>
戸塚	<p>【柏尾川魅力づくりフォーラム】 市民団体や企業等で構成される「柏尾川魅力づくりフォーラム」の活動を支援</p> <p>【歴史を活かしたまち育て事業】 「旧東海道お宝自慢ワークショップ」の開催 「横浜旧東海道みどころ巡り」の開催 「見て、聞いて、知って！昭和の戸塚 ～旧東海道の今と昔～」の開催 「旧東海道戸塚宿 アプリ de まち歩き」の開催 「とつか宿お休み処」の運営</p> <p>【校庭芝生化】 育成イベントの開催</p>
栄	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン栄区プランのアクションプランである「栄区まちづくり行動計画」（平成22年2月策定）に基づく進ちょく管理 ・「本郷台駅周辺地区バリアフリー基本構想」に基づく特定事業計画の事業実施 ・本郷台駅周辺地区まちづくり構想策定
泉	<p>【農を生かしたまちづくり事業】 泉区ファーマーズマーケット“ハマっ子”の運営、泉区農業応援隊の支援ほか</p> <p>【緑保全啓発事業】 あやめ普及団体の支援、緑地保全団体への活動助成及び物品支援ほか</p>
瀬谷	<p>【瀬谷の魅力発信・名所づくり事業】 平成24年度に区民との協働で整備された和泉川（宮沢ふれあいの水辺）のPRのため、区内高校生や愛護会等と協働での「和泉川いきものガイド」作成による魅力発信</p> <p>【環境行動推進事業】 区内の市有地にある温室において、区民ボランティアによる花苗の育成や区内公共施設等への花苗配布による環境行動PRや緑化の推進</p>

全 体 概 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 の 取 組
資 料

全体概況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

12-2 地域運営補助金

各区では地域運営補助金により、身近な地域の一定範囲において、新たに自治会町内会をはじめとした地域の様々な主体が連携・協働した、主体的・継続的な地域課題解決の取組を支援しています。

* ①地域の課題解決を目指す取組（エリアが単一・複数の自治会町内会、単一の連合自治会町内会）、②地域主体による協働事業、③人的又は財政的な支援をしているを満たす取組の中から主に記載。

【表 12-2】地域運営補助金による区の主な取組の紹介（平成 25、26 年度実績）

区	支援地区	取組内容
鶴見	矢向地区 江ヶ崎地区	地域に残る歴史や文化を発掘、保存、周知、継承し、地域への関心、愛着を育むため、「わがまち矢向・江ヶ崎」冊子を作成。
	市場地区	・「保育ボランティア講座」の開催による子育て世代の支援。 ・男性の地域活動参加へのきっかけづくりや、家庭での防災意識の向上を図るため「男の教室」を開催。 ・鶴見川沿いの花壇づくりを通じてのまちの魅力・憩いの場づくり活動を実施。
	鶴見中央地区	地区内に、「まちしるべ部会」、「イベント部会」、「グッズ作成部会」、「作業所部会」を設置し、機関誌の発行、各種交流イベントの開催、地域マップの作成、防犯パトロールなど安心・安全なまちづくりに向けた取組を実施。
	潮田東部地区	地域住民の交通マナーアップを図り、安全・安心のまちづくりを進めるため、小中学生や高齢者を対象とした自転車教室、地域全体での交通ルール・マナーアップ講習会、交通安全パレード等を実施。
	生麦第一地区	青少年の健全育成を図るため、地域の歴史・文化的行事「蛇も蚊もまつり」、「生麦囃子」やサッカー教室などの事業の実施。
	生麦第二地区 豊岡地区	地域住民の郷土愛の醸成やつながりを深めるため、地域の歴史や見どころ、災害時の避難場所等を掲載した地域魅力マップを作成。
	寺尾地区	地域内の建造物や歴史、言い伝え等の謂れを高札にして伝えることにより、地域住民のつながりや郷土愛の醸成を図る活動を実施。
	梶山地区 寺尾地区	地域の高齢者がゲームや話し合いなどを通じて、生きがいやつながりを深め、元気でいつでも集える居場所の実施。
	駒岡地区	「ヨコハマ市民まち普請事業」で整備した鶴見川大曲広場を活用して、地域住民間の交流やつながりを深めるため、花いっぱい活動、防災訓練、魚釣り大会など様々なイベントを開催。
神奈川	松ヶ丘地区	松ヶ丘防災隊の体制を確立し、広域避難場所或いは地域防災拠点での実践訓練や要援護者対策として備品の設置を実施。
	青木第二地区	住民の防災意識の向上を図るため、防災・減災をテーマに地区社協、民生委員等と連携して講習会を開催。防災・減災をテーマに広報紙を作成し、地域住民に配布。
	反町地区	多くの区民のふれあいを通じた地域の活性化、障害者の社会参加を図る拠点である、「ふれあいサロン」を中心とした、イベント開催・作業所実演・地域情報誌発行などの活動を実施。
	菅田地区	小学生から大人が参加し、体力向上を図るとともに、地域住民の親睦と連帯感を高め、明るい健全な町づくりに寄与することを目的として「地区自治連合会マラソン大会」を開催。「健康チェック」を合わせて行うことで地域住民の健康づくりを推進。
	入江地区	ひとり暮らし高齢者のための居場所づくりとしてサロンを開設。
	浦島丘地区	高齢者支援として連合自治会、防災対策委員会、民生委員が連携して、災害に強いまちづくりを目指し、防災研修会・防災訓練の開催、防災ノートを作成。
西	中丸地区	校区の町内会の連携強化・世代間交流を図るため、地域交流祭（キッズダンス、ハワイアンダンス、ソフトバレー、吹き矢、模擬店、パズル等）を開催。
	第一地区	緊急時の子どもの安全確保や防犯のための連絡、学校行事の連絡、地域と学校・幼稚園との連絡を強化することにより、地域の連携の強化。
	第一地区 (石崎地区)	自治活動を担う若手を育成するため、石崎自治会と紅梅町自治会がイベントの交流を通して、双方の自治会活動の取組を学習。

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

区	支援地区	取組内容
西	第二地区 (西戸部地区)	地域住民が協働して活動することにより、住民同士の連携を図り地域を大事にする心を醸成。
	第三地区	顔の見える関係づくりを目指した、地区懇談会活動。
	第三地区 (東久保地区)	防災まちづくりに向けた、自主防災組織の活動。
	第四地区	先進事例、先進地区の活動を学び、自治会活動・地域の福祉活動への反映。
	第四地区 (西戸部地区)	一本松まちづくり協議会の新たな活動者の養成を図るため、防災イベント及び企画の実施。
	第四地区 (東ヶ丘地区)	地域コミュニティの活性化のための事業企画の提案、運営を実施する。地域住民による、地域コミュニティの活性化及び地域課題解決に向けた活動を推進。
	第五地区	地域のつながりを強めるため、「あいさつ運動」を中心に取り組み、「地区内自治会・町内会・地域団体との相互連携」、「明るい豊かなまちづくり」、「にこまち活動の実践と深化」を掲げての地域活動。
	第五地区 (岡野地区)	町内会ホームページを通じた地域のつながりづくり活動。
	第六地区	・地域活動に参加していない人が地域活動に参加するためのきっかけ作りとして、地域の情報を地区全体にわかりやすく伝え、自治会町内会や各種団体、地域グループを活性化させる活動。 ・地域の活性化及び旧東海道の魅力アップを目的とし、旧東海道旅姿のパレード等のイベントの実施。
	みなとみらい地区	自治会に未加入のマンションと連携を図って地域活動を行うことによって、自治会活動の必要性を周知し地域活動の活性化を推進。
みなとみらい地区 (中央地区)	公園内の清掃活動やイルミネーション点灯等を通じた、地域コミュニケーションの向上。	
中	5地区で組織設立	・地区連合町内会の範囲毎に、自治会町内会をはじめとして、推薦委員など地域の様々な団体が連携・協力して、課題解決に取り組む組織づくりと組織の運営・活動支援を推進。 ・認知症予防・サポーター養成講座、商店街活性化・地域との交流活動（うんちく、ハロウィンなど）、地域の高齢者・子供・父母などの交流（昔遊び、コンサート、ウォーキングなど）活動、障害者施設・地域施設・地域との交流（花いっぱい運動）活動。
南	井土ヶ谷地区	地域の子どもたち（小・中・高校生）によるボランティア活動及び地域行事における活動内容の周知。
	南永田・山王台地区	陶芸教室、竹細工、ホテルの放流等の地域住民向けの活動。
	六ツ川地区	・地域の高齢者向けに朝市の開催とお休み処を開設し、あわせて、仕入れ検討会及び値付け会議を実施。 ・高齢者向け野外サロンの開設を通して、一人暮らしの高齢者の見守り。
	六ツ川大池地区	日常生活の手助けを必要とする高齢者に、日常生活の支援。
	中村地区	菜園活動を通じてサロンを開設し、一人暮らしの高齢者の見守り、世代間の交流。
港南	上大岡地区	防災・減災、健康づくり、高齢者や子どもの見守りなどについて、団体、活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。
	笹下地区	防災・減災、地域活動の担い手確保などについて、団体、活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。
	日下地区	・地域のつながりを深めるため、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。 ・地域の発達障がい者への理解を深めるための研修を開催。
	日野地区	防災・減災、高齢者や障害者の見守りなどについて、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。

全 体 概 況
I 報 告 書
II 見 解 書 評 価 書 及 び

デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

全 体 概 況 I 報告書 II 評価書及び 見解書 データ ブック 1 概 要 2 グ ル ー プ 3 組 織 4 プ ラ ン 5 ル ー ル 6 支 援 制 度 7 ま ち 普 請 8 顕 彰 9 広 報 10 委 員 会 11 各 区 推 進 状 況 12 他 区 局 の 取 組 資 料	区	支援地区	取組内容
	港南	日野第一地区	地域の見守りや防災・減災について、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。
		港南台地区	障がい児者の社会参加や地域の将来課題などについて、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。
		永野地区	子どもの見守りや地域での子育て、高齢者対策などについて、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。
		野庭団地地区	防災・減災や見守り・支えあい、地域活動の担い手確保などについて、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行している。
		野庭住宅地区	・連合で、各自治会内での見守り活動に関するアンケートを実施した。 ・見守り活動について、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。
		下永谷地区	防災について、団体や活動者間で意見や情報を交換し、地域防災マップを作成。
		永谷地区	高齢者や子どもの見守りについて、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。
		芹が谷地区	地域のつながりや個別事例などについて、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。
		ひざり地区	子どもの見守りや地域の将来課題などについて、団体や活動者間で意見や情報を交換するほか、地域での取組を住民に周知するための広報紙を発行。
	保土ヶ谷	日野南地区	・犯罪防止講演会を開催。 ・地域での見守り・支えあいなどについて、団体や活動者間で意見や情報を交換する場を開催。 ・地域の支えあい組織づくりに向け、組織の参加者証と活動マニュアルを作成。
		桜ヶ丘地区	協力団体の代表からなる「高齢者見守り懇談会」を設置し、活動を推進の充実を図っている。
		千丸台団地	地域活動拠点を利用することで、情報課題解決や地域交流をが図られている。
		上新地区	「福祉・健康まつり」を継続実施
		川島原、常盤台地区	救命情報カプセルを作成し、順次地域に配布。カプセル配布に併せ、見守り活動を実施し、共助の意識向上が図られた。
	旭	瀬戸ヶ谷地区	地域における通学時の防犯・交通安全見守り活動を通じて、防犯・交通安全への意識の向上や、学校・PTAとの連携充実が図られている。
		上白根地区	・地域防災に関する住民の意識の高まりにより、連合町内会や高校生ボランティアによる転倒防止器具設置やガラス飛散防止フィルムの配布を通じた高齢者の見守り活動を実施。 ・防災マップの作成後全戸配布、防災講演会の実施。
		左近山地区	・地域情報紙を発行することで、高齢化が著しい地域住民に対して分かりやすい情報を提供。(年4回程度、全戸配布) ・コミュニティカフェで電話による窓口相談を設置。 ・大学との連携により生活課題等の調査・分析の実施。 ・小学校の統廃合をきっかけに、まちづくりをテーマにワークショップを実施。
		白根地区	・情報マップ(地区内の行事や医療施設、防災、公園、子育てサポート、高齢者・障害者支援情報などを掲載)を全世帯、地域施設等に配布・配架。 ・安全・安心カード(私の健康カード)等を入れた救急医療情報キットを独自に作成し、ひとり暮らし高齢者に地区民生員が個別訪問し配布。 ・挨拶・声掛け運動チラシを作成し呼びかけることで、顔の見える関係づくりの取組を推進。
		笹野台地区	・防災パンフレットを作成し、全戸配布することで、防災意識を向上。 ・防災拠点委員を対象に、防災講演会を開催し、防災意識を向上。

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

区	支援地区	取組内容
旭	若葉台地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例検討会の開催、防災訓練の実施。 ・ 防災備品取扱訓練の実施。 ・ 高層住宅という条件の中で、各棟に災害に備えて隣同士が助け合う仕組みを作るため、安全・安心確認カードや防災マニュアルの作成・更新をし災害時の要支援対策に注力。 ・ 災害対策本部の拡大版組織図を作成、掲示することで、団体間の連携を強化する取組の推進。
	二俣川ニュータウン地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃作業を通じて小中学生と地域交流サポーターの交流イベントを実施。 ・ 地域のメインストリートの並木の景観を守り育てる活動に地域ぐるみで取り組むことで、世代間の交流や住民同士の絆を深め、高齢化が進む地域の活性化を図る。 ・ 各自治会町内会や各種委員とともに議論を重ね実践的な防災マニュアルを作成し全家庭に配布することで、住民の防災意識の向上を図っている。
	今宿地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生・中学生によるボランティア活動の活性化。 ・ 地域の美化活動、高齢者関連イベント、お祭り等のボランティア活動に参加。
	川井地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自治会町内会や各種委員などと議論を重ね、実践的な防災マニュアルを作成し全家庭に配布することで、住民の防災意識の向上を図っている。 ・ いっつき避難場所の役割について未設定の町内会も重要性を理解し、設定するなど、防災意識の高揚に一助。
磯子	滝頭地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多世代交流イベントの実施による、地域のつながりの強化。 ・ 仲間づくりの連続講座開催等を通じた新たな担い手の発掘。
	上笹下地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキング大会開催や駅伝大会出場等による住民参加の健康づくり推進。 ・ 中高年男性や体力づくりの必要な方向け等に健康づくり講座やヨガ講座、料理教室等を開催。
	洋光台地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生による商店街店舗の職業インタビューや地域イベントの手伝いを通じた中学校と地域の連携の充実。 ・ 地域住民や生徒の芸術作品を商店街に掲示し地域住民に情報発信。 ・ 多世代交流に向けたイベントやコミュニティカフェの開催。 ・ 子育て世代から高齢者まで幅広い世代の交流の場づくりの推進。
	根岸地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多世代交流を目的にサロンや音楽会等の開催。 ・ 地域での認知度が高まりイベントの参加者が増加、高齢者の居場所づくりや地域活動参加のきっかけづくりにも寄与。
	磯子地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子と地域住民の交流のため、昔遊び等を地域の大人が親子に伝承する交流会を開催。 ・ 学校関係者との連携により多くの参加者の交流。
	屏風ヶ浦地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区の地域資源や魅力を再発見・活用することによる、世代間交流や地域に対する愛着の強化。 ・ まち歩きとマップづくりに向け地区の郷土史の研究・情報共有。
金沢	西柴団地地区	自治会館を拠点に住民に対する福祉の増進のため、地域の活動団体と連携し、映像設備を活用し高齢者だけでなく子育て世代、現役世代等あらゆる世代間の交流を図っている。
	高舟台地区	住民同士がお互いに支え合い、助け合う環境を整備し、地域の協力団体と連携しきめ細かい活動を推進。
	瀬ヶ崎東部地区	地域の安全安心なまちづくり、災害時の避難支援組織・体制の整備、安否確認と避難支援方法の確立で、地域の絆を再生し、地域の緊急課題への取組を図っている。
	並木地区	地区の将来に向けてのまちづくり構想の立案、各団体に呼びかけを実施。
港北	日吉地区	報告会での事例報告により、地区内の大小さまざまな活動が広く紹介され、交流と連携が広まっている。
	大倉山地区	地域と商店街が連携し、地域資源を生かした魅力づくりを促進。行政と協働して桜の植樹をはじめとした住民相互の交流事業を実施。（スタンプラリーの実施、桜まつりの開催等）
	太尾宮前地区	地縁団体と子育て系団体、町内の活動団体、商店街等が協力する体制を構築。地域内の住民が多数参加し、団体と住民あるいは住民同士の交流が進み、顔の見える関係作りが構築。

全 体 概 況
I 報 告 書
II 見 解 書 及 び 評 価 書

データブック

1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 取 組
資 料

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

全 体 概 況 I 報告書 II 評価書及び見解書 データブック 1 概要 2 グループ 3 組織 4 プラン 5 ルール 6 支援制度 7 まち普請 8 顕彰 9 広報 10 委員会 11 各区推進状況 12 他区局の取組 資料	区	支援地区	取組内容
	緑	東本郷地区	多世代交流を促進する地区の新しいお祭りとして、ひがほん郷まつりは2,500人以上の参加。
		鴨居地区	<ul style="list-style-type: none"> ・「鴨居原市民の森愛護会」の通常の活動に加え、竹を使った子ども向けイベントの開催などで参加者の増加。 ・約180年にわたり続く郷土芸能「鴨居囃子」を存続させるため、地域、小学校などの連携で後継者を育成し、発表の場を拡大。 ・鴨居駅を利用する5つの連合自治会（都筑区を含む）により、歴史散策や健康づくりのためのウォーキングを実施。
		竹山地区	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあいサロン竹多久」は、月～土の週6日10時～16時に開館。 ・文化行事やボランティアの催し等を促進 ・震災等への備えとして「防災ブック」を作成・配布するとともに、要援護者「ささえあいカード」の回収率の増加。
		新治中部地区	学齢期のこどもにも防犯意識を高めるため、小学校で標語の募集および「ふれあい伝言板」を設置。地区内の防犯意識の醸成。
		山下地区	<ul style="list-style-type: none"> ・連合地区内の防災無線ネットワークの構築は、単に災害時を想定した機能にとどまらず、学援隊や登下校の見守り活動、防犯パトロール活動などにも拡大。 ・「北八朔公園愛護会」の竹林や里山保全活動をこどもたちに伝承し、竹材を活用したイベントを通じて自然を学習。
	霧が丘地区	外出理美容サービスや配食サービスなどで地域の一人暮らし高齢者や障害者の支援。	
	青葉	下市ケ尾地区	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に地域の交流や絆を深めるための啓蒙を実施。 ・会議等への参加により、地域が自ら課題を考えるきっかけ作り。
		上谷本地区 新荏田地区 中里地区	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に防犯活動・啓蒙を実施。 ・会議等への参加により、地域が自ら課題を考えるきっかけ作り。
		恩田連合自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に異世代間の交流や新旧住民の触れ合い、また、地場産野菜のPRを実施。 ・会議等への参加により、地域が自ら課題を考えるきっかけ作り。
	都筑	荏田南地区	<ul style="list-style-type: none"> ・「毎日どこかで誰かがパトロール」を合言葉に、青色パトロールの実施、荏田南小学校の登下校の見守り、防犯マップ付きコミュニティカレンダーの作成・配布を実施。 ・玄関灯や門灯などを決まった時間に点灯して、「“おかえり”を伝える明るい帰り道」をつくる『荏田南ミチテラス』では、地域全体で防犯活動に参加してもらうことで、防犯意識の高い地域づくりを推進。
		渋沢地区	<ul style="list-style-type: none"> ・「オール渋沢」を合言葉に、渋沢地区連合のほか21の団体が連携し、夏休みラジオ体操、歌声喫茶 in 渋沢、「囲碁・将棋」異世代交流など、スポーツや文化活動を通じて、地区全体を元気にするための8つの取組を実施。 ・協議会で始めた「昔遊び～夏休みバージョン～」は、小学校の土曜日活用の行事に位置付けられ、子ども会、消防団、学援隊と地区社協が協力しながら、昔遊びやラジオ体操などのプログラムを実施。
ふれあいの丘地区		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・おやじの会・PTA・学校・青色パトロール隊が協力し、夏まつりが終わった時間などに合わせた防犯パトロールなど、日頃から地域全体の見守り活動を実施。 ・活動の様子をパネルにして、駅や商業施設などに展示するほか、活動内容を紹介したパンフレットを配布することで、地域全体の理解と協力を得るためのPR活動の取組。 	
茅ヶ崎南MGCRS地区		<ul style="list-style-type: none"> ・多世代にわたる地域交流活動から生まれる「つながり」を通じ、住民相互の助け合いや高齢者の健康寿命の増進。 ・地域交流活動を継続的に担うことが期待される中高齢世代をターゲットに、男の料理教室、大正琴と歌唱教室、グランドゴルフ、ポールウォーキング、プチおしゃれ教室の5つの活動の取組。 	
戸塚	深谷台地区	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷台小学校地域交流室を単に事務局だけでなく活動拠点としても重点化。 ・交流室建物の老朽化に伴い、校舎内の別場所へ移転（26年夏）。 	
	北汲沢地区	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人に移行。 ・移動支援とともにもう一つの柱である日常生活支援の活動が本格化。 	

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

区	支援地区	取組内容
戸塚	柏尾地区	地域防災拠点である小学校校庭に防災井戸を掘削するプロジェクトが進行中だが、技術的な問題から 25 年度は試掘と水質検査を行い、26 年度に本掘を実施予定。
栄	本郷第三地区	地区会議の開催や地区情報紙の発行で、活動の周知が図られたことで、地域団体と自治会町内会の連携が円滑化。①訪問活動②災害時③広報④ボランティア⑤子育て関連分科会の 5 分科会が多彩な活動を促進。
	小菅ヶ谷地区	25 年度については地域でのラジオ体操の普及を図ることで、健康増進と地域連携の向上に寄与。
	豊田地区	地域連携向上策の一つとしてあいさつ運動を推進。
	笠間地区	自治会町内会・構成団体が連携して、地区内 3 ブロックで「地域交流の場」としてのサロンを運営。また、地域情報を盛り込んだ「かさマップ」を作成、全戸配布して、地域連携のグッズとして活用。
	上郷西地区	多世代交流サロンの開催、地域情報ハンドブックの発行等を通して、自治会町内会、構成団体の連携。
泉	中川地区	認知症サポート事業に注力。
	緑園地区	地域の活性化、緑化、青少年健全育成等の取組など、活発に地域活動を展開。
	和泉北部地区	地域住民の交流・親睦を深めることを目的に、駅前での健康体力測定の取組。
	和泉中央地区	地域の連帯感やふるさと意識の醸成を目指したイベントの実施や、河川清掃などの取組。
	下和泉地区	様々なイベントの開催や、その他地域と連携した活動、この他、緑地の清掃活動の実施などにより自主財源確保に取り組んでいる。
	富士見が丘地区	3 世代交流。かかしづくりなどの青少年健全育成の取組を実施。
	いちよう団地地区	高齢者交流のきっかけづくり等を実施。
瀬谷	瀬谷第二地区	・防災グッズ配布対象を 75 歳以上一人暮らし高齢者から 75 歳以上夫婦高齢者に拡大。 ・子ども向け防災ガイドを配布。
	細谷戸地区	・3 年目を迎え、「きめ細かい高齢者の見守り活動」を推進。 ・地域の人に活動を周知し見守りの輪を広げる取組とし、推進委員等が高齢者宅を訪問し見守りを実施し、研修会を開催。高齢者以外の方に安心キット希望者に配布し「さりげない見守り」活動を実施。
	南瀬谷地区	・広報紙を発行。 ・見守り推進のための全戸アンケート結果や各自治会の活動状況や各種委員の活動内容について紹介しており、発行。
	第四地区	・自治会、民生委員、地区社協などが連携し、発災時の弱者救済や高齢者の見守りなどの活動を地区全体で取り組む体制づくりを構築し、活動を開始。 ・自治会ごとに作成する見守りのための会員カードの取組について自治会同士で意見交換を行い、取組の促進。 ・日常的なきずなを高める周知活動を実施。 ・女性のボランティアの募集を行い地域での支え合いの体制づくりを構築。
	阿久和北部地区	・まち普請事業で整備した見守り拠点の運営費として補助金を活用。様々な団体が協力し、スタッフとして常駐。 ・健康体操や子どもたちを見守る「見守り放課後塾」など様々なイベントを月例で実施し、区役所やケアプラザ職員も月 1 回相談員になるなど、地域と行政が連携。 ・ニュースレターの発行等で近隣住民に PR。
	三ツ境地区	・事務局組織が機能し、役員会や推進委員会をほぼ毎月定例開催し、部会ごとに活動。 ・見守りに関するアンケート調査、ヒアリング、見守りカードや緊急カード案作成、広報紙の発行、地域のイベントなどにパネル展示し地域の人に活動を周知。

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

全体概況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

12-3 区局によるその他の取組

12-3-1 地域福祉保健計画（健康福祉局・区）

各区では、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、公的機関（行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な支えあいの仕組みづくりを進めることを目的として、地域福祉保健計画を策定・推進している。身近なエリアで地域住民が取組を進めるため、地区連合町内会単位で地区別計画を策定し、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員による「地区別支援チーム」により支援を行っている。

【表 12-3-1】地域福祉保健計画についての各区の主な取組の紹介（平成 25、26 年度実績）

* ①各地区社会福祉協議会等が中心となり、地域の課題解決を目指す取組 ②地域主体による区との協働による取組 ③地区別支援チームで企画・検討・実施の支援をしている取組 を満たす取組の中から主なものを記載。

区	取組状況		支援		
	支援地区（地域福祉保健計画地区別計画のテーマ）	取組内容	人的	財政的	その他
中	第2地区（新山下運河花いっぱい運動）	見晴橋から鷗橋に至るまでの遊歩道上の雑草等を取り、プランターに植えた花を並べることにより沿線の美化を図る活動（地区住民と近隣の障害者地域活動ホームとが協働）を支援。	○		
南	蒔田地区（次世代を担う子どもたちのために）	地域の人とふれあいが出来る地域主体のサロン設置により、乳幼児期の親子の引きこもりや虐待予防につながる活動を支援。	○	○	
	堀ノ内睦町地区（子育て家庭への支援のために）	子育てサロンを設置することにより子育て世代の地域の中での新たな出会いの場づくりを支援。	○	○	
	寿東部地区（子どもから高齢者までの交流のために）	外国人の多い地域のため、外国人の子育て世代も地域に溶け込めるようなサロンづくりを支援。	○	○	
	中村地区（地域交流の機会を広げるために）	高齢者等の集いの場をつくり、仲間づくりや見守りにつながる活動を支援。	○	○	
港南	大久保最戸地区（ハートのあるまち大久保最戸地区住民が共生する和みの街）	一人ひとりが自分が暮らす町への興味を持ち、安全安心の魅力ある街づくりを進めるため、地域のお気に入りの場所を印したマップを作成し、「歩こう会」の開催や、子育て中の親子、高齢者の交流の場「落語 de ハートカフェ」の開催。		○	○
	日野南地区（こころをつなぐ日野南）	従来から行われている地域住民による見守り活動と、地域内の商店などによる業務を通じた見守りについて、連携を図ることを目的に「ひのみなみ見守りネット」を発足。協力を申し出たお店等に見守りステッカーを掲示。また、異変に気付いた場合の連絡先等を明確化し、地域全体で支え合う仕組みづくりを行った。			○
保土ヶ谷	岩間・星川地区（自治会町内会や老人会と連携し、災害時要援護者支援に取り組もう）	地域課題が異なる地区がつながるための取組として、防災の取組についてのワールドカフェ開催をチームより提案。	○		
	保土ヶ谷東部地区（地域住民がお互いに協力し、住みやすい町をつくらう！）	地域の関心が高い「防災」をテーマに、DIG訓練やまち歩きなどを実施することで、住民同士の顔の見える関係やつながりを深める取組を支援。	○		

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

区	取組状況		支援		
	支援地区(地域福祉保健計画地区別計画のテーマ)	取組内容	人的	財政的	その他
保土ケ谷	権太坂境木地区(人材を育てて、地域の活動の輪を広げよう！)	地域に潜在している担い手(特に男性)が地域に出てきやすいような居場所づくりとして、自治会館での「レコードカフェ」の立ち上げを支援。	○		
金沢	金沢シーサイドタウン地区(異世代の交流、多様な文化の共生)	並木第四小学校の地域交流室の活用促進に向けて、区からの補助金を受けて室内の環境整備、利用制度の整備や運営委員会を設置。		○	○
	六浦東地区(世代を超えて気楽に交流しあえる地域づくり)	地域交流拠点づくりの活動を支援。平成27年度ヨコハマ市民まち普請事業に応募。			○
緑	東本郷地区(地域の人達がつながり、支え合い、一緒につどい楽しみを共有できるまち)	連合自治会を始めとした地域活動団体と東本郷小学校・同校PTAの連携により「ひがほん郷まつり」を開催。	○	○	
	新治中部地区(防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい/次世代につながるまちにしたい)	防犯の意識を高めるため、「防犯キャッチフレーズ」を地区内3つの小学校の5年生、1つの中学校1年生を対象として募集。	○	○	
	三保地区(地域でのつながりを大切にしたい/落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい/イベント情報等を地域で共有したい)	「地域活動」情報の共有と「みどりのわ・ささえ愛プラン」の普及啓発をめざし、プロジェクトチームを結成し、地域活動と防災の情報を1枚にまとめた「三保地区 地域活動マップ&防災マップ」が完成。	○	○	
	十日市場団地地区(十日市場団地が団結して、地域の「つながり」を作っていこう)	身近な交流の場として、「十日市場団地 お茶のみ会」を毎月1回、2か所の集会所で交互に開催。		○	
青葉	すすき野地区(地域高齢化問題に対応する活動)	地域住民が主体となり、高齢者をはじめ誰もが気軽に立ち寄れる交流拠点の開設検討・準備を進め、商店街の空き店舗を活用して26年8月に「すすき野たまりんば」を開設。			○
戸塚	俣野コミュニティサロンかわせみ(H26年3月)	・助けあいの場、出会いの場、仲間と語りあう場、趣味を楽しむ場。更には、高齢者支援、子育て支援、障がい者支援等の活動拠点を目指す。	○	○	
	原宿地域ケアプラザエリア(主に俣野・深谷地区)エリアの計画「ひとりひとりがみんなですすめるぬくもりのあるまちづくり」>目標3「世代・分野を超えて交流できる環境を整えましょう」	・サロン、イベント、各種教室、小箱ショップ、ギャラリー、販売等 ・俣野・深谷およびその周辺の5町内会自治会長や民生委員を中心に設立されたNPO法人俣野コミュニティ絆が運営。			
	ふらっとステーション・とつか(H26年3月)	・ふらっと自由に立ち寄れる「みんなの居場所」 ・カフェスペースや貸し会議室等 ・NPO法人くみんネットワークとつかが運営。 ・市有地の売却にあたり、地域課題の解決や地域経済の活性化を図るために民間事業者のノウハウや活力を生かす「公民連携による課題解決型公募モデル事業」により整備。		○	
	東戸塚みんなの居場所 お茶の間楽交(H26年7月)	・親子連れも小中高生も若者も大人も誰もがくつろげる場所、普段の生活では出会うことのない人・もの・ことに出会える場所、それぞれが持っている力(特技・知識・情報・時間・お金・労力・ネットワーク等々)を活かせる場所 ・小箱ショップ、セルフドリンク、貸しスペース、自主講座、イベント等		○	

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書

区	取組状況		支援		
	支援地区(地域福祉保健計画地区別計画のテーマ)	取組内容	人的	財政的	その他
泉	和泉中央地区(誰もが楽しく安心して暮らせるまち)	地区別計画の活動の1つとして、常設サロン「いこいの家」での地域の居場所づくり活動や、いこいの家を中心として新たに開始した、高齢者の見守り活動を支援。		○	

12-3-2 地域緑のまちづくり事業（環境創造局）

平成21年度に開始した地域の方々と横浜市が協力をして、地域にふさわしい緑を創出する事業である。住宅地、オフィス街、工業地帯など様々な街で、地域の方々が、地域にふさわしい緑化プランをつくり、地域ぐるみで緑化を進める「地域オーダーメイド型」の緑化事業である。

【表 12-3-2】地域緑のまちづくり事業の主な取組の紹介（平成27年3月31日時点）

区	地域まちづくりに関する取組状況		支援		
	支援地区(団体名)	取組内容	人的	財政的	その他
鶴見	末広地区(末広地区緑のまちづくり協議会)	地域の緑や海に開かれた水際空間などの魅力を活かした地域環境の形成。 【具体例】事業所内植栽帯及びビオトープの整備を実施。		○	
	北寺尾地区(北寺尾地区鶴見「みどりのルート1」をつくる会)	国道一号線沿道に、みどりの中で憩うことができる持続可能な植栽ゾーンの形成。 【具体例】国道一号線沿いの商業施設の沿道の植栽整備や、教育施設の壁面緑化を実施。		○	
鶴見・神奈川	生麦新子安地区(生麦新子安地区緑のまちづくり協議会)(鶴見区・神奈川区で実施)	通勤及び災害避難時の主動線を「緑のめぐりみち」として位置づけ、沿道での一体的で連続した緑化と、身近な水辺の緑化の推進。 【具体例】工場内のビオトープや、企業の公開緑地内植栽の再整備を実施。		○	
西	みなとみらい21中央地区(みなとみらい21中央地区緑のまちづくり協議会)	『価値のある緑と花を増やし、みなとみらい21地区の環境と情景を豊かにする』ことをコンセプトに、緑花による歩行者主要動線沿いの回遊強化や、地区全体で継続が可能で、合理的な維持管理方策の検討。 【具体例】商業施設における大規模な壁面緑化の実施。		○	
	みなとみらい21横浜駅東口・中央地区(みなとみらい21横浜駅東口・中央地区緑のまちづくり協議会)	『価値のある緑と花を増やし、みなとみらい21地区の環境と情景を豊かにする』ことをコンセプトに、緑花による歩行者主要動線沿いの回遊強化や、地区全体で継続が可能で、合理的な維持管理方策の検討。 【具体例】橋梁の歩道部分及び中央分離帯の植栽の実施。		○	
中	山手地区(山手まちづくり推進会議山手のみどり会)	山手らしい緑を守り育てることを基本として、貴重な大木である「景観木」の保全や、緑の広場づくり、沿道緑化の推進。 【具体例】景観木の指定と保全、港の見える丘公園拡張部の整備を実施。		○	
	馬車道地区(馬車道地区みどりアップ推進会)	馬車道通りに面した建物の敷地、壁面、窓辺などを緑や花で飾り、この街並みにふさわしい花と緑あふれる回廊のネットワークづくり。 【具体例】ハンギングバスケットによる街路樹支柱の緑化や、オリジナルプランターによる沿道緑化を実施。		○	

データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

区	地域まちづくりに関する取組状況		支援		
	支援地区（団体名）	取組内容	人的	財政的	その他
中	みなとみらい21新港地区（みなとみらい21新港地区緑のまちづくり協議会）	四季折々の変化などを感じながら歩くことができる歩行者空間の形成や、周辺事業者、来街者等が愛着を持てる緑や花の空間づくり。 【具体例】商業施設の壁面緑化や植栽、港湾緑地の整備を実施。		○	
南	平楽地区（平楽地区緑のまちづくり運営委員会）	多くの人が行き交う尾根道、坂道を軸に沿道緑化を進めるほか、地区で育ててきた桜の保護、花と緑を育てる活動の推進。 【具体例】さくらの補植や、沿道部分のプランター緑化や植栽整備を実施。		○	
	六ツ川・永田地区（南中あじさい咲かせ隊）	「あじさいの里、名所」となることを目指し、「あじさい」約50種500株を地域の緑化の柱とした、育苗・育成・増殖。 【具体例】沿道部分へのあじさいの植栽のほか、地区住民のあじさい苗の配布を実施。		○	
旭	白根台第九地区（第九緑の会）	より美しく快適なまちづくりをめざし、アップダウンの多いまち特有の沿道よう壁の緑化・美化を進めるほか、ハナミズキが植えられたメインストリートの緑化の充実。 【具体例】街路樹植栽樹の花等による緑化や、小学校の擁壁緑化を実施。		○	
	上白根国際地区（上白根国際地区フラワー&グリーンクラブ）	丹誠込めたひと味違う花と緑の町を生み出すことを目標に、沿道部分の緑化を進めるほか、緑化について町の住民が楽しみながら、切磋琢磨する関係の創出。 【具体例】フラワーコンテナによる沿道の緑化や、緑化環境の維持のための仕組みづくりを実施。		○	
磯子	洋光台一丁目地区（みどりアップ委員会）	地区内町内会館等での緑化のほか、一人住まいで庭の手入れができない方への緑化援助活動。 【具体例】町内の植栽樹への花植えや、住宅の沿道の植栽を実施。		○	
	中原三丁目地区（花と緑の委員会）	共同住宅の植栽帯のうち多くの人が行き交う道路沿いの植栽帯を地域の庭として一層の景観向上を図れるよう、あじさいなどの低木や草花での緑化。 【具体例】沿道の植栽帯と法面の植栽整備を実施。		○	
金沢	金沢文庫すずらん通り地区（すずカフェみどりの会）	花と緑があり、美しく居心地のいい商店街を目指し、オリジナルプランター等によって緑や花を増やし、地域住民等と連携した維持管理の推進。 【具体例】オリジナルプランターによる商店街緑化や、地域住民参加の植栽イベントの実施。		○	
港北	錦が丘地区（錦が丘地区地域緑のまちづくりの会）	街路樹や、ロータリー、民有地での緑を充実させるほか、今ある緑の街並みの保全やコミュニティの活性化。 【具体例】沿道部分のよう壁緑化、街路樹の補植や地域のシンボルとなるロータリー内の植栽帯整備を実施。		○	
緑	竹山三丁目地区（竹山池周辺活性化推進委員会）	竹山団地の中心である池の景観・多様性を再生し、環境学習を通じた保全活動や、緑化を通じた地域コミュニティの賑わいづくり。 【具体例】池への浮島の設置や、プランターによる周辺商店街緑化を実施。		○	
青葉	柿の木台地区（やもと農塾）	『歩きたくなるような、歩いて楽しいまち並みの柿の木台』を目指し、植栽活動や、落ち葉を利用した土づくり、柿の木の植樹。 【具体例】お花箱（オリジナルのプランターベンチ）の制作・設置、柿の苗の配付。		○	

全 体 概 況
I 報 告 書
II 見 解 書 評 価 書 及 び
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 他 区 局 の 取 組
資 料

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

全 体 概 況	地域まちづくりに関する取組状況		支援			
	区	支援地区（団体名）	取組内容	人的	財政的	その他
I 報告書	都筑	牛久保西地区（牛久保西地区花と緑の会）	里山環境が残る地域の緑を活かし、花と緑に触れ合えるみちづくりや、地域住民や学生が地域の緑に積極的に関われる機会の提案。 【具体例】大学内のビオトープの整備や、大規模なよう壁緑化、法面植栽を実施。		○	
II 評価書及び見解書	戸塚	名瀬たかの台地区（名瀬たかの台地区緑のまちづくり会）	「花と緑があふれるまち・たかの台」を目指し、道路に直接面する境界の緑化や、自然の恵みを活かしたエコロジカルな緑の育成環境の整備。 【具体例】沿道のような壁緑化や、玄関回りなどのプランター緑化を実施。		○	
データブック	栄	湘南桂台地区（湘南桂台みどりの会）	誰もが住みたくなるまち、住み続けたいまちを目標に、メインストリートの統一性・連続性を持たせた緑化や、花と緑の拠り所の創出。 【具体例】戸建て住宅、学校、事業所など様々な箇所での沿道の植栽整備や、オープンガーデンを実施。		○	
1 概要	泉	上飯田地区（みどりと花の会）	まちも、人も共に育つ緑の里づくりをめざし、みんなが集う地域の拠り所を花と緑で豊かにすることや、地区全体で花と緑を育てる活動の推進。 【具体例】地区センターの屋上緑化や、地域の花と緑の名所で花の植え替えを実施。		○	
2 グループ						
3 組織						
4 プラン						
5 ルール						
6 支援制度						
7 まち普請						
8 顕彰						
9 広報						
10 委員会						
11 各区推進状況						
12 他区局の取組						
資料						

12-3-4 地域交通サポート事業（道路局）

【表 12-3-3】地域交通サポート事業の取組一覧

所在区	グループ名称	グループ登録年度	取組状況
港南	日野ヶ丘町内会交通問題研究会	19	本格運行中
戸塚	小雀西地区交通対策委員会	19	本格運行中
戸塚	ラムーナ交通サポート検討プロジェクト	19	本格運行中
金沢	六浦地域交通対策連絡会	19	本格運行中
青葉	玉川学園台交通改善委員会	20	本格運行中
緑	青砥北八朔地区交通協議会	20	本格運行中
泉	緑園バス運行推進協議会	24	検討中
磯子	磯子台団地地域交通協議会	24	本格運行中
泉	下和泉地区交通対策委員会	24	本格運行中
金沢	片吹地区交通対策委員会	24	検討中
旭	コミュニティバス「四季めぐり号」運行委員会	25	本格運行中
金沢	釜利谷地域交通協議会	25	検討中
緑	武蔵中山台交通対策委員会	25	検討中
南	地域バスを走らせる市民の会	26	検討中
磯子	洋光台バスルート検討会	26	検討中
金沢	湘南八景自治会交通問題対策委員会	26	検討中
金沢	高舟台・ウッドパーク交通協議会	26	検討中

12-3-5 団地再生支援事業（建築局）

団地に居住する住民が中心となって、団地の課題や再生に向けた将来像を共有していくことを目的に、『住民発意の団地再生』を支援する事業である。

【表 12-3-4】 団地再生支援事業等の主な取組の紹介（平成 25、26 年度実績）

区	地域まちづくりに関する取組状況		支援		
	支援地区（事業名）	取組内容	人的	財政的	その他
旭	左近山団地中央地区（団地再生支援事業）	「団地管理組合」に対してコーディネーターを派遣し、団地の課題整理や将来像の検討に向けた助言を行う支援を実施。 団地の魅力アップと活性化に向け、住環境整備と空き家対策に向けた取組を推進していく方向性を整理。	○		
	希望ヶ丘コーポラス（団地再生支援事業）	「団地管理組合」に対してコーディネーターを派遣し、団地の課題整理や将来像の検討に向けた助言を行う支援を実施。 今後の団地再生の取組の方向性として、防災、互助、建物の3つテーマを軸に活動を推進していくことを整理。	○		
緑	南長津田団地（マンション・団地再生コーディネート支援事業）	「団地自治会・団地管理組合」に対してコーディネーターを派遣し、団地の課題整理や将来像の検討に向けた助言を行う支援を実施。 次年度以降の取組として、自治会と管理組合の合同で検討委員会を設置し、集会所を活用した拠点整備等、団地の活性化の推進していく方向性を整理。	○		
	南長津田団地（団地再生支援モデル事業）	「団地自治会・団地管理組合」に対してコーディネーターを派遣し、団地の課題整理や将来像の検討に向けた助言を行う支援を実施。	○		
青葉	たまプラーザ団地（団地再生支援モデル事業）	「団地管理組合」に対してコーディネーターを派遣し、団地の課題整理や将来像の検討に向けた助言を行う支援を実施。 次年度以降の取組として、団地内住環境の整備（ソフト・ハード）や長期的な団地の改善・再生に向けた検討等の方向性を整理。	○		

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び
見解書データ
ブック

1 概 要

2 グループ

3 組 織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕 彰

9 広 報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他区局
の取組

資 料

12-3-6 持続可能な住宅地モデルプロジェクト（建築局）

【表 12-3-5】各モデルプロジェクトの取組一覧（平成 27 年 3 月 31 日時点）

対象地区	取組の体制	取組の内容
たまプラーザ駅北側地区 青葉区美しが丘 1～3 丁目 (約 120ha)	<ul style="list-style-type: none"> ○東急電鉄・横浜市による包括協定 ○住民創発プロジェクト、リーディングプロジェクト（関係機関、有識者、住民等） ○美しが丘まちづくり情報連絡会、暮らしと住まい再生部会、地域包括ケア部会、スマートコミュニティ推進部会（有識者等） 	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民創発プロジェクトの企画の実現 ○家庭の省エネプロジェクトや家庭のエコ診断など地域のエネルギーマネジメントに関する取組の実施 ○子ども・子育てタウンミーティングの開催 ○地域包括ケア あおばモデルの構築 ○美しが丘中学校と連携したまちづくりの取組の実施 <p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次世代郊外まちづくり基本構想 2013 の策定 ○暮らしと住まいのランドデザインの策定 ○日本生命社宅跡地再開発の推進（コミュニティリビング実現） ○既存の歩行者専用道路を活かした健康づくり歩行者ネットワークの検討
洋光台周辺地区 洋光台 1～6 丁目 (約 209ha)	<ul style="list-style-type: none"> ○アドバイザー会議（有識者）による多世代近居モデル検討 ○エリア会議（県、市、区、UR、まちづくり協議会、有識者等） ○まちづくりワークショップ（全体・テーマ別） 	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○洋光台まちづくりビジョンの策定 ○駅前空き店舗の試行活用「CC ラボ」で活動する団体等の意見交換会の開催と協働の取組試行 ○賑わいや多世代交流を目指した住民によるコミュニティ活動の実施（キャンドルナイト、ハロウィン・イベントなど） ○プロジェクトの周知やニーズ把握のための全世帯アンケート ○ワークショップ（まちあるき、まちの魅力発信等） <p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担い手の発掘や地域拠点整備に向けた駅前空き店舗の試行活用「CC ラボ活動」の開始（平成 25 年度～）

全体概況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

12 他区局による地域まちづくりに関連する取組（参考）

対象地区		取組の体制	取組の内容
相鉄いずみ野線沿線地域	相鉄いずみ野線沿線 (旭区 約 3,278ha、泉区 約 2,356ha)	<ul style="list-style-type: none"> ○相鉄HD、横浜市による包括協定 ○まちづくりビジョン部会、農的空間部会、QOLマネジメント部会、研究会（市民、大学、企業、相鉄、市） ○市民ワークショップ 	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民ワークショップ 緑園都市「えきばた会議」の開催 ○「12 のアイデア集」実現プロジェクト第1弾「街カフェ」の実施 ○地域の魅力を発信する「いずみ野マルシェ」や「地産地消料理教室」の実施 ○高齢者の健康維持等を目的とした「貯筋運動」の実施 <p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりビジョン（素案）や具体的なアクションプランの検討 ○緑園都市「えきばた会議」で生まれたアイデアをまとめた「12 のアイデア集」の作成 ○いずみ野駅前リノベーションプロジェクトの検討（地域ケアプラザ、子どもの一時預かり等の地域に必要な機能の導入を検討） ○南万騎が原駅前リノベーションプロジェクトの検討（子育て・高齢者支援等の地域に必要な機能の導入を検討）
	十日市場町、新治町、長津田みなみ台6・7丁目を含めた連合自治会の地域	<ul style="list-style-type: none"> ○周辺地域の自治会や施設等との意見交換 ○事業者選定委員会を設置（横浜市の附属機関） 	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○周辺地域の自治会や施設等への説明会及び意見交換の実施 <p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市有地であるセンター地区20・21・22街区の土地活用に向けた整理（企業へサウンディング調査の実施、事業スキームを検討） ○事業者選定委員会で公募要項を策定 ○事業者公募を実施（平成26年12月）

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

資料1

全 体
概 況

I 報告書

II 評価書及び
見解書

データ
ブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他
の取組

資料

地域まちづくりの活動状況にかかるアンケート

認定番号・登録番号： _____

地域まちづくり組織・グループ名： _____

平成 25、26 年度 支援内容 _____

I. 活動状況についてお尋ねします。

Q 1. 地域まちづくりの活動をはじめたきっかけはどのようなものでしたか。最もあてはまるものを1つ選んで○で囲んでください。

1. 住環境の保全・改善
2. 商店街の魅力づくり
3. 防災に強いまちづくり
4. 緑や水辺など自然を保全・活用した魅力づくり
5. 歴史的まちなみや歴史的資源を活かしたまちづくり
6. 交通環境の改善
7. 地域の活性化・再生に向けたまちづくり
8. その他 (_____)

Q 2. 平成 25 年度から 26 年度までの活動状況についてお書きください。

① 定例会、勉強会、ワークショップなどの活動

1. 月 2 回以上 2. 月 1 回程度 3. 隔月程度 4. 年 4 回程度 5. 年 1～2 回程度
6. 0 回

② イベントの開催、催しへの参加等の活動

具体的に取り組まれたことをお書きください。

(_____)

Q 3. 平成 25 年度から 26 年度までに広報誌（まちづくりニュースなど）を発行しましたか。

1. 発行した (_____ 回/年) 2. 発行しなかった

次ページに進んでください

Q 4. 広報誌はどのような方法で配布（公表）しましたか。あてはまるものをいくつでも選んで○で囲んでください。

1. 自治会などの回覧 2. 戸別配布 3. 郵送 4. ホームページ
5. その他 ()

Q 5. 認定又は登録後から平成27年3月末までに団体活動にどのような変化があったでしょうか。最もあてはまるものを3つ選んで○で囲んでください。

1. 活動が活発になった 2. 地域で認知されるようになった
3. 会員が増えた 4. 計画が具体化した
5. 専門的な知識が増えた 6. 組織体制(事務局機能等)がしっかりした
7. 財政的に良くなった 8. 他の団体との交流が増えた
9. まちづくりの情報が増えた 10. 市や区との関係が緊密になった
11. 何も変わらない 12. 会員が減った
13. 活動が停滞した 14. その他 ()

Q 6. 現在、団体の活動について、困っている内容は何ですか。最もあてはまるものを3つ選んで○で囲んでください。

1. 会員が増えない 2. リーダーがいない
3. 地域で認知されない 4. 活動が停滞している、活性化していない
5. 専門的な知識が不足している 6. 組織が脆弱である
7. 財政状況が良くない、資金が少ない 8. 他の団体との交流が少ない
9. まちづくりの情報不足している 10. 市や区との関係が疎遠である
11. 活動拠点がない 12. 活動する時間がない、時間が合わない
13. 何をしたらいいかわからない 14. 会員外の人との調整が上手くいかない
15. 問題はない 16. その他 ()

II. 地域まちづくり支援制度の活用状況についてお尋ねします。

Q 7. 横浜市には、ルール等を策定する際に対する支援制度がありますが、市の支援制度をご存知ですか。

1. 知っていて活用したことがある。(Q8へ)
2. 知っているが活用したことはない。(質問は以上です。)
活用しない理由

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書

データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 の他区局取組

資料

次ページに進んでください

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書
データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組
資料

Q 8. Q 7で1と答えた方に伺います。次の市の支援策についてどのようにお考えですか。

① 出前塾（市の職員が訪問し、制度の説明などを行うこと）

1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満 6. この支援策は利用していない （その理由をお書きください）
--

② まちづくりコーディネーター・まちづくり支援団体(NPO)の派遣（市に登録している専門家やNPOを地域まちづくりグループ等の勉強会などへ派遣し、アドバイス・助言等を行うこと）

1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満 6. この支援策は利用していない （その理由をお書きください）
--

③ まちづくりコーディネーター等への委託による年間派遣（プランやルールの策定が見込まれる段階において、プラン案やルール案の作成、まちづくりニュースやアンケート案の作成など、まちづくりコーディネーター等が年間を通じて地域まちづくりグループ等を支援すること）

1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満 6. この支援策は利用していない （その理由をお書きください）
--

④ 活動助成金（プランやルールの策定が見込まれる段階において、まちづくりニュースの印刷費やアンケートの郵送費などの必要経費について助成金を交付すること）

1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満 6. この支援策は利用していない （その理由をお書きください）
--

⑤ 地権者情報の提供（ルールづくり等で必要な場合、土地及び建物の所有者や借地権者の情報収集を支援すること）

1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満 6. この支援策は利用していない （その理由をお書きください）	I 報告書 II 評価書及び 見解書
--	------------------------------------

⑥ まちづくりコーディネーターに期待する役割はどのようなものですか。あてはまるものを2つ選んで○で囲んでください。

1. 技術的な助言 2. 地域に合った合意形成手法の提案 3. 地域の具体的な課題の抽出 4. 事例の紹介 5. まちづくり制度の紹介 6. プラン・ルール案の作成 7. 広報活動方法の提案 8. 勉強会等の実施方法の提案 9. その他（ ）	データ ブック 1 概要 2 グループ 3 組織 4 プラン 5 ルール 6 支援制度 7 まち普請 8 顕彰 9 広報 10 委員会 11 各区推進状況 12 他区局 の取組
---	--

⑦ 地域まちづくり支援制度を活用して、団体の活動にどのような効果が表れましたか。あてはまるものを3つ選んで○で囲んでください。

1. 活動が活発になった 2. 地域で認知されるようになった 3. 会員が増えた 4. 計画が具体化した 5. 専門的な知識が増えた 6. 組織体制(事務局機能等)がしっかりした 7. 財政的に良くなった 8. 他の団体との交流が増えた 9. まちづくりの情報が増えた 10. 市や区との関係が緊密になった 11. 何も変わらない 12. その他 具体的に（ ）	11 各区推進状況 12 他区局 の取組
---	--------------------------------------

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び 見解書
データ ブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局 の取組
資 料

Q9. そのほか何かありましたら、ご意見等をお書きください。

(特に、今は地域まちづくり活動に取り組んでいない地区で、新たに活動を始めるためのアドバイスやご提案がありましたら、お願いします。)

(自由意見欄)

ありがとうございました。

同封した返信用の封筒を用いて、6月12日(金)までにご返送ください。

全 概 体 況
I 報 告 書
II 評 価 書 及 び 見 解 書
デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 の 取 組
資 料

資料 2

横浜・人・まち・デザイン賞受賞に関するアンケート

団体名	
回答者氏名	

問1 デザイン賞受賞に関するPRを行いましたか？
(会報に掲載した、プレートを掲示した、など)

--

問2 デザイン賞を受賞して、団体メンバーの意識等に変化はありましたか？
(やる気が出た、活動にさらに積極的になった、など)

--

問3 デザイン賞を受賞して、団体や活動がさらに認知されたと感じることはありませんか？あれば具体的なエピソードをお教えてください。
(取材を受けた、事例紹介の依頼があった、など)

--

問4 デザイン賞受賞後の活動の変化があればお教えてください。
(参加者・活動回数・活動内容の変化、他団体との連携の変化、など)

--

以上です。ありがとうございました。

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び
見解書データ
ブック

1 概 要

2 グループ

3 組 織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕 彰

9 広 報

10 委員会

11 各区推進状況

12 の 他 区 局
の 取 組

資 料

資料3

平成 25 年度評価書に対する見解書とその後の対応状況

平成 25 年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成 26 年度までの対応に 一部平成 27 年度について明記)
地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
<p>1. 地域まちづくり推進条例について</p> <p>【改善すべきと考える内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり推進条例第 2 条に定義されている「地域まちづくり」における「安全性」、「快適性」などについて何が重要であるのか、時代とともに新たな課題やニーズを的確にとらえていく必要がある。 ・「地域まちづくり」への市民の関わり方は、第 3 条により「身近な地域において、健康で文化的な生活を営み、創造的な活動を行うため」と記載されているが、「健康」「文化」「創造的な活動」についても何が重要であるのかを的確にとらえていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域まちづくり」において、現状を踏まえた新たな行政課題や地域社会のニーズは、「市民生活白書」や「中期計画」等において受け止めているほか、区役所やまちづくりコーディネーター等との連携により、市民から直接寄せられる相談から見えてくる課題やニーズについても、的確にとらえるよう努めています。今後、将来的な社会構造などの変化も見据え、他局や地域ケアプラザ等の中間支援組織とも情報共有を図っていくとともに、地域社会のニーズをさらに掘り下げて探っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・26 年度に地域まちづくりの推進に向けた検討を進める中で、関連するまちづくりに先駆的に取り組んでいる地域の活動者や中間支援者 7 組に対し、ヒアリングを行いました。また、この結果を踏まえた今後地域まちづくりとして取り組むべき課題案をまとめ、地域まちづくり推進委員会にて議論いただきました。 ・上記の取組の結果、将来的には、高齢化や人口減少の進行に伴って想定される課題へ、見守りや防災といったソフト分野との連携による対応を進めるべきである、という結論に至りました。
<ul style="list-style-type: none"> ・区役所における地域まちづくり支援の機能強化や助成制度の見直し等を重点的に行ってきたことで、市民主体の活動を支援する範囲については、より自由度・柔軟性をもたせたと同時に、人的、財政的な支援については、より効果的な支援となるよう期間や内容を明確化したといえる。見直しについては、市民への一層の周知が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災以降、地域コミュニティの良さの再確認や再生に向けた取組が活発化しています。また、防災に対する市民の意識や安全安心なまちづくりのニーズも高まっています。こうした状況を踏まえ、いえ・みち まち改善事業を通じて蓄積された地域支援のノウハウを地域まちづくりの取組の推進に活かしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり白書などを用いて、地域ケアプラザや区の福祉保健課に対しても地域まちづくりの周知を行いました。また、まずは区の地域支援を行う担当部署が地域まちづくりについて理解を深める機会とするため、地域支援関係職員向け研修を実施し、周知を行いました。 ・「つながりのまちづくりフォーラム 2014」について、市民活動支援センター及び市民局、健康福祉局と共催し、地域まちづくりにおける課題解決事例を積極的に広報しました。

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況
地域まちづくり推進委員会からの評価	市の見解	(平成26年度までの対応に一部平成27年度について明記)
<p>・現在の社会情勢や地域のあり様を背景として、「地域まちづくり」「市民の関わり方」のニーズが広がっており、その支援をますます拡充させる必要がある。一方で厳しい財政状況の中ではあるが、今後も都市整備局のバックアップ体制を維持するだけでなく、より効果的な支援のためにはいかなる体制が最適か、検討していく必要がある。</p>	<p>・バックアップ体制については、区役所や他局と連携して、まちのルールづくり相談センターとしての役割を果たせる体制を維持していきます。市民への周知については、幅広い広報だけでなく、今後は、地域に役立つ情報を潜在的な必要性のある地域にも届けられる仕組みを検討していきます。</p> <p>地域との協働による課題解決や魅力向上のための支援ができるよう、区役所や関係局、まちづくりコーディネーターやまちづくり支援団体を含む中間支援組織と一層円滑に連携する体制を構築していきます。</p>	<p>・26年度に、区が進めている「地域と向き合う体制」づくりについて、市民局や健康福祉局に状況を確認し、推進委員会の資料としてまとめました。これを基に、地域まちづくりの推進のために、どのように課題解決の体制につなげていくべきか、検討を進めました。</p> <p>・検討の結果を踏まえ、市民局や健康福祉局の実務担当者の意見を聴きながら案を作成し、地域まちづくり推進委員会に諮りました。推進委員会からは、方向性について一定の理解を得られ、具体策について更に検討する必要性について、御意見を頂きました。</p>
<p>2. 地域まちづくりグループの活動状況</p> <p>・年度ごとの新たな登録グループ数が10を越えて推移している。これは、制度の周知が継続的に行われていると考えられ評価できる。建築協定での制度利用が多く市民からの期待度も高い中、それに対し制度改正を行い、支援を受けやすくしたことは評価できる。</p>		

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書

データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組

資料

全 概 体 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
	地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
I 報告書	<p>【改善すべきと考える内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動内容が地域それぞれでの特 色があり、それに沿った柔軟な 支援を行うためにも、中間支援 組織との益々の連携が急務と 思われる。また、ニーズがあり、 活動を希望している地域、団体 における担い手の高齢化、次 期担い手の不足は顕著であり、 その発掘、育成においても継続 的な支援を期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 中間支援組織との連携について は、協働による広義のまちづく りの具体的な制度等を有する 市民局、健康福祉局と協議し、 地域ケアプラザ等の中間支援 組織との連携や情報共有を図 っていきます。また、地域福祉 保健計画の地区別計画も視野 に入れながら、地域の特色に合 った地域まちづくりが推進さ れる連携のあり方を検討して いきます。 地域まちづくりグループにおけ る担い手の確保・育成について は、引き続き支援の中で取り組 んでいきますが、特に「若い世 代をどう地域活動に参加させ ていくか」、「多世代交流をどう 生み出すか」といった視点を一 層意識し、まちづくり支援団体 等と協力しながら幅広い支援 を検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 25年度に、もっとも派遣実績の 多いまちづくり支援団体とまち づくり支援団体のあり方につい て議論を行いました。また、市 民局、健康福祉局、政策局と協 議し、「協働による地域づくり」 の支援における中間支援組織の 位置づけ及び役割を整理し、中 期4か年計画(2014-2017)に記 載しました。 26年度には、コーディネーター が所属する事業者に委託し、ま ちづくり支援団体の資格構成員 の協力を得て、まちづくりコー ディネーター及びまちづくり支 援団体とまちづくりコーディネ ーター等に求められる役割等につ いての意見交換会を開催しま した。 26年度の地域まちづくりのあり 方検討においては、市民局及び 健康福祉局と、各局が所管して いる施設等で活躍する中間支援 者等の役割や期待されることに ついて、情報や意見をいただき、 検討資料に反映しました。 27年度から、市民局及び健康福 祉局と中間支援組織・者のあり 方について検討に着手していま す。 地域における担い手の発掘、育 成については、市民局のバック アップのもと各区の主催による 「地域づくり塾」などの取組が 進められ、27年度から18区す べてで地域活動のノウハウやコ ツ、事例を地域の活動者と区職 員が共に学ぶ取組が進められて います。
II 評価書及び 見解書			
データ ブック			
1 概 要			
2 グ ル ー プ			
3 組 織			
4 プ ラ ン			
5 ル ー ル			
6 支 援 制 度			
7 ま ち 普 請			
8 顕 彰			
9 広 報			
10 委 員 会			
11 各 区 推 進 状 況			
12 他 区 局 の 取 組			
資 料			

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に一部平成27年度について明記)
地域まちづくり推進委員会からの評価	市の見解	
<p>・地域まちづくり支援制度を適用するかどうかの可否判断は、要件さえ満たせば地域まちづくりグループ登録されるなど住民側に委ねられているが、まちづくり概念が広がるにしたがって自分たちの活動が支援要件に適合するかの判断は難しくなりつつある。制度が一層有効に活用されるために、支援要件をさらにわかりやすく住民に伝えていただきたい。</p>	<p>・地域まちづくり支援制度の適用要件については、さらにわかりやすく地域に伝えていくとともに、支援制度を積極的に活用してもらえるように制度自体の周知も引き続き行います。</p>	<p>・活動初期の団体等に対し、出前塾などを行っており、各団体の活動目的や段階に合った制度紹介をしています。</p> <p>・「地域まちづくり白書2013」は、支援制度の活用方法を中心とした事例紹介を掲載しました。支援制度の活用について、イメージが持ちにくい市民等に対しては、こうした白書を用いるなどして、活動の進め方と合わせて制度を紹介するようにしています。</p>
<p>3. 地域まちづくり組織の活動状況 【改善すべきと考える内容】</p> <p>・組織の運営状況について、4団体にヒアリングし、その結果をまちづくり活動の相関図にまとめたことで制度を理解しやすくなった。この制度について、知りたい、利用したいと考えている市民へのアプローチとなると思われ、評価できる。また、これらをヒアリング先の団体にもフィードバックすることで、各団体等が組織の見直し等に使用できればと考える。</p>	<p>・市民向け広報誌である「地域まちづくり白書」では、支援の段階ごとに地域の活動を掲載し、制度の案内をしています。報告書におけるヒアリング結果と白書のヒアリング結果を合わせて、参考になる事例として、ヒアリング先だけでなく、すべての地域まちづくり組織と共有し、各組織の運営への活用を促します。</p>	<p>・「地域まちづくり白書」はすべての地域まちづくり組織に対して送付し、事例の共有をしました。</p>
<p>・組織認定された団体は自立した活動が出来ているとの認識があるが、アンケート・ヒアリング等の調査などを行う必要があるのではないか。継続活動を行えるための支援を期待したい。</p>	<p>・認定組織に対する支援については、コーディネーター派遣などを通じて、制度の説明や組織の活動の継続につながるアドバイス等をより一層行っていきます。</p>	<p>・認定組織に対して、ルールの実用やプランに基づく事業助成などを通じて、活動状況を確認したり、プラン・ルールの見直し、活動の展開などの相談への対応やアドバイス・支援を行っています。</p>

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書

データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組

全 概 体 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)	
	地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解		
I 報 告 書	<p>4. 地域まちづくりプラン等の策定・運用状況</p> <p>【改善すべきと考える内容】</p> <p>・横浜市は成熟化しつつあり、「地域まちづくり」のうち、市街地の整備については、緊急度の高い課題を抱えたまちは以前ほどは多くはない。一方、市民の価値観やニーズは多様化しており、地域のあり方について、目標、取組等を幅広い観点から考え直す必要性は高くなっている。</p>	<p>・プランを実現するためには、プラン策定時の合意形成が必要だと考えています。合意しやすくなるよう、進め方について成果を見せながら合意を促すことや、大枠として合意できる部分から段階的にプランを策定していく等、地域に合った工夫をしていきます。</p>	<p>・プランの認定を受ける組織の対象区域について、広さが拡大する傾向があり、策定に当たっての合意形成が難しくなっています。</p> <p>・認定に向けた推進委員会の審議に当たっては、制限などを定めるルールと比較すると、合意・賛同の状況については大らかに捉える議論が進められてきていますが、認定後にプランの実現に向けた活動を進めていくためには、地域の合意が必要となることから、引き続き、地域に合った工夫を進めていきます。</p>	
II 見 解 書				評価書及び
デ ー タ ブ ック				
1 概 要				
2 グ ル ー プ				
3 組 織				
4 プ ラ ン				
5 ル ー ル				
6 支 援 制 度				
7 ま ち 普 請				
8 顕 彰				
9 広 報				
10 委 員 会				
11 各 区 推 進 状 況				
12 他 区 局 の 取 組				
資 料				

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に一部平成27年度について明記)
地域まちづくり推進委員会からの評価	市の見解	
<p>・次第に法的担保を求めるより任意の取組、ハードよりソフト的な取組を目指す地域が出てきている。地域まちづくりプランにおいても歴史や文化などの取組の重要性も認識されている。これに伴い、地域まちづくりの取組も、防災・防犯、福祉などへ幅が広がり、都市計画マスタープラン以外に市が策定した広義のまちづくりに関する計画と整合性や連携を図ることもますます重要になっている。これまでは防災のまちづくりを目的としたプランが多かったが、「お三の宮通りまちづくりプラン」のような防災のまちづくり以外をテーマとしたプランも策定されている。今後、こうしたプランが増えてきたら、その分野ごとの凡例の分析や策定後の追跡調査等も行うと良いのではないかと。</p>	<p>・防災のまちづくり以外をテーマとしたプランについては、歴史や地域交通というテーマのプランも策定されはじめていますが、まだ各分野で1例ずつと事例は少ないため、今後、事例が増えてきた際は、凡例の分析や追跡調査を検討していきます。</p>	<p>・防災のまちづくり以外をテーマとしたプランについては、まだ事例が少ないため、凡例の分析や追跡調査については、引き続きの課題とします。</p>
<p>・地域まちづくりプランを策定した地区においては、地域まちづくり組織と市が協働でプラン実現に向けた役割分担等を方針（協働推進方針）として定めることができる（横浜市地域まちづくり推進条例第11条4項）。今後、地域マネジメントの視点から協働推進方針の活用も期待される。</p>	<p>・協働推進方針については、策定された実績はありませんが、既存の地域まちづくりプランには地域と市の役割を示した記載が盛り込まれたものもあります。今後は、地域まちづくりプランと合わせて協働推進方針も策定することや、プランの一部を協働推進方針として位置付けることなども検討していきます。</p>	<p>・25・26年度においても、協働推進方針の策定実績はありませんでしたが、プランの中で地域と市の役割を示した記載が見受けられました。また、プラン作成にあたっては、基本的には地域が主体となることを踏まえた記載となるようアドバイスしており、このことによって、役割分担についての検討を促しています。</p>

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他区局の取組

資料

全 概 体 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況
	地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	(平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
I 報告書	<p>5. 地域まちづくりルール等の策定・運用状況</p> <p>・「地域まちづくりルール」の制度化から8年が経ち、商店街や住宅街において豊かなまちのルールを市民主体でつくる仕組みが充実しつつある。また、地区計画や街づくり協議地区、建築協定等の多様なまちのルールの違いをうまく活用しあう制度間の流れが出来つつある。</p>		
II 評価書及び見解書			
データブック	<p>・活動助成にとどまらず、事業助成に踏み込んだ仕組みを持つことが本条例・制度の特質すべき優れた特徴である。今後とも、プランづくりをゴールとすることなく、事業推進への直接的助成の実績を維持していただきたい。</p> <p>【改善すべきと考える内容】</p> <p>・「地域まちづくりルール」は、地域まちづくり組織が運用するため、地区計画と比べると地域の役割が大きく、積極的な関与が求められる。ルールの維持、運用のためには、地域住民等の意欲を継続させる仕組みが地域まちづくり組織と横浜市の両方に求められる。</p>	<p>・地域まちづくりルールの策定後も、地域の実情やニーズに合わせてルールの変更や地区計画への移行等の支援も引き続き行います。また、ルールを運用して良かった等、参考になる他地区の事例を「地域まちづくり白書」や「ヨコハマひと・まち」等の広報誌で市民や支援者に紹介していきます。</p>	<p>・ルール運用の効率化の為にルールの変更認定を受けた団体があります。今後も地域まちづくりルールの策定後も、地域の実情やニーズに合わせてルールの変更や運用の支援も引き続き行っていきます。</p> <p>また、平成26年3月に発行しました「地域まちづくり白書」で、ルールの策定・運用段階における地域の活動についての事例を紹介しています。</p>
1 概要			
2 グループ			
3 組織			
4 プラン			
5 ルール			
6 支援制度			
7 まち普請			
8 顕彰			
9 広報			
10 委員会			
11 各区推進状況			
12 他区局の取組			
資料			

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況
地域まちづくり推進委員会からの評価	市の見解	(平成26年度までの対応に一部平成27年度について明記)
<ul style="list-style-type: none"> ・ルールづくりを目指したにもかかわらず、策定に至らないケースや、策定が長引いているケース、あるいは一度策定したルールを変更するケース等について、今後、効果的な支援のあり方について調査や検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合意形成への支援については、これまでの地域発意型地区計画の支援実績を踏まえ、合意形成やルール選択におけるポイントや課題等を整理し、効果的な合意形成の進め方を「住民合意形成ガイドライン」に反映し、誰でも活用できるよう横浜市ホームページで公開します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合意形成への支援については、これまでの地域発意型地区計画の支援実績を踏まえ、引き続き合意形成やルール選択におけるポイントや課題等を整理していきます。また、10年間支援を行ってきたなかで明らかになった合意形成における様々な事例を踏まえ、「住民合意形成ガイドライン」を平成26年4月に改正し、現在ホームページでも公開しています。
<p>6. 地域まちづくり支援制度の実績</p> <p>【改善すべきと考える内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりコーディネーターの必要性は、都市整備分野に限らず多くの政策分野および地域に直結する区政において増している。こうした状況を見るに、分野横断的に派遣要件や仕組み等を検討すべき時期に来ているのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター及びまちづくり支援団体のあり方や資質向上については、コーディネーター等の意見を聞くことや、研修の企画・運営にも主体的に関わるようなことも含めて検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題が複層的になっており、地域福祉や緑環境などのことについても知識・経験のあるコーディネーター等が求められています。 ・こうした状況なども踏まえ、25年度には、もっとも活動実績の多いまちづくり支援団体と今後のあり方についての議論を行いました。また、26年度にはコーディネーター等の役割や果たすべき機能などについての意見交換会を開催し、その運営や事例紹介者として、コーディネーターやまちづくり支援団体資格構成員にも関わっていただきました。 ・まちづくりコーディネーター等によりタイムリーに地域まちづくりの情報を届けるため、26年度に希望者を対象としたメーリングリストを開設しました。

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書

データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組

全 体 概 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
	地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
I 報告書	<p>・「まちづくり支援団体」及び「まちづくり準支援団体」に対して、行政としての積極的活用の方向性が見えない。特に「準支援団体」に対するスタンスがはっきりしない。登録要件や育成方針などをきちんと定めていく必要がある。</p> <p>・区による地域まちづくりの支援状況や独自の支援事業の内容について、区が主体となって地域まちづくりを主導する状況が見えてきていることは好ましい。今後、区内部の地域支援体制と都市整備局等が連携し、更に充実した効果的な地域まちづくりを推進するための方策を講じていかれたい。</p> <p>7. アンケート</p> <p>・登録グループ等に対するアンケートの実施、分析を継続的に行っていることは評価できる。必要に応じて更なる分析を行い、より地域性に沿った支援が行われるよう期待したい。</p>	<p>・まちづくり支援団体については、相談窓口の開設や専門家派遣などの支援のほかに、市と協働で相談・支援・普及啓発活動を主体的に行うことが望まれますので、各団体が得意分野を生かし、地域まちづくり活動の支援を存分に行えるよう働きかけます。また、「まちづくり準支援団体」については、引き続き「まちづくり支援団体」へ登録いただくよう働きかけを進めるとともに、具体的な登録要件等を含めた準支援団体の位置付けや育成方針などを定めていきます。</p> <p>・地域まちづくりを推進する体制につきましては、各区の「まちなルールづくり相談コーナー」と連携し、総合的なまちの魅力づくりや課題の解消を進めてきました。今後、各区の地域支援体制との連携や、多様化する市民のライフスタイルや価値観を背景とする地域ニーズに対応できる施策・制度について検討していきます。</p>	<p>・まちづくり支援団体については、25年度にあり方の議論を数回行った結果、団体の登録制度を作った当初に構想されていた「団体間の連携、ネットワーク化」について、現在の登録団体にはその意思や必要性の認識がないことが分かりました。そのため、各団体が、自らの得意分野を生かした活動を進めるよう、27年度に各団体へ活動の意向についてのヒアリングを進めています。</p> <p>・28年度の登録更新を迎えるに当たり、更新に当たっての条件等について、検討を進めています。この検討と合わせて、準支援団体についても見直しを含めた検討を進めます。</p> <p>・26年度の地域まちづくり推進のあり方検討では、各区の地域支援体制との連携を含めた検討を進めました。</p> <p>・26年度の検討結果を踏まえ、地域ニーズに対応できる具体的な施策・制度について、引き続き検討を進めています。</p>
II 評価書及び見解書			
データブック			
1 概要			
2 グループ			
3 組織			
4 プラン			
5 ルール			
6 支援制度			
7 まち普請			
8 顕彰			
9 広報			
10 委員会			
11 各区推進状況			
12 他区局の取組			
資料			

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況
地域まちづくり推進委員会からの評価	市の見解	(平成26年度までの対応に一部平成27年度について明記)
<p>【改善すべきと考える内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由意見への返答、対応が対象グループ等に出来ているのかが不明瞭なため、記載していただきたい。アンケート内容に関しての精査も必要かと思われる。市民に対して有効な項目を作ることで、このアンケート結果がより活用できるものになると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自由意見への返答、対応については、アンケートの目的は、個別対応が目的ではなく、地域まちづくりの活動状況の実態を経年比較し、把握することにあります。手続きの簡素化等の制度に対する意見については参考にさせていただき、個別に頂いた自由意見については、該当団体ごとに検討・対応します。 アンケート内容については、質問表現は整理しましたが、経年変化を分析するために、項目は大きくは変えていません。頂いた評価を踏まえ、次回のアンケートでは項目の見直しも検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 27年度のアンケート実施に当たり、各団体への支援内容を記載するなどして、より実態に即した御意見が頂けるよう工夫しました。また、アンケート項目について、制度改善につながる聞き方などの工夫を行いました。
<p>8. ヨコハマ市民まち普請事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備後の展開については、地域でのさらなる相乗効果のぞめるような方法論が必要である。本点は、現在、助成を受けた団体を交えた方法が検討実践中である。加えて、事業の位置づけの見直しや担当部局の連携拡大等と関連付けて検討することを期待する。 	<p>整備後の展開については、当事業で施設を整備したグループが、お互いに知り合える機会をつくること等を目的として実施している交流会への参加を通じて、各グループが得意分野を活かして他のグループを支援する関係づくりに取り組んでいます。そこで生まれる「相互支援」の関係が、地域まちづくりの進展に効果を発揮することを促していきます。また、地域福祉の向上や市民活動の活性化など、各局が担う施策と連携してコミュニティ行政を展開していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 整備後の展開として、整備済施設の運営グループ同士の相互支援を目的とする交流会を実施しましたが、参加者が少なく、相互支援のニーズを見出すことができませんでした。 地域の他のコミュニティとの連携については、各運営グループが自主的な取組をしていますが、当課では企業とのマッチングを推進することによる相乗効果の実現に取り組んでいます。 各局との連携による事業展開については、まち普請事業を本市の地域コミュニティ施策推進の中核事業であると位置付けた上で、市民局（協働、地域活動）、健康福祉局（地域福祉保健計画）と合同で地域支援制度の説明や研修に取り組んでいます。

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他区局の取組

資料

全 体 概 況 I 報告書 II 評価書及び見解書	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に一部平成27年度について明記)
	地域まちづくり推進委員会からの評価	市の見解	
データブック	<p>【改善すべきと考える内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年は、応募数が減少し、それに伴い事業予算が減少、採択数も減少した。提案内容の熟度は一定のレベルに達しながら、コンテストで採用に至らず、結果、まちづくりの実現が遅れ、地域再生の好機を逸している場合がある。提案内容の規模や助成希望額等に応じた柔軟な助成を可能にする仕組みの再構築を求めたい。 ・小規模な施設整備であっても気軽に提案できることで、提案内容の多様化が増進されることを目指し、応募の手引きの整備助成金の記載を、これまでの「整備助成金上限額500万円」から「整備助成金50万円～500万円」に改めることを検討し、より多くの提案グループが参加できるように、コンテストのあり方を再考します。 ・応募パンフレットの整備助成金の記載を、「整備助成金50万円～500万円」に改めました。 ・結果的に、25年度に60万円、26年度に90万円の整備助成金の交付グループがあり、比較的小規模の施設整備が実現しています。 ・今後も予算の範囲内で、コンテストで過半数得票した提案を選択するという現行ルールに沿って事業を運営していきたいと考えています。 		
1 概要			
2 グループ			
3 組織			
4 プラン			
5 ルール			
6 支援制度			
7 まち普請			
8 顕彰			
9 広報			
10 委員会			
11 各区推進状況			
12 他区局の取組			
資料			

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
<p>・人間関係の希薄化が社会問題につながっている現状を鑑みると、一見、資源豊富な大都市にあっても、社会課題に取り組む主体のいない地域では、孤立や貧困、放置された劣悪な環境と、負の社会要素は連鎖的に増加する。地域主体の自治能力や課題解決能力を向上させなければ、都市問題の現象悪化を阻むことはできない。これからの横浜の地域社会には、まち普請のような地域活動を効果的に支援していくことこそが重要である。結果、本市の社会的費用の削減にもつながると考える。そのためにも助成採択数を増やすべく、事業予算を増資すべきである</p>	<p>・整備助成金は、これまで30百万円、25百万円、15百万円と減少しています。本市は大変厳しい財政状況にありますが、当事業は地域課題の解決に資する施設が整備されるだけでなく、整備に至るまでの過程や維持管理の機会を通じて、地域コミュニティの形成に非常に大きな効果を発揮しています。平成25年3月に策定された「横浜特別自治市大綱」の前提となっている、「新たな大都市制度創設の基本的考え方(22年5月)」では、地域内の住民自治の機能を高めるためには、地域における合意形成を図りながら、市民が主体となり、行政との協働、市民同士又は地域の企業等との協力により、地域運営や地域課題の解決を住民の発意により行っていくことが必要とされています。当事業による施設整備を通じた住民自治の取組や、その効果として地域コミュニティが活性化することは、まさに時代を先取りした行政運営モデルの一つであると言えます。また、現在、当事業は地域まちづくり支援制度における施設整備に対する助成事業の中核を担っており、当事業の活用により、いっそう魅力ある地域まちづくりが実現されるように事業費の確保に努めていきます。</p>	<p>・大変厳しい本市の財政状況の中、予算の増額を図っていくことは大変困難な状況となっています。</p> <p>・整備助成金については、市民の皆様による施設整備を伴うまちづくり活動の初動期を支援することが、行政運営上の視点から大変効果的であることが明らかであることから、引き続き関係部署との協議を行い、予算確保に取り組みます。</p> <p>・活動助成金についても採択件数を増加する取組が必要ですが、一次コンテストから二次コンテストにかけて職員が丁寧に支援することができる量とのバランスも考慮した上で、検討していきます。</p>

全
体
概
況I
報
告
書II
見
解
書
及
び
評
価
書デ
ー
タ
ブ
ック1
概
要2
グ
ル
ー
プ3
組
織4
プ
ラ
ン5
ル
ー
ル6
支
援
制
度7
ま
ち
普
請8
顕
彰9
広
報10
委
員
会11
各
区
推
進
状
況12
他
区
局
の
取
組資
料

全 概 体 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
	地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
I 報告書	<p>・言うまでもなく地域の課題は、多種多様であるが故に、行政が漏れなく対処解決するには限界がある。そこで、まち普請事業を、コミュニティ施策の重点事業と位置づけ、多局連携の下、協働事業として再構築を図るべきである。多種多様なテーマに加え、持続的な地域の発展を支援するため、活動のステージに応じた支援が必要である。横断的の事業として地域に包括的な予算を投入し、部局を統合して地域に入り課題にあたることで、安心して快適で魅力のあるコミュニティとして地域が再生されるだろう。同時に、多様な主体が地域コミュニティの増進に寄与する機会になるように企業等からの外部資金の導入の検討を求めたい。</p>	<p>・当事業の位置付けについては、地域コミュニティの活性化に大きく寄与していることに鑑み、地域福祉の増進や市民活動の推進にあたって、どのように再構築していくべきかを事業の局際化による効果や影響などについて関係局と検討していきます。また、事業費の確保にあたっては、当事業が企業等の社会貢献事業となり得るかなどを検討・協議していきます。</p>	<p>・まち普請事業は、本市の地域コミュニティ施策推進の中核事業であると位置付けた上で、市民局（協働、地域活動）、健康福祉局（地域福祉保健計画）と連携した取組を推進しています。</p> <p>・活動段階に応じた支援策として、事前登録、活動助成、整備助成を行っていますが、区役所の地域支援業務の担当部署とは情報や支援策の共有化が図られています。</p> <p>・他の部局と横断的に包括的予算を地域に投入し、地域課題に取り組むことはできていませんが、本市の中期計画（2014～2017）に定める「参加と協働による地域自治の支援」を推進する点からも横断的連携を一層深めていきます。</p> <p>・外部資金の導入など、財源の多様化についての取組では、複数の企業と協議を行いました。企業としては、当事業全体への資金提供の前にまちづくり活動の主体となる市民グループと相互に過度な依存をしない関係づくりに取り組む必要があると考えており、当課としてはそのマッチングに優先してあたることとしています。</p>
II 評価書及び見解書			
データブック			
1 概要			
2 グループ			
3 組織			
4 プラン			
5 ルール			
6 支援制度			
7 まち普請			
8 顕彰			
9 広報			
10 委員会			
11 各区推進状況			
12 他区局の取組			
資料			

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況
地域まちづくり推進委員会からの評価	市の見解	(平成26年度までの対応に一部平成27年度について明記)
<p>・不採択提案へのフォローは、事業創設時からの課題である。しかし、現状では市や専門家側に支援の用意があっても、団体の意向によっては支援が難しい状況にある。本点については、引き続き検討が必要である。</p>	<p>・提案を検討しているグループが提案内容の向上を図ろうとする際、活用しやすい支援制度の一つとして「事前登録制度」を用意しています。この制度は、不採択となったグループも活用することができますが、24年度までに利用された例はありません。当事業は提案方式で実施しているため、各グループの自主的な判断を尊重しつつ、継続的に情報提供することで、提案機運の向上に努めます。</p>	<p>・事前登録制度の活用では、25年度の一次コンテストで不採択となったグループにそのコンテストの後に活用していただきましたが、26年度の再挑戦には至りませんでした。</p> <p>しかし、このグループでは、事前登録の活用によって、自分たちの志向の整理が進み、他の助成事業を活用したまちづくり活動に継続して取り組んでいます。</p> <p>・不採択提案へのフォローでは、関係機関との情報共有のほか、グループの実情に応じて、訪問、連絡などのフォローを行っています。</p>
<p>・この制度を知らない市民も多いので、「ヨコハマ市民まち普請事業により整備」などの看板があるとよい。</p>	<p>・身近な場所で整備された施設がまち普請事業によって整備されたものであることを分かりやすく表示することで効果的な事業PRとなるため、視認性やメンテナンス性等といった観点を考慮した上で実施予定です。</p>	<p>・事業認知度の向上を目的として「この施設は、横浜市のヨコハマ市民まち普請事業の助成金により整備しました」と表示した金属製プレートを作成し、整備済施設に配付し掲示していただいています。</p>
<p>9. 顕彰事業の状況</p> <p>・「横浜・人・まち・デザイン賞」は、この名称を冠する形で平成11年度より計6回が実施され、2つの部門でのこれまでの選考対象数は延べ612件、表彰件数が73件を数えるまでになった。このことは、地域まちづくりとはどのようなテーマや活動であるか、具体的な形で市民に見せることにつながるものであり、大いに評価したい。</p>		

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他区局の取組

資料

全 概 体 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
	地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
I 報告書	<p>【改善すべきと考える内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「横浜・人・まち・デザイン賞」は、地域まちづくり推進委員会等の選考委員が地域まちづくりの望ましい取組を表明する機会とも言える。即ち、委員は各時代の先行事例の特徴と推移をきちんと見つめ、時代の持つ価値観の変化や新たな時代への期待などを読み取る努力を怠ってはならない。そのためにも今後、これまでの蓄積を分析するためのデータ整理を行うとともに、各活動のその後の経緯等についても追跡調査されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する価値観や時代の変化を踏まえた審査に資することを目的として、24年度に選考の視点の考え方を整理しました。この中で、創意工夫に対する評価の考え方に、「現代社会が求める活動であるか」という参考指標を設け、価値観の変化や新たな時代への期待などを評価することとしました。今後も社会ニーズに沿った顕彰事業となるよう、継続的にデータ整理を行うとともに、一定期間経過後に顕彰効果をヒアリングし、各活動の状況確認に取り組んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顕彰効果を確認するため、23年度を受賞団体にヒアリングとアンケートを実施しました。 ・ヒアリングでは、顕彰による効果として、「これまでの活動が認められたことで、活動が一層発展した」ということが明らかになり、26年11月発行の情報誌「ヨコハマ 人・まち 46号」に特集記事を掲載しました。 ・アンケートでは、「活動意欲の向上」、「団体の信頼性向上」などの見解が示され、顕彰事業の効果を確認することができました。 ・今後も適宜、受賞団体の状況把握に努めていきます。
II 評価書及び見解書			
データブック			
1 概要			
2 グループ			
3 組織			
4 プラン			
5 ルール			
6 支援制度			
7 まち普請			
8 顕彰			
9 広報			
10 委員会			
11 各区推進状況			
12 他区局の取組			
資料			

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
<p>10. 広報、普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり制度の広報活動として、各種発行物が充実していることは、評価できる。ホームページやメールマガジン等、インターネットを利用した広報にも積極的であり、評価できる。ホームページではデザインに一定の工夫が見られ、評価できる。 ・全市レベルの広報活動に加え、市による各区レベルの「広報よこはま区版」、「パネル展示」、「ラジオ番組」などは、市民のより身近な環境における市民生活に寄り添った広報の実施であり、大いに評価できる。区の広報でも、市と連動した「地域に根差した」広報を実施している。このような、市民の身近な環境で広報を実践する姿勢が高く評価できる。 ・メールマガジンや、職員を対象とした広報は、市民と担当部署のみならず、幅広い関係者間での情報共有と地域まちづくりへの関心喚起や政策の有効利用につながる活動であり、高く評価できる。特に、職員を対象とした、活動段階に応じたまちづくり支援紹介パンフレットは、有用である。 		

全 体 概 況
I 報 告 書
II 見 解 書 及 び 評 価 書

デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 取 組

全 体 概 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に一部平成27年度について明記)
	地域まちづくり推進委員会からの評価	市の見解	
I 報告書	<p>【改善すべきと考える内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの構成の工夫を求めたい。現状では支援内容別に発行物を探す必要があり、アクセスするのに情報を探す必要がある。例えば、役所窓口にみられる、発行物が一覧できる情報ラックのように、各種発行物が、ワンストップでアクセス可能なページ、タイトルと表紙写真が一覧できてダウンロードが可能なページなどの検討を求めたい。 ・ホームページのデザイン上の更なる工夫が求められる。ホームページがより利用しやすく、情報への心理的近接性を高めるためにも、やわらかいデザイン（文字デザインやレイアウト、図写真の多用など）の検討を期待する。 ・区の広報活動の状況は、区によって差が見られる。特に、活動が極めて少ない区では、市と協調した活動への協力を求めたく、そのための継続的な働きかけが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの構成については、頂いた評価を踏まえ、必要な情報へのアクセス性を向上させます。レイアウトについては、視認性の高い構成やデザインを採用します。また、図や写真などを効果的に用いながら、利用者である市民目線で見やすく、親しみやすく、かつ分かりやすい内容となるよう工夫していきます。 ・区によって「まちのルールづくり」に関するニーズの状況にあった広報活動が進んでいます。ルールづくりについては、ニーズ状況に差があるため、区の間にも違いが見受けられます。 ・地域まちづくりは、地域主体による地域の課題解決の1つであるため、こうした活動のノウハウなどを学び合う場である「地域づくり塾」で、地域まちづくりの手法についてもお伝えいただけるよう、市民局等と連携して働きかけています。 	
II 評価書及び見解書			
データブック			
1 概要			
2 グループ			
3 組織			
4 プラン			
5 ルール			
6 支援制度			
7 まち普請			
8 顕彰			
9 広報			
10 委員会			
11 各区推進状況			
12 他区局の取組			
資料			

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
<p>・事業広報のツールとして、以前作成していた成果記録の映像DVDとまち普請ニュースは有効である。コストを極力かけない形での製作再考を求めたい。</p>	<p>・広報用映像DVDは21年度を最後に制作していませんが、改めて制作が可能か検討していきます。また、ニュース（まちぶんぶん）は22年度末で終了し、23年度から広報紙「ヨコハマ人・まち」で当事業の広報を行っています。</p>	<p>・独自の映像資料作成には至りませんでした。本市の広報番組「ハマナビ」で26年6月にまち普請事業特集が取り上げられました。</p> <p>この動画は、まち普請事業のホームページからも閲覧できるように設定しており、評価いただいています。</p> <p>・年3回発行している情報誌「ヨコハマ人・まち」では、毎号まち普請事業の掲載ページを設け、即時性に配慮した広報に取り組んでいます。</p>

全 体 概 況

I 報告書

II 評価書及び見解書

データブック

1 概要

2 グループ

3 組織

4 プラン

5 ルール

6 支援制度

7 まち普請

8 顕彰

9 広報

10 委員会

11 各区推進状況

12 他区局の取組

資料

全 概 体 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
	地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
I 報告書	<p>11. 地域まちづくり推進委員会の開催状況</p> <p>【改善すべきと考える内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり推進委員会は各年度に3回開催（部会等は除く）されたが、その多くの時間は地域からの認定案件の審議に費やしている。各地域活動に対しての慎重で真摯な審議を今後とも十分な時間をかけて行っていくことの必要性は、言うまでもない。 ・条例が制定されてから8年が経過したことを考えると、これまでの地域まちづくり活動を総括しつつ、次の時代のさらにステップアップした地域まちづくりの推進に向けての方向性を深める議論を行う時期に来ていると考える。議論の着眼としては、【評価指標の確立】、【地域まちづくり活動の底辺拡大】、【市民事業の仕組みの確立】、【市民による継続的な維持管理を可能とする仕組みの構築】、【行政内部での局際的連携による地域まちづくりの実践】、【中間支援組織による地域まちづくりの推進】を挙げたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり推進委員会の運営については、御指摘のとおり、審議案件が委員会の中心となっており、地域まちづくりの推進に向けた方向性を深める議論が足りていない部分もありますが、歴史や地域交通などをテーマとした新たな地域まちづくりプランの審議についても、地域の声を聞きながら改善提案を含めた前向きな議論も行っていたいております。 ・次年度は、引き続き十分な時間をかけて審議を行っていただくと同時に、次の時代の地域まちづくりの推進に向けた議論の機会を設けることも検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・26年度については、25年度に頂いた評価書に基づいて、地域まちづくりの推進のあり方の検討を進めました。また、プラン認定後のまちづくりの状況（事業費助成の活用）について現場の視察を行ったり、議論に十分な時間を確保するために審議案件を入れない回の開催など、推進委員会の運営に工夫をして、多くの御意見を頂き、あり方の方向性をまとめました。
II 評価書及び見解書			
データブック			
1 概要			
2 グループ			
3 組織			
4 プラン			
5 ルール			
6 支援制度			
7 まち普請			
8 顕彰			
9 広報			
10 委員会			
11 各区推進状況			
12 他区局の取組			
資料			

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
<p>12. おわりに～地域まちづくり推進状況の評価及び見解書のまとめ</p> <p>・地域まちづくり推進条例は平成17年に制定・施行されてから8年の歳月が経過した。その間、地域まちづくりへの市民の関わりは、確実に広がりと深まりを見せてきた。横浜市としても、本条例を根拠として地域まちづくりグループ・組織の育成、地域まちづくりプランやルール策定と運用、地域まちづくり支援制度の活用、ヨコハマ市民まち普請事業の実施、顕彰事業、広報・啓発活動等を通じて、地域まちづくりの推進に少なからず寄与してきたことは疑う余地がない。また、事細かに制度改正を行って、支援を受けやすくするなどのきめの細かい対応を数多く行ってきていることも評価に値する。</p>	<p>・地域まちづくり推進条例の制定以降、制度運用を軌道に乗せ、これを活用して地域まちづくりの活動を支援してきたこと、このことで地域まちづくりを推進し、活動の裾野を広げてきたことについて、評価を頂きました。また、地域が制度を活用しやすくなるよう要領等の改正を行ってきたこと、支援の体制として区役所に設置している「まちのルールづくり相談コーナー」と都市整備局及び青葉区の「まちのルールづくり相談センター」との連携体制の有効性や、より地域との中立な立場で支援を行うまちづくりコーディネーター等の役割の重要性などについても、合わせて認めていただいたと受け止めています。</p>	

全 体 概 況
I 報告書
II 評価書及び見解書

データブック
1 概要
2 グループ
3 組織
4 プラン
5 ルール
6 支援制度
7 まち普請
8 顕彰
9 広報
10 委員会
11 各区推進状況
12 他区局の取組

資料

全 体 概 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に一部平成27年度について明記)
	地域まちづくり推進委員会からの評価	市の見解	
I 報告書	<ul style="list-style-type: none"> 地域まちづくり活動の内容は地域それぞれに多様化し、特色に応じた柔軟で多様な対応を制度に求めるようになった。と同時に、活動への継続的な支援や活動の新たな担い手の発掘や育成への支援といった様々な課題が顕在化してきている。ヨコハマ市民まち普請事業を例にとれば、応募提案の質が上がることでコンテストの敷居が高くなり、応募件数の減少に至っていると考えられるなど、事業の熟度が地域まちづくり活動の幅をかえて狭めている状況すら見受けられる。 行政の組織内部においては、地域まちづくりは都市整備分野に限らず多くの政策分野が横断的に関わるようになるとともに、地域に直結する区役所の主導で数多く実践されるようになった。すなわち、都市整備局の内側だけで地域活動をまちづくりとして切り出すことが困難になってきている状況が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 郊外の住宅地では急速に高齢化が進んでいることや、市民のライフスタイルや価値観の多様化など、社会情勢の変化に伴い、地域まちづくりの課題やニーズも多様化・複合化してきており、将来も引き続き地域まちづくりを推進させるためには、現行の制度をこれまでどおり運用するだけでは十分とは言えないという御指摘のもと、改善提案を頂きました。 	<ul style="list-style-type: none"> まち普請事業では、従来からアイデアレベルで気軽に応募していただけることを広報していますが、応募検討者からは実際に採択された案件は質が高く見え、応募をためらうことにつながっている可能性を否定できません。 市民の皆様のまちづくりの機運が沈滞化しないよう、応募期間の倍増や事業認知度の向上に取り組み、提案内容の多様性を確保するよう努めていきます。
II 評価書及び見解書			
データブック			
1 概要			
2 グループ			
3 組織			
4 プラン			
5 ルール			
6 支援制度			
7 まち普請			
8 顕彰			
9 広報			
10 委員会			
11 各区推進状況			
12 他区局の取組			
資料			

平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
<p>【改善すべきと考える内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうした状況を踏まえると、条例制定10周年に向けてこれまでの推進状況を総括するとともに、次の時代にステップアップした地域まちづくりを推進するための抜本的かつ包括的な議論を行う必要性を感じるものである。議論の着眼としては、例えば次の点を挙げる事ができる。 ・＜評価指標の確立＞ 地域まちづくり活動と支援事業の成果を、客観性を持っていかに評価すべきか。例えば達成された「暮らしやすさ」といったものを評価指標化することはできないか。 ・＜地域まちづくり活動の底辺拡大＞ 地域まちづくり活動への入口部分での敷居の低さを担保するために、制度はいかに運用できるか。 ・＜市民による身近なまちの整備の仕組みの確立＞ 地域まちづくりプランを市民自らが実行していく仕組みをより広く持てないか。例えば、「ヨコハマ市民まち普請事業」とまちづくりプランに基づく事業費助成の仕組みを再構築して、まちづくりプランの位置づけに基づいた「市民による身近なまちの整備」をより広範に展開できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分野横断的な支援については、地域の課題解決や魅力向上のための活動は、他分野との連携によって成功や活性化、継続につながっている現状を今回の報告書で確認したところですので、区役所及び地域支援の制度を有する市民局や健康福祉局などの関係局と連携体制について検討し、より分野横断的な連携によって地域を支える体制を構築していきます。 ・また、プランやルール認定を受けた団体に対して、活動の継続的な支援や担い手の発掘・育成といった新たな課題について、活動継続等を意識したアドバイスや活動の基盤づくりを認定までの支援の段階で行うとともに、継続的な支援のあり方についても検討していきます。 ・さらに、地域への支援の厚みを確保し、それを一層強化するため、まちづくりコーディネーターやまちづくり支援団体の力が十分に発揮されるよう、位置付けの充実・強化と連携を図っていきます。 ・以上の点を含め、「地域まちづくり」の更なる推進のため、「地域まちづくり推進条例」を有効に活用する支援と協働のあり方について、今後とも「地域まちづくり推進委員会」や関係者の御意見も頂いて検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・26年度に地域まちづくりの推進に向けた検討を進めました。検討に当たっては、関連するまちづくりに先駆的に取り組んでいる地域の活動者や中間支援者7組に対し、ヒアリングを行いました。 ・また、広義のまちづくりとして連携していくべき市民局や健康福祉局にも検討状況を説明し、意見を頂きました。 ・この結果を踏まえた今後地域まちづくりとして取り組むべき課題案をまとめ、地域まちづくり推進委員会にて議論いただきました。 ・以上の取組の結果、将来的には、高齢化や人口減少の進行に伴って想定される課題へ、見守りや防災といったソフト分野との連携による対応を進めるという方向性を決めました。 ・また、その取組方法については、発意を待つばかりではなく、アプローチ型で働きかける手法も検討していくこと、より一層、地域の中間支援者（地域ケアプラザのコーディネーター等）とも連携していくことを採り入れていきます。 ・今後、これらの具体的な取り組み方や具体策について、検討を進めていきます。

全 体 概 況
I 報 告 書
II 見 解 書 及 び 評 価 書

デ ー タ ブ ック
1 概 要
2 グ ル ー プ
3 組 織
4 プ ラ ン
5 ル ー ル
6 支 援 制 度
7 ま ち 普 請
8 顕 彰
9 広 報
10 委 員 会
11 各 区 推 進 状 況
12 の 他 区 局 取 組

資
料

全 概 体 況	平成25年度評価書と市の見解		その後の対応状況 (平成26年度までの対応に 一部平成27年度について明記)
	地域まちづくり推進委員会 からの評価	市の見解	
I 報 告 書	<p>・<市民による継続的な維持管理を可能とする仕組みの構築> 市民が生み出した公共的空間を自ら継続的に維持管理していく仕組みを作り出せないか。</p> <p>・<行政内部での局際連携による地域まちづくりの実践> 地域まちづくりを、ハードとソフトが融合した取組として実践していく局が連携した仕組みを構築できないか。そのために、局際的な地域まちづくり目標の共有と役割分担をしつつ推進する仕組みを構築できないか。</p> <p>・<中間支援組織による地域まちづくりの推進> これまで記したような地域まちづくりのステップアップを図るためには、市民と行政それぞれが主体性を発揮した取組を進めることに加えて、まちづくりコーディネーターやまちづくり支援団体が一層力をつけ、中間的支援に力を発揮していくことが不可欠である。</p> <p>私たち地域まちづくり推進委員会は、以上の指摘を具現化するために、先行事例をきちんと見つけつつ、新たな時代の持つ価値観や期待などを読み取り、さらに効果的な仕組みへと改善する努力を惜しまない所存である。</p>	<p>・市内各地の地域特性にふさわしい、創意工夫に満ちた多様な地域まちづくり活動が、地域コミュニティにおいて活発に行われることにより、魅力ある特性を備え、様々な地域課題を克服し、社会構造の変化に対応する地域の集合体として、誰もが訪れ、住みたくなる、いつまでも住み続けられる横浜市となるように努めます。</p>	
II 見 解 書 及 び			
デ ー タ ブ ック			
1 概 要			
2 グ ル ー プ			
3 組 織			
4 プ ラ ン			
5 ル ー ル			
6 支 援 制 度			
7 ま ち 普 請			
8 顕 彰			
9 広 報			
10 委 員 会			
11 各 区 推 進 状 況			
12 の 取 組			
資 料			

平成 28 年 3 月発行

編集・発行 横浜市 都市整備局 地域まちづくり課

〒231-0017 横浜市中区港町 1 丁目 1 番地

TEL : 045-671-2696 FAX : 045-663-8641

ホームページ : <http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/chiikimachi/top/>

